

道 路

工 装 舖

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
道路編 舗装工				
				IV-1
== IV-1-①-1 =====				
== 路盤工				
不陸整正	SP4001	m2		IV-1- 1
下層路盤（車道・路肩部）	SP4002	m2		IV-1- 3
下層路盤（歩道部）	SP4003	m2		IV-1- 5
上層路盤（車道・路肩部）	SP4004	m2		IV-1- 6
上層路盤（歩道部）	SP4005	m2		IV-1- 9
路盤工（人力施工）	S4015	m2		IV-1- 10
路盤工（人力施工）	S4017	m2		IV-1- 11
== IV-1-①-2 =====				
== 路盤工（ICT）				
不陸整正（ICT）	SP4105	m2		IV-1- 12
下層路盤（車道・路肩部）（ICT）	SP4106	m2		IV-1- 14
上層路盤（車道・路肩部）（ICT）	SP4107	m2		IV-1- 16
== IV-1-②-1 =====				
== アスファルト舗装工				
基層（車道・路肩部）	SP4006	m2		IV-1- 17
表層（車道・路肩部）	SP4007	m2		IV-1- 19
基層（歩道部）	SP4008	m2		IV-1- 21
表層（歩道部）	SP4009	m2		IV-1- 23
アスカーブ	SP4010	m		IV-1- 25
== IV-1-②-2 =====				
== 半たわみ性（コンポジット）舗装工				
セメントミルク浸透	SP4085	m2		IV-1- 27
== IV-1-③-1 =====				
== 排水性アスファルト舗装工				
排水性舗装・表層（車道・路肩部）	SP4011	m2		IV-1- 28

施工単価コード SP4001

施工単価名称	不陸整正						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	不陸整正					
規格名称1	(補足材料の有無)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 路盤・路床面等の不陸整正</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満、2.40t/m3以上の場合</p> <p>(2) 歩道部の不陸整正</p> <p>(3) 3D-MCモータグレーダによる不陸整正</p>					

条件名	A	条件名称	補足材料の有無
	01	補足材料	無し
	02	補足材料	有り

条件名	B	条件名称	補足材料平均厚さ
	01	1mm以上3mm未満	
	02	3mm以上6mm未満	
	03	6mm以上9mm未満	
	04	9mm以上13mm未満	
	05	13mm以上17mm未満	
	06	17mm以上21mm未満	
	07	21mm以上25mm未満	
	08	25mm以上29mm未満	
	09	29mm以上34mm未満	
	10	34mm以上39mm未満	
	11	39mm以上44mm未満	
	12	44mm以上49mm未満	

施工単価コード SP4001

条件名	B	条件名称	補足材料平均厚さ
	13	49mm以上55mm未満	
	14	55mm以上61mm未満	
	15	61mm以上67mm未満	
	16	67mm以上75mm未満	

A=2のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	補足材料
	01	クラッシャーラン	C-30
	02	クラッシャーラン	C-40
	03	粒度調整碎石	M-30
	04	粒度調整碎石	M-40
	05	再生碎石	RC-40

A=2のとき、C条件は選択可能。

施工単価コード SP4002

施工単価名称	下層路盤（車道・路肩部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	下層路盤（車道・路肩部）	
規格名称1	全仕上り厚（A条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 一層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤</p> <p>(2) 舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満、2.40t/m3以上の場合</p> <p>(2) 3D-MCモータグレーダによる下層路盤</p>	

条件名	A	条件名称	全仕上り厚（mm）
実数			

条件名	B	条件名称	施工区分
01	1層施工		
02	2層施工		
03	3層施工		
04	4層施工		
05	5層施工		
06	6層施工		

B=1は、 $A \leq 200$ のとき選択可能。
 B=2は、 $150 < A \leq 400$ のとき選択可能。
 B=3は、 $300 < A \leq 600$ のとき選択可能。
 B=4は、 $450 < A \leq 800$ のとき選択可能。
 B=5は、 $600 < A \leq 1000$ のとき選択可能。
 B=6は、 $750 < A \leq 1200$ のとき選択可能。

条件名	C	条件名称	材料
01	クラッシャーラン C-30		
02	クラッシャーラン C-40		

施工単価コード	SP4002
---------	--------

条件名	C	条件名称	材料
03		再生砕石 RC-40	

施工単価コード SP4003

施工単価名称	下層路盤（歩道部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	下層路盤（歩道部）	
規格名称1	全仕上り厚（A条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 一層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満、2.40t/m3以上の場合 (2) 3D-MCモータグレーダによる下層路盤</p>	

条件名	A	条件名称	全仕上り厚（mm）
実数			

条件名	B	条件名称	施工区分
01	1層施工		
02	2層施工		
03	3層施工		

B=1は、 $A \leq 200$ のとき選択可能。
 B=2は、 $150 < A \leq 400$ のとき選択可能。
 B=3は、 $300 < A \leq 600$ のとき選択可能。

条件名	C	条件名称	材料
01	クラッシャーラン C-30		
02	クラッシャーラン C-40		
03	再生砕石 RC-40		

施工単価コード SP4004

施工単価名称	上層路盤（車道・路肩部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～J

出力名称	上層路盤（車道・路肩部）	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 一層当りの仕上り厚さが15cmまで（瀝青安定処理路盤の場合は10cmまで）の上層路盤 (2) 舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満、2.40t/m3以上の場合 (2) 3D-MCモータグレーダによる上層路盤</p>	

条件名	A	条件名称	材料
	01	安定処理材	
	02	粒度調整砕石	

条件名	B	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	
	02	1.4m未満(1層当り平均仕上厚50超100mm以下)	
	03	1.4m以上3.0m以下	
	04	3.0m超	

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	1層当り平均仕上り厚（mm）
	実数		

C条件は、A=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	全仕上り厚（mm）
	実数		

D条件は、A=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4004

条件名	E	条件名称	施工区分
	01	1層施工	
	02	2層施工	
	03	3層施工	

E=1は、A=2、 $D \leq 150$ のとき選択可能。
 E=2は、A=2、 $150 < D \leq 300$ のとき選択可能。
 E=3は、A=2、 $300 < D \leq 450$ のとき選択可能。

条件名	F	条件名称	瀝青材料種類
	01	タックコート PK-4	
	02	プライムコート PK-3	

F条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	アスファルト合材の種別
	01	安定処理混合物	
	02	粗粒度 AC 20	
	03	密粒度 AC 13FA	
	04	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	05	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	06	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FA	
	08	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	09	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	10	密粒度 AC 20FH	
	11	密粒度 AC 20FH 改質材入り	
	12	密粒度 AC 13	

G条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	粒度調整碎石規格
	01	粒度調整碎石 M-30	
	02	粒度調整碎石 M-40	

H条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4004

条件名	I	条件名称	アスファルト合材単価 (円 / t)
実数			

I条件は、G=5, 9のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	費用の内訳
01		全ての費用	
02		機械費、労務費のみ (1日未満用)	
03		材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4005

施工単価名称	上層路盤（歩道部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	上層路盤（歩道部）	
規格名称1	全仕上り厚（A条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 一層当りの仕上り厚さが15cmまで（瀝青安定処理路盤の場合は10cmまで）の上層路盤</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満、2.40t/m3以上の場合 (2) 3D-MCモータグレーダによる上層路盤</p>	

条件名	A	条件名称	全仕上り厚（mm）
実数			

条件名	B	条件名称	施工区分
01	1層施工		
02	2層施工		
03	3層施工		

B=1は、 $A \leq 150$ のとき選択可能。
 B=2は、 $150 < A \leq 300$ のとき選択可能。
 B=3は、 $300 < A \leq 450$ のとき選択可能。

条件名	C	条件名称	材料
01	粒度調整碎石 M-30		
02	粒度調整碎石 M-40		

施工単価コード S4015

施工単価名称	路盤工（人力施工）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～C

出力名称	路盤工（人力施工）	
規格名称1	路盤厚（B条件値）cm	
規格名称2	（歩車道区分、施工幅）	
適用条件	<p>車道の施工幅2.4m未満及び歩道の施工幅1.6m未満の場合で、一層仕上がり厚は15cmまでを標準とする。</p>	

条件名	A	条件名称	歩車道区分、施工幅
	01	車道	；施工幅1.6m以上2.4m未満
	02	車道	；施工幅1.6m未満
	03	歩道	；施工幅1.6m未満

条件名	B	条件名称	仕上り厚（cm）
	実数		

仕上り厚は90cm以下。

条件名	C	条件名称	路盤材料種別
	01	クラッシャーラン	C-30
	02	クラッシャーラン	C-40
	03	粒調砕石	M-30
	04	粒調砕石	M-40
	05	再生砕石	RC-40

施工単価コード S4017

施工単価名称	路盤工（人力施工）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～B

出力名称	路盤工（人力施工）						
規格名称1	路盤厚（B条件値）cm 材料含まず						
規格名称2	（歩車道区分、施工幅）						
適用条件	路盤工（人力施工）で路盤材を別途計上する場合に適用する。						

条件名	A	条件名称	歩車道区分、施工幅				
	01	車道	；施工幅1.6m以上2.4m未満				
	02	車道	；施工幅1.6m未満				
	03	歩道	；施工幅1.6m未満				

条件名	B	条件名称	仕上り厚（cm）				
	実数						

仕上り厚は90cm以下。

施工単価コード SP4105

施工単価名称	不陸整正 (ICT)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	不陸整正 (ICT)					
規格名称1	(補足材料の有無)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>ICTによるアスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を除く）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 3D-MCモータグレーダによる路盤・路床面等の不陸整正</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 3D-MCモータグレーダ以外による施工</p> <p>(2) 供用部で通行規制を伴う車道部の施工</p> <p>(3) 歩道部の施工</p>					

条件名	A	条件名称	補足材料の有無
	01	補足材料	無し
	02	補足材料	有り

条件名	B	条件名称	補足材料平均厚さ
	01	1mm以上3mm未満	
	02	3mm以上6mm未満	
	03	6mm以上9mm未満	
	04	9mm以上13mm未満	
	05	13mm以上17mm未満	
	06	17mm以上21mm未満	
	07	21mm以上25mm未満	
	08	25mm以上29mm未満	
	09	29mm以上34mm未満	
	10	34mm以上39mm未満	
	11	39mm以上44mm未満	
	12	44mm以上49mm未満	

施工単価コード SP4105

条件名	B	条件名称	補足材料平均厚さ
	13	49mm以上55mm未満	
	14	55mm以上61mm未満	
	15	61mm以上67mm未満	
	16	67mm以上75mm未満	

B条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	補足材料
	01	クラッシャーラン	C-30
	02	クラッシャーラン	C-40
	03	粒度調整碎石	M-30
	04	粒度調整碎石	M-40
	05	再生碎石	RC-40

C条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4106

施工単価名称	下層路盤（車道・路肩部）（ICT）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	下層路盤（車道・路肩部）（ICT）	
規格名称1	全仕上り厚（A条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>ICTによるアスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を除く）に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 3D-MCモータグレーダによる新設道路の車道部の施工</p> <p>(2) 3D-MCモータグレーダによる一層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤</p> <p>(3) 3D-MCモータグレーダによる舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 3D-MCモータグレーダ以外による施工</p> <p>(2) 供用部で通行規制を伴う車道部の施工</p> <p>(3) 歩道部の施工</p>	

条件名	A	条件名称	全仕上り厚（mm）
実数			

条件名	B	条件名称	施工区分
	01	1層施工	
	02	2層施工	
	03	3層施工	
	04	4層施工	
	05	5層施工	
	06	6層施工	

B=1は、 $A \leq 200$ のとき選択可能。
 B=2は、 $150 < A \leq 400$ のとき選択可能。
 B=3は、 $300 < A \leq 600$ のとき選択可能。
 B=4は、 $450 < A \leq 800$ のとき選択可能。
 B=5は、 $600 < A \leq 1000$ のとき選択可能。
 B=6は、 $750 < A \leq 1200$ のとき選択可能。

施工単価コード	SP4106
---------	--------

条件名	C	条件名称	材料
01		クラッシャーラン	C-30
02		クラッシャーラン	C-40
03		再生砕石	RC-40

施工単価コード SP4107

施工単価名称	上層路盤（車道・路肩部）（ICT）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	上層路盤（車道・路肩部）（ICT）	

規格名称1	全仕上り厚（A条件値）mm
-------	---------------

規格名称2	
-------	--

適用条件	
------	--

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲
 ICTによるアスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を除く）に適用する。

1-1 適用出来る範囲
 (1) 3D-MCモータグレーダによる新設道路の車道部の施工
 (2) 3D-MCモータグレーダによる一層当りの仕上り厚さが15cmまでの上層路盤
 (3) 3D-MCモータグレーダによる舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤

1-2 適用出来ない範囲
 (1) 3D-MCモータグレーダ以外による施工
 (2) 供用部で通行規制を伴う車道部の施工
 (3) 歩道部の施工

条件名	A	条件名称	全仕上り厚（mm）
	実数		

条件名	B	条件名称	施工区分
	01	1層施工	
	02	2層施工	
	03	3層施工	

B=1は、 $A \leq 150$ のとき選択可能。
 B=2は、 $150 < A \leq 300$ のとき選択可能。
 B=3は、 $300 < A \leq 450$ のとき選択可能。

条件名	C	条件名称	材料
	01	粒度調整碎石 M-30	
	02	粒度調整碎石 M-40	

施工単価コード SP4006

施工単価名称	基層（車道・路肩部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	基層（車道・路肩部）	
規格名称1	1層当り平均仕上り厚（B条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 舗装工における基層に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が車道・路肩部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m3未満、2.50t/m3以上の場合 (3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	
	02	1.4m未満(1層当り平均仕上厚50mm超70mm以下)	
	03	1.4m以上3.0m以下	
	04	3.0m超	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚 (mm)
	実数		

条件名	C	条件名称	材料
	01	安定処理混合物	
	02	粗粒度 AC 20	
	03	細粒度アスコン(13)	
	04	開粒度アスコン(13)	

施工単価コード SP4006

条件名	D	条件名称	瀝青材料種類
	01	タックコート PK-4	
	02	プライムコート PK-3	
	03	瀝青材料 無し	

条件名	E	条件名称	アスファルト混合物単価 (円/t)
	実数		

C=3, 4のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	費用の内訳
	01	全ての費用	
	02	機械費、労務費のみ (1日未満用)	
	03	材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4007

施工単価名称	表層（車道・路肩部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～G

出力名称	表層（車道・路肩部）	
規格名称1	1層当り平均仕上り厚（B条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 舗装工における表層に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が車道・路肩部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m3未満、2.50t/m3以上の場合 (3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	
	02	1.4m未満(1層当り平均仕上厚50mm超70mm以下)	
	03	1.4m以上3.0m以下	
	04	3.0m超	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚 (mm)
	実数		

条件名	C	条件名称	材料
	01	密粒度アスファルト混合物	
	02	細粒度アスファルト混合物	
	03	開粒度アスファルト混合物	

施工単価コード SP4007

条件名	D	条件名称	瀝青材料種類
	01	タックコート PK-4	
	02	プライムコート PK-3	
	03	瀝青材料 無し	

条件名	E	条件名称	アスファルト合材規格
	01	密粒度 AC 13FA	
	02	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	03	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	04	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	05	密粒度 AC 20FA	
	06	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	08	密粒度 AC 20FH	
	09	密粒度 AC 20FH 改質材入り	

C=1のとき、E条件は選択可能。

条件名	F	条件名称	アスファルト合材単価 (円/t)
	実数		

C=2, 3 又は E=3, 7のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	費用の内訳
	01	全ての費用	
	02	機械費、労務費のみ (1日未満用)	
	03	材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4008

施工単価名称	基層（歩道部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	基層（歩道部）	
規格名称1	1層当り平均仕上り厚（B条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 舗装工における基層に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が歩道部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m3未満、2.50t/m3以上の場合 (3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	
	02	1.4m未満(1層当り平均仕上厚50mm超70mm以下)	
	03	1.4m以上	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚（mm）
	実数		

条件名	C	条件名称	材料
	01	粗粒度 AC 20	
	02	細粒度アスコン(13)	

条件名	D	条件名称	瀝青材料種類
	01	タックコート PK-4	
	02	プライムコート PK-3	
	03	瀝青材料 無し	

施工単価コード SP4008

条件名	E	条件名称	アスファルト合材単価 (円/t)
実数			

C=2のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	費用の内訳
01		全ての費用	
02		機械費、労務費のみ (1日未満用)	
03		材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4009

施工単価名称	表層（歩道部）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	表層（歩道部）	
規格名称1	1層当り平均仕上り厚（B条件値）mm	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 舗装工における表層に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が歩道部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m3未満、2.50t/m3以上の場合 (3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	
	02	1.4m未満(1層当り平均仕上厚50mm超70mm以下)	
	03	1.4m以上	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚（mm）
	実数		

条件名	C	条件名称	材料
	01	密粒度 AC 13	
	02	細粒度アスコン(13)	

条件名	D	条件名称	瀝青材料種類
	01	タックコート PK-4	
	02	プライムコート PK-3	
	03	瀝青材料 無し	

施工単価コード SP4009

条件名	E	条件名称	アスファルト混合物単価 (円/t)
実数			

C=2のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	費用の内訳
01		全ての費用	
02		機械費、労務費のみ (1日未満用)	
03		材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4010

施工単価名称	アスカープ						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～C

出力名称	アスカープ					
規格名称1	断面積 (断面積)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>縁石工におけるアスカープに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) アスファルト混合物が購入方式の場合</p> <p>(2) 断面積が125cm²以上、300cm²未満のアスカープの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合</p> <p>(2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m³未満、2.50t/m³以上の場合</p> <p>(3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合</p>					

条件名	A	条件名称	断面積
	01	125cm ² 以上140cm ² 未満	
	02	140cm ² 以上155cm ² 未満	
	03	155cm ² 以上175cm ² 未満	
	04	175cm ² 以上195cm ² 未満	
	05	195cm ² 以上215cm ² 未満	
	06	215cm ² 以上235cm ² 未満	
	07	235cm ² 以上255cm ² 未満	
	08	255cm ² 以上280cm ² 未満	
	09	280cm ² 以上300cm ² 未満	

条件名	B	条件名称	材料
	* 01	アスファルト合材 再生材入り 細粒度 AC 13F	

施工単価コード	SP4010
---------	--------

条件名	C	条件名称	費用の内訳
01		全ての費用	
02		機械費、労務費のみ（1日未満用）	
03		材料費のみ（1日未満用）	

施工単価コード SP4085

施工単価名称	セメントミルク浸透						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～D

出力名称	セメントミルク浸透	
規格名称1	半たわみ性舗装	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 開粒度タイプ加熱アスファルト混合物を舗設後、セメントミルクを浸透させる半たわみ性舗装工及び半たわみ性コンポジット舗装工に適用する。 なお、アスファルト混合物の舗設はアスファルト舗装工を適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 浸透作業が、普通型セメント、早強型セメント、超速硬型セメントによる全浸透型の場合 (2) 施工厚さが25mm以上100mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 歩道に使用する場合</p>	

条件名	A	条件名称	施工厚さ
	01	50mm	
	02	100mm	
	03	各種	

条件名	B	条件名称	浸透用セメントミルク種類
	01	超速硬型	
	02	普通型	
	03	早強型	

条件名	C	条件名称	浸透用セメントミルク使用量 (L/m2)
	実数		

C条件は、A=3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	浸透用セメントミルク単価 (円/L)
	実数		

施工単価コード SP4011

施工単価名称	排水性舗装・表層（車道・路肩部）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～H

出力名称	排水性舗装・表層（車道・路肩部）	
規格名称1	平均施工幅員（平均施工幅員）	
規格名称2	1層当り平均仕上り厚（B条件値）mm	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>車道における排水性アスファルト舗装工事に適用する。なお、排水性アスファルト混合物の積算は、購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>1-1 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 平均施工幅員が1.4m未満の場合において、1層当り平均仕上り厚が50mmを超える場合</p> <p>(2) 平均施工幅員が2.4m以上の場合において、1層当り平均仕上り厚が65mm以上の場合</p> <p>(3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均施工幅員
	01	1.4m未満	
	02	2.4m以上	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚（mm）
	実数		

条件名	C	条件名称	導水パイプの設置
	01	導水パイプの設置 有り	
	02	導水パイプの設置 無し	

条件名	D	条件名称	片側車線数
	01	片側1車線	
	02	片側2車線以上	

A=2、C=1のとき、D条件は選択可能。

施工単価コード SP4011

条件名	E	条件名称	材料
	01	ポ ーラスコン(13)	
	02	各種(1.90t/m3以上2.00t/m3未満)	
	03	各種(2.00t/m3以上2.10t/m3未満)	
	04	各種(2.10t/m3以上2.20t/m3未満)	
	05	各種(2.20t/m3以上2.30t/m3未満)	
	06	各種(2.30t/m3以上2.40t/m3未満)	

条件名	F	条件名称	瀝青材料の規格
	01	タックコート PKR(ゴム入り)	
	02	瀝青材料 無し	

条件名	G	条件名称	アスファルト合材単価 (円/t)
		実数	

条件名	H	条件名称	導水パイプ単価 (円/m)
		実数	

A=2、C=1のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4012

施工単価名称	フィルター層						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	フィルター層	
規格名称1	平均厚さ (平均厚さ)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 透水性舗装におけるフィルター層の平均厚さが40mm以上220mm以下の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均厚さ
	01	40mm以上60mm未満	
	02	60mm以上80mm未満	
	03	80mm以上100mm未満	
	04	100mm以上120mm未満	
	05	120mm以上140mm未満	
	06	140mm以上160mm未満	
	07	160mm以上180mm未満	
	08	180mm以上200mm未満	
	09	200mm以上220mm以下	

条件名	B	条件名称	砂単価 (円/m3)
	実数		

施工単価コード SP4013

施工単価名称	透水性アスファルト舗装						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～D

出力名称	透水性アスファルト舗装	
規格名称1	平均幅員 (平均幅員)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合で、1層当り平均仕上り厚は、平均幅員が1.4m未満では50mm以下、平均幅員が1.4m以上では70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト舗装工及び排水性舗装工における表層の施工 (3) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m3未満、2.10t/m3以上の場合</p>	

条件名	A	条件名称	平均幅員
	01	1.4m未満	
	02	1.4m以上2.4m未満	
	03	2.4m以上	

条件名	B	条件名称	1層当り平均仕上り厚 (mm)
		実数	

B条件は、A=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	1層当り平均仕上り厚 (mm)
		実数	

C条件は、A=2～3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	材料
	01	開粒度アスコン(13)	
	02	各種(1.90以上2.00t/m3未満)	
	03	各種(2.00以上2.10t/m3未満)	

施工単価コード S4100

施工単価名称	コンクリート舗装工（機械舗設）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～U

出力名称	コンクリート舗装工（機械舗設）	
規格名称1	平均舗装厚（B条件値）cm	
規格名称2	機械施工	
適用条件	<p>1. レディーミクストコンクリートを用いた機械施工によるセメントコンクリート舗装工事（1車・2車（両・片勾配））に適用する。</p> <p>2. 目地についての詳細は標準設計図を参照すること。</p>	

条件名	A	条件名称	施工方法
	01	1車	
	02	1車・片側交互通行	
	03	2車	

1車とは、1車線施工であり、2車とは2車線同時施工をいう。

条件名	B	条件名称	平均舗装厚条件（cm）
	実数		

平均舗装厚は、30cmまで

条件名	C	条件名称	溶接金網数量（m ² /100m ² ）
	実数		

0を入力すると溶接金網項目を削除する。

条件名	D	条件名称	補強鉄筋量（kg/100m ² ）
	実数		

0を入力すると補強鉄筋項目を削除する。

条件名	E	条件名称	ダミー目地長（m/100m ² ）
	実数		

0を入力するとダミー目地項目を削除する。

施工単価コード S4100

条件名	F	条件名称	ダミー目地長単価 (円/m)
実数			

E>0の時、F条件は入力可能。

条件名	G	条件名称	突合せ目地長 (m/100m ²)
実数			

0を入力すると突合せ目地項目を削除する。

条件名	H	条件名称	突合せ目地長単価 (円/m)
実数			

G>0の時、H条件は入力可能。

条件名	I	条件名称	収縮目地長 (m/100m ²)
実数			

0を入力すると収縮目地項目を削除する。

条件名	J	条件名称	収縮目地長単価 (円/m)
実数			

I>0の時、J条件は入力可能。

条件名	K	条件名称	膨張目地長 (m/100m ²)
実数			

0を入力すると膨張目地項目を削除する。

条件名	L	条件名称	膨張目地長単価 (円/m)
実数			

K>0の時、L条件は入力可能。

条件名	M	条件名称	自由端部目地長 (m/100m ²)
実数			

0を入力すると自由端部目地項目を削除する。

条件名	N	条件名称	自由端部目地長単価 (円/m)
実数			

M>0の時、N条件は入力可能。

施工単価コード S4100

条件名	0	条件名称	コンクリート規格
	01	曲げ4.5-2.5-40 W/C \leq 55%	
	02	曲げ4.5-6.5-40 W/C \leq 55%	

条件名	P	条件名称	コンクリート種別
	* 01	高炉	
	02	普通	

条件名	Q	条件名称	瀝青材の種別
	* 01	アスファルト乳剤 (PK-3)	
	02	路盤紙	

条件名	R	条件名称	舗設機械の供用日当り運転時間 t
	実数	条件省略値:0	

条件名	S	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

条件名	T	条件名称	労務割増
	実数	条件省略値:0	

条件名	U	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード S4101

施工単価名称	コンクリート舗装工（人力舗設）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～P

出力名称	コンクリート舗装工（人力舗設）					
規格名称1	平均舗装厚（A条件値）cm					
規格名称2	人力施工					
適用条件	1. レディーミクストコンクリートを用いた人力施工によるセメント コンクリート舗装工事（1車・2車（両・片勾配））に適用する。 2. 目地についての詳細は標準設計図を参照すること。					

条件名	A	条件名称	平均舗装厚条件（cm）
実数			

平均舗装厚は、30cmまで

条件名	B	条件名称	溶接金網m2数（m2/100m2）
実数			

0を入力すると溶接金網項目を削除する。

条件名	C	条件名称	補強鉄筋量（kg/100m2）
実数			

0を入力すると補強鉄筋項目を削除する。

条件名	D	条件名称	ダミー目地長（m/100m2）
実数			

0を入力するとダミー目地項目を削除する。

条件名	E	条件名称	ダミー目地長単価（円/m）
実数			

D>0の時、E条件は入力可能。

条件名	F	条件名称	突合せ目地長（m/100m2）
実数			

0を入力すると突合せ目地項目を削除する。

施工単価コード S4101

条件名	G	条件名称	突合せ目地長単価 (円/m)
	実数		

F>0の時、G条件は入力可能。

条件名	H	条件名称	収縮目地長 (m/100m ²)
	実数		

0を入力すると収縮目地項目を削除する。

条件名	I	条件名称	収縮目地長単価 (円/m)
	実数		

H>0の時、I条件は入力可能。

条件名	J	条件名称	膨張目地長 (m/100m ²)
	実数		

0を入力すると膨張目地項目を削除する。

条件名	K	条件名称	膨張目地長単価 (円/m)
	実数		

J>0の時、K条件は入力可能。

条件名	L	条件名称	自由端部目地長 (m/100m ²)
	実数		

0を入力すると自由端部目地項目を削除する。

条件名	M	条件名称	自由端部目地長単価 (円/m)
	実数		

L>0の時、M条件は入力可能。

条件名	N	条件名称	コンクリート規格
	01	曲げ4.5-2.5-40 W/C≤55%	
	02	曲げ4.5-6.5-40 W/C≤55%	

条件名	0	条件名称	コンクリート種別
	* 01	高炉	
	02	普通	

施工単価コード S4101

条件名	P	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01		生コン小型車割増なし	
02		生コン小型車割増あり	

施工単価コード SP4047

施工単価名称	踏掛版						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A~I

出力名称	踏掛版	
規格名称1	鉄筋量 (鉄筋量)	
規格名称2	(ゴム支承の有無)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>踏掛版工における踏掛版に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 現場打ちの踏掛版の設置</p> <p>(2) 厚さ0.35m以上0.60m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) プレキャスト踏掛版の設置</p> <p>(2) 主たる鉄筋が太径鉄筋 (D38以上D51以下) の場合</p>	

条件名	A	条件名称	コンクリート規格
01		高炉18- 5-40	W/C ≤ 60%
02		高炉18- 8-25	W/C ≤ 60%
03		高炉18-12-25	W/C ≤ 60%
04		高炉18- 8-40	W/C ≤ 60%
05		高炉18-12-40	W/C ≤ 60%
06		高炉21- 5-40	W/C ≤ 60%
07		高炉21- 8-25	W/C ≤ 55%
08		高炉21-12-25	W/C ≤ 55%
09		高炉21- 8-40	W/C ≤ 55%
10		高炉21-12-40	W/C ≤ 55%
11		高炉24- 8-25	W/C ≤ 55%
12		高炉24-12-25	W/C ≤ 55%
13		高炉24- 8-40	W/C ≤ 55%
14		高炉24-12-40	W/C ≤ 55%
15		18- 8-40	W/C ≤ 60%
16		18-12-40	W/C ≤ 60%
17		21- 8-25	W/C ≤ 55%

施工単価コード SP4047

条件名	A	条件名称	コンクリート規格
	18	21-12-25	W/C \leq 55%
	19	21- 8-40	W/C \leq 55%
	20	21-12-40	W/C \leq 55%
	21	24- 8-25	W/C \leq 55%
	22	24-12-25	W/C \leq 55%
	23	24- 8-40	W/C \leq 55%
	24	24-12-40	W/C \leq 55%
	25	30- 8-25	W/C \leq 55%
	26	30-12-25	W/C \leq 55%
	27	30-12-25	W/C \leq 50%
	28	30- 8-25	W/C \leq 50%
	29	4.5-2.5-40	
	30	早強40- 8-25	W/C \leq 55%
	31	早強40-12-25	W/C \leq 55%
	32	早強40-12-25	W/C \leq 55% 高性能AE減水剤
	33	その他規格	

条件名	B	条件名称	鉄筋量
	01	0.08t/m ³ 以上0.10t/m ³ 未満	
	02	0.10t/m ³ 以上0.12t/m ³ 未満	
	03	0.12t/m ³ 以上0.14t/m ³ 未満	
	04	0.14t/m ³ 以上0.16t/m ³ 未満	
	05	0.16t/m ³ 以上0.18t/m ³ 未満	
	06	0.18t/m ³ 以上0.20t/m ³ 未満	
	07	0.20t/m ³ 以上0.22t/m ³ 未満	
	08	0.22t/m ³ 以上0.24t/m ³ 未満	
	09	0.24t/m ³ 以上0.26t/m ³ 未満	
	10	0.26t/m ³ 以上0.28t/m ³ 未満	
	11	0.28t/m ³ 以上0.30t/m ³ 未満	
	12	0.30t/m ³ 以上0.32t/m ³ 未満	
	13	0.32t/m ³ 以上0.34t/m ³ 未満	

施工単価コード SP4047

条件名	C	条件名称	ゴム支承の有無
01		ゴム支承	有り
02		ゴム支承	無し

条件名	D	条件名称	鉄筋材料規格・径
01		SD295	D10
02		SD295	D13
03		SD295	D16
04		SD345	D13
05		SD345	D16～D25
06		SD345	D29～D32
07		SD345	D35
08		その他規格	

条件名	E	条件名称	鉄筋工の労務補正
* 01		標準	
02		時間的制約を受ける場合	
03		夜間作業の場合	
04		夜間作業及び時間的制約を受ける場合	

条件名	F	条件名称	コンクリート単価 (円/m ³)
実数			

F条件は、A=33のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	鉄筋材料単価 (円/t)
実数			

G条件は、D=8のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	ゴム支承単価 (円/m ²)
実数			

H条件は、C=1のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4047

条件名	I	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01		生コン小型車割増なし	
02		生コン小型車割増あり	

施工単価コード S4038

施工単価名称	小規模アスファルト舗装（材料費）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	小規模アスファルト舗装（材料費）	
規格名称1	（施工区分）	
規格名称2	（歩車道区分）	

条件名	A	条件名称	施工区分
	01	基層工	
	02	表層工	

条件名	B	条件名称	歩車道区分
	01	車道及び路肩	
	02	歩道	

A=2のとき、B=2は選択可能。

条件名	C	条件名称	舗装厚（cm）
	実数		

条件名	D	条件名称	アスファルト合材の種別
	01	粗粒度 AC 20	
	02	安定処理混合物	
	03	密粒度 AC 13FA	
	04	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	05	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	06	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FA	
	08	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	09	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	10	密粒度 AC 20FH	
	11	密粒度 AC 20FH 改質材入り	

施工単価コード S4038

条件名	D	条件名称	アスファルト合材の種別
	12	密粒度 AC 13	
	13	材料無し	

A=1のとき、D=1, 2は選択可能。
 A=2かつB=1のとき、D=3~11は選択可能。
 A=2かつB=2のとき、D=12は選択可能

条件名	E	条件名称	瀝青材の種別
	01	タックコート	
	02	プライムコート	
	03	瀝青材無し	

条件名	F	条件名称	アスファルト合材単価 (円 / t)
	実数		

F条件は、D=5, 9のとき入力可能かつ必須入力。

付 属 施 設

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
道路編 附属施設				
				IV-2
== IV-2-①-1 =====				
== ガードケーブル設置工				
端末支柱	S7635	本		IV-2- 1
中間支柱	S7631	本		IV-2- 4
ケーブル張	S7632	m		IV-2- 7
== IV-2-①-2 =====				
== ワイヤロープ設置工				
端末基礎・端末金具設置（鋼管杭）	S7641	箇所		IV-2- 10
中間支柱・端末支柱設置	S7642	本		IV-2- 11
ワイヤロープ設置	S7643	m		IV-2- 13
ターンバックル設置	S7644	箇所		IV-2- 14
橋梁部基礎・支柱設置	S7645	箇所		IV-2- 15
== IV-2-①-3 =====				
== 立入り防止柵工				
立入り防止柵設置工（複合施工）	S7480	m		IV-2- 16
基礎ブロック，鋼管基礎	SP4014	基		IV-2- 18
金網・支柱（立入防止柵）	SP4015	m		IV-2- 20
支柱（立入防止柵）	SP4016	本		IV-2- 21
門扉	SP4110	基		IV-2- 22
== IV-2-①-4 =====				
== 車止めポスト設置工				
車止めポスト設置	SP4017	本		IV-2- 23
== IV-2-①-5 =====				
== 防雪柵設置及び撤去工				
防雪柵	SP4049	m		IV-2- 24

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
== IV-2-①-7 =====				
== 雪崩予防柵設置工				
雪崩予防柵	SP4050	基		IV-2- 25
吊柵アンカー	SP4051	本		IV-2- 27
簡易ケーブルクレーン（1 t 吊）設置・撤去	SP4052	基		IV-2- 28
== IV-2-①-8 =====				
== 落下物等防止柵設置工				
落下物等防止柵	SP4114	m		IV-2- 29
== IV-2-② =====				
== シャ音壁設置工				
支柱アンカー	SP4115	m		IV-2- 30
支柱建込	SP4116	m		IV-2- 31
シャ音板・透光板取付	SP4117	m2		IV-2- 32
== IV-2-③-1 =====				
== 路側工（据付け）				
歩車道境界ブロック	SP4018	m		IV-2- 33
地先境界ブロック	SP4019	m		IV-2- 36
== IV-2-③-2 =====				
== 路側工（取外し）				
歩車道境界ブロック撤去	SP4020	m		IV-2- 38
地先境界ブロック撤去	SP4021	m		IV-2- 39
== IV-2-④ =====				
== 特殊ブロック設置工				
特殊ブロック舗装	SP4022	m2		IV-2- 40
== IV-2-⑥ =====				
== 橋梁附属施設設置工				
排水柵	SP4045	箇所		IV-2- 41
橋名板等取付	SP4046	枚		IV-2- 42

施工単価コード S7635

施工単価名称	端末支柱						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	本	条件	A～L

出力名称	端末支柱						
規格名称 1	ガードケーブル端末支柱						
規格名称 2							
適用条件	<p>耐雪型を含むガードケーブルの設置（撤去を除く）に適用する。 ケーブル間隔保持材の有無に関係なく適用でき、耐雪型の場合は積雪 ランクの違いに関係なく適用できる。 ただし、アンカーボルト等を使用した着脱式支柱には適用できない。 また、「耐雪型」でも、補助支柱がないものは歩掛のみ「標準型」を 適用すること。</p>						

条件名	A	条件名称	ガードケーブルの規格
	01	標準型	
	02	耐雪型	

条件名	B	条件名称	端末支柱規格
	01	Gc-S-4E	
	02	Gc-A-6E・5E・4E	
	03	Gc-B-6E・5E・4E	
	04	Gc-C-6E・5E・4E	
	05	Gc-Am-6E	
	06	Gc-Bm-6E	
	07	Gc-S-2B	
	08	Gc-A-4B	
	09	Gc-B-4B	
	10	Gc-C-4B	
	11	Gc-Am-4B	
	12	Gc-Bm-4B	
	13	Gc-A2-6E	
	14	Gc-A3-5E	

施工単価コード S7635

条件名	B	条件名称	端末支柱規格
	15	Gc-A4-4E	
	16	Gc-A5-3E	
	17	Gc-B2-6E	
	18	Gc-B3-5E	
	19	Gc-B4-4E	
	20	Gc-B5-3E	
	21	Gc-C2-6E	
	22	Gc-C3-5E	
	23	Gc-C4-4E	
	24	Gc-C5-3E	
	25	Gc-A2-4B	
	26	Gc-A3-4B	
	27	Gc-A4-4B	
	28	Gc-A5-3B	
	29	Gc-B2-4B	
	30	Gc-B3-4B	
	31	Gc-B4-4B	
	32	Gc-B5-3B	
	33	Gc-C2-4B	
	34	Gc-C3-4B	
	35	Gc-C4-4B	
	36	Gc-C5-3B	

A=1のとき、B= 1～12は選択可能。
A=2のとき、B=13～36は選択可能。

条件名	C	条件名称	端末支柱種別
	01	塗装	
	02	メッキ	

条件名	D	条件名称	端末補助支柱の有無
	01	端末補助支柱	有
	02	端末補助支柱	無

施工単価コード S7635

A=2のとき、D条件は選択可能。

条件名	E	条件名称	端末補助支柱の材料費の有無
01		端末補助支柱の材料費	有
02		端末補助支柱の材料費	無

D=1のとき、E条件は選択可能。

条件名	F	条件名称	端末補助支柱単価 (円/本)
実数			

E=1のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	端末支柱の材料費の有無
01		端末支柱の材料費	有
02		端末支柱の材料費	無

条件名	H	条件名称	端末支柱単価 (円/本)
実数			

B=1, 5~7, 11, 12、G=1 または C=2、G=1のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	基礎碎石の種類
01		クラッシュラン	C30
02		クラッシュラン	C40
03		再生碎石	RC-40
04		その他	

条件名	J	条件名称	基礎碎石単価 (円/m3)
実数			

I=4のとき、J条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	K	条件名称	基礎碎石1本当り数量 (m3/本)
実数			

条件名	L	条件名称	トラック (クレーン装置付) 供用日当り運転時間
実数			条件省略値:0

施工単価コード S7631

施工単価名称	中間支柱						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	本	条件	A~I

出力名称	中間支柱						
規格名称1	(ガードケーブルの建込区分)						
規格名称2							
適用条件	<p>耐雪型を含むガードケーブルの設置（撤去を除く）に適用する。 ケーブル間隔保持材の有無に関係なく適用でき、耐雪型の場合は積雪 ランクのの違いに関係なく適用できる。 ただし、アンカーボルト等を使用した着脱式支柱には適用できない。 また、「耐雪型」でも、根巻きコンクリートブロック等が無いものは 歩掛のみ「標準型」を適用すること。</p>						

条件名	A	条件名称	ガードケーブルの建込区分
	01	土中建込	
	02	コンクリート建込	

条件名	B	条件名称	ガードケーブルの規格
	01	標準型	
	02	耐雪型	

条件名	C	条件名称	ガードケーブル規格
	01	Gc-A -6E	
	02	Gc-A -5E	
	03	Gc-A -4E	
	04	Gc-B -6E	
	05	Gc-B -5E	
	06	Gc-B -4E	
	07	Gc-C -6E	
	08	Gc-C -5E	
	09	Gc-C -4E	
	10	Gc-S -4E	

施工単価コード S7631

条件名	C	条件名称	ガードケーブル規格
11		Gc-Am-6E	
12		Gc-Bm-6E	
13		Gc-A-4B	
14		Gc-B-4B	
15		Gc-C-4B	
16		Gc-S-2B	
17		Gc-Am-4B	
18		Gc-Bm-4B	
19		Gc-A2-6E	
20		Gc-A3-5E	
21		Gc-A4-4E	
22		Gc-A5-3E	
23		Gc-B2-6E	
24		Gc-B3-5E	
25		Gc-B4-4E	
26		Gc-B5-3E	
27		Gc-C2-6E	
28		Gc-C3-5E	
29		Gc-C4-4E	
30		Gc-C5-3E	
31		Gc-A2-4B	
32		Gc-A3-4B	
33		Gc-A4-4B	
34		Gc-A5-3B	
35		Gc-B2-4B	
36		Gc-B3-4B	
37		Gc-B4-4B	
38		Gc-B5-3B	
39		Gc-C2-4B	
40		Gc-C3-4B	
41		Gc-C4-4B	

施工単価コード S7631

条件名	C	条件名称	ガードケーブル規格
	42	Gc-C5-3B	

A=1、B=1のとき、C= 1～12は選択可能。
 A=2、B=1のとき、C=13～18は選択可能。
 A=1、B=2のとき、C=19～30は選択可能。
 A=2、B=2のとき、C=31～42は選択可能。

条件名	D	条件名称	ガードケーブル種別
	01	塗装	
	02	メッキ	

条件名	E	条件名称	中間支柱の材料費の有無
	01	中間支柱の材料費	有
	02	中間支柱の材料費	無

条件名	F	条件名称	中間支柱単価 (円/本)
	実数		

D=2、E=1 または C=10～12, 17, 18、E=1のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	根巻きコンクリートブロックの有無
	01	根巻きコンクリートブロック	有
	02	根巻きコンクリートブロック	無

A=1、B=2のとき、G条件は選択可能。

条件名	H	条件名称	根巻きコンクリートブロック単価 (円/個)
	実数		

G=1のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	供用日当り運転時間
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S7632

施工単価名称	ケーブル張						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m	条件	A~H

出力名称	ケーブル張					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>耐雪型を含むガードケーブルの設置（撤去を除く）に適用する。 ケーブル間隔保持材の有無に関係なく適用でき、耐雪型の場合は積雪 ランクの違いに関係なく適用できる。 ただし、アンカーボルト等を使用した着脱式支柱には適用できない。</p>					

条件名	A	条件名称	ガードケーブルの規格
	01	標準型	
	02	耐雪型	

条件名	B	条件名称	ガードケーブル規格
	01	Gc-A -6E	
	02	Gc-A -5E	
	03	Gc-A -4E	
	04	Gc-B -6E	
	05	Gc-B -5E	
	06	Gc-B -4E	
	07	Gc-C -6E	
	08	Gc-C -5E	
	09	Gc-C -4E	
	10	Gc-S -4E	
	11	Gc-Am-6E	
	12	Gc-Bm-6E	
	13	Gc-A -4B	
	14	Gc-B -4B	
	15	Gc-C -4B	

施工単価コード S7632

条件名	B	条件名称	ガードケーブル規格
	16	Gc-S-2B	
	17	Gc-Am-4B	
	18	Gc-Bm-4B	
	19	Gc-A2-6E	
	20	Gc-A3-5E	
	21	Gc-A3-4E	
	22	Gc-A5-3E	
	23	Gc-B2-6E	
	24	Gc-B3-5E	
	25	Gc-B4-4E	
	26	Gc-B5-3E	
	27	Gc-C2-6E	
	28	Gc-C3-5E	
	29	Gc-C4-4E	
	30	Gc-C5-3E	
	31	Gc-A2-4B	
	32	Gc-A3-4B	
	33	Gc-A4-4B	
	34	Gc-A5-3B	
	35	Gc-B2-4B	
	36	Gc-B3-4B	
	37	Gc-B4-4B	
	38	Gc-B5-3B	
	39	Gc-C2-4B	
	40	Gc-C3-4B	
	41	Gc-C4-4B	
	42	Gc-C5-3B	

A=1のとき、B= 1～18は選択可能。
A=2のとき、B=19～42は選択可能。

施工単価コード S7632

条件名	C	条件名称	ケーブルの材料費の有無
	01	ケーブルの材料費	有
	02	ケーブルの材料費	無

条件名	D	条件名称	ガードケーブル単価 (円/m)
	実数		

B=10~12, 16~18、C=1のとき、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	間隔保持材の有無
	01	間隔保持材	有
	02	間隔保持材	無

条件名	F	条件名称	間隔保持材の数量 (本/100m)
	実数		

E=1のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	間隔保持材単価 (円/本)
	実数		

E=1のとき、G条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	トラック (クレーン装置付) 供用日当り運転時間
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S7641

施工単価名称	末端基礎・末端金具設置（鋼管杭）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A～C

出力名称	末端基礎・末端金具設置（鋼管杭）					
規格名称1	ワイヤロープ設置工					
規格名称2						
適用条件	高規格幹線道路暫定2車線区間の土工部及び橋梁部におけるワイヤロープ式防護柵設置（LD種）に適用する。 ただし、未供用の橋梁部は適用範囲外とする。					

条件名	A	条件名称	鋼管杭単価（円／本）
実数			

条件名	B	条件名称	末端金具用固定ボルト単価（円／本）
実数			

条件名	C	条件名称	末端金具（鋼管基礎用）単価（円／個）
実数			

施工単価コード S7642

施工単価名称	中間支柱・端末支柱設置						
実査区分	共通	単位数	100	単位	本	条件	A~I

出力名称	中間支柱・端末支柱設置	
規格名称1	ワイヤロープ設置工 (支柱区分)	
規格名称2	(根固めブロック)	
適用条件	高規格幹線道路暫定2車線区間の土工部及び橋梁部におけるワイヤロープ式防護柵設置 (LD種) に適用する。 ただし、未供用の橋梁部は適用範囲外とする。	

条件名	A	条件名称	支柱区分
	01	中間	
	02	端末	

条件名	B	条件名称	根固めブロック
	01	根固めブロック 有	
	02	根固めブロック 無	

条件名	C	条件名称	支柱単価 (円/本)
	実数		

条件名	D	条件名称	支柱用間隔材単価 (円/個)
	実数		

条件名	E	条件名称	ストラップ単価 (円/個)
	実数		

条件名	F	条件名称	キャップ単価 (円/個)
	実数		

施工単価コード S7642

条件名	G	条件名称	スリーブ単価 (円/本)
実数			

条件名	H	条件名称	スリーブカバー単価 (円/個)
実数			

H条件は、A=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	根固めブロック単価 (円/個)
実数			

I条件は、B=1のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S7643

施工単価名称	ワイヤロープ設置						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A

出力名称	ワイヤロープ設置						
規格名称1	ワイヤロープ設置工						
規格名称2							
適用条件	<p>高規格幹線道路暫定2車線区間の土工部及び橋梁部におけるワイヤロープ式防護柵設置（LD種）に適用する。 ただし、未供用の橋梁部は適用範囲外とする。</p>						

条件名	A	条件名称	ワイヤロープ単価（円/m）				
実数							

施工単価コード S7644

施工単価名称	ターンバックル設置						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A～D

出力名称	ターンバックル設置					
規格名称1	ワイヤロープ設置工 (接続区分)					
規格名称2						
適用条件	<p>高規格幹線道路暫定2車線区間の土工部及び橋梁部におけるワイヤロープ式防護柵設置 (LD種) に適用する。 ただし、未供用の橋梁部は適用範囲外とする。</p>					

条件名	A	条件名称	接続区分
	01	中間	
	02	端末	

条件名	B	条件名称	ターンバックル単価 (円/本)
	実数		

条件名	C	条件名称	索端金具 (R・L) 単価 (円/本)
	実数		

条件名	D	条件名称	ジョーボルト単価 (円/本)
	実数		

D条件は、A=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S7645

施工単価名称	橋梁部基礎・支柱設置						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A～E

出力名称	橋梁部基礎・支柱設置					
規格名称1	ワイヤロープ設置工					
規格名称2						
適用条件	高規格幹線道路暫定2車線区間の土工部及び橋梁部におけるワイヤロープ式防護柵設置（LD種）に適用する。 ただし、未供用の橋梁部は適用範囲外とする。					

条件名	A	条件名称	橋梁部基礎支柱単価（円／本）			
実数						

条件名	B	条件名称	アンカーボルト単価（円／組）			
実数						

条件名	C	条件名称	中間支柱用間隔材単価（円／個）			
実数						

条件名	D	条件名称	ストラップ単価（円／個）			
実数						

条件名	E	条件名称	キャップ単価（円／個）			
実数						

施工単価コード S7480

施工単価名称	立入り防止柵設置工（複合施工）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A～E

出力名称	立入り防止柵設置工（複合施工）	
規格名称1	金網柵	
規格名称2	支柱間隔（支柱間隔）	
適用条件		

立入り防止柵のうち金網柵の設置に適用する。

1. 適用出来る範囲

(1) 基礎ブロックを使用する場合、柵高2m以下、支柱間隔1.5m又は2mとする。

(2) 鋼管基礎を使用する場合、柵高2.5m以下、支柱間隔1.5m又は2mとする。

鋼管基礎は、鋼管径114.3mm以下かつ鋼管長1,250mm以下の場合のみ適用出来る。

2. 歩掛には、プレキャスト基礎ブロック又は鋼管基礎の設置、基礎砕石、作業土工（床掘り・埋戻し）及び、支柱設置、金網設置（胴縁取付・金網張立・張線設置）、充填材（モルタル）の混練及び打設を含む。

3. 適用出来ない範囲

(1) ベースプレート式の場合

(2) 撤去の場合

(3) 再利用設置の場合

条件名	A	条件名称	基礎種別
01		基礎ブロック	
02		鋼管基礎	

条件名	B	条件名称	支柱柵高
01		2m以下	
02		2mを超え2.5m以下	

B条件は、A=2のとき入力可能

条件名	C	条件名称	基礎砕石
01		基礎砕石 無し	
02		基礎砕石 有り (t=10cm)	

C条件は、A=1のとき入力可能

施工単価コード S7480

条件名	D	条件名称	支柱間隔
	01	1.5m	
	02	2m	

条件名	E	条件名称	金網・支柱単価 (円/m)
	実数		

必須入力

施工単価コード SP4014

施工単価名称	基礎ブロック， 鋼管基礎						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A～D

出力名称	基礎ブロック， 鋼管基礎	
規格名称1	立入り防止柵工	
規格名称2	(基礎種別)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>立入り防止柵の基礎ブロック及び鋼管基礎の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 柵高2m以下、支柱間隔1.5m又は2mの人力建込による立入り防止柵の基礎ブロックの場合</p> <p>(2) 柵高2.5m以下、支柱間隔1.5m又は2mの立入り防止柵の鋼管基礎の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) ベースプレート式の場合</p> <p>(2) 撤去の場合</p> <p>(3) 再利用設置の場合</p>	

条件名	A	条件名称	基礎種別
	01	基礎ブロック	
	02	鋼管基礎	

条件名	B	条件名称	構造物種別
	01	金網柵	
	02	門扉	

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	支柱柵高・門柱高
	01	2m以下	
	02	2mを超え2.5m以下	

C条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	基礎碎石
	01	基礎碎石	無し
	02	基礎碎石	有り (t=10cm)
	03	基礎碎石	有り (t=20cm)

施工単価コード	SP4014
---------	--------

D=1, 2は、A=1のとき入力可能。
D=3は、B=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4015

施工単価名称	金網・支柱（立入防止柵）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～C

出力名称	金網・支柱（立入防止柵）	
規格名称1	支柱間隔（支柱間隔）	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 立入り防止柵の金網・支柱の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 柵高2m以下、支柱間隔1.5m又は2mの基礎ブロック建込による立入防止柵の金網・支柱の場合 (2) 柵高2.5m以下、支柱間隔1.5m又は2mの鋼管基礎建込による立入防止柵の金網・支柱の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) ベースプレート式の場合 (2) 撤去の場合 (3) 再利用設置の場合</p>	

条件名	A	条件名称	基礎種別
	01	基礎ブロック	
	02	鋼管基礎	

条件名	B	条件名称	支柱柵高
	01	2m以下	
	02	2mを超え2.5m以下	

B条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	支柱間隔
	01	1.5m	
	02	2m	

施工単価コード SP4016

施工単価名称	支柱（立入防止柵）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A～B

出力名称	支柱（立入防止柵）	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 立入り防止柵の支柱の設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 柵高2m以下、支柱間隔1.5m又は2mの基礎ブロック建込による立入防止柵の支柱の場合 (2) 柵高2.5m以下、支柱間隔1.5m又は2mの鋼管基礎建込による立入防止柵の支柱の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) ベースプレート式の場合 (2) 撤去の場合 (3) 再利用設置の場合</p>	

条件名	A	条件名称	基礎種別
	01	基礎ブロック	
	02	鋼管基礎	

条件名	B	条件名称	支柱柵高
	01	2m以下	
	02	2mを超え2.5m以下	

B条件は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4110

施工単価名称	門扉						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～B

出力名称	門扉					
規格名称1	立入り防止柵工					
規格名称2	(門扉種別)					

適用条件

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲

立入り防止柵の門扉の設置に適用する。

1-1 適用出来る範囲

区分	片開き門扉			両開き門扉	
	門柱高	2.0m以下	2.0m超え 2.5m以下	2.5m超え 3.0m以下	3.0m以下
門扉幅	1.0m			6.0m以下	
基礎設置	基礎ブロック	○			○
	鋼管基礎	○	○	×	×
門扉設置	門扉	○	○	×	○

(注) 1. 上表において、○は適用出来る、×は適用出来ないを示している。

2. 鋼管基礎は、鋼管径114.3mm以下かつ鋼管長1,250mm以下の場合のみ適用出来る。

1-2 適用出来ない範囲

- (1) ベースプレート式の場合
- (2) 撤去の場合
- (3) 再利用設置の場合

条件名	A	条件名称	門扉種別
	01	片開き	
	02	両開き	

条件名	B	条件名称	門柱高
	01	2m以下	
	02	2mを超え2.5m以下	

B条件は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4017

施工単価名称	車止めポスト設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A

出力名称	車止めポスト設置					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 車止めポストの設置に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) ピラー型、固定式および取外し式、鋼製及びステンレス製で φ110mm～φ130mm、L=1.1m～1.5mのもの</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 車止めポストを撤去、撤去再設置する場合</p>					

条件名	A	条件名称	車止めポスト単価 (円/本)
実数			

施工単価コード SP4049

施工単価名称	防雪柵						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A～D

出力名称	防雪柵					
規格名称1	(形式)					
規格名称2	(取付方式)					
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 防雪柵の設置及び撤去に適用する。 なお、吹止式防雪柵には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	撤去	

条件名	B	条件名称	形式
	01	吹溜式	
	02	吹払式	

条件名	C	条件名称	取付方式
	01	仮設式(支柱+張立材)	
	02	仮設式(張立材のみ)	
	03	固定式(支柱+張立材)	
	04	固定式(張立材のみ)	

条件名	D	条件名称	柵高
	01	3.5m以下	
	02	3.5m超え6.0m以下	
	03	5.0m以下	
	04	4.0m以下	

A=1、B=1、C=1,2またはA=2、B=1、C=1,2のとき、D=1,2は選択可能。
A=1、B=1、C=3,4またはA=2、B=1、C=3,4のとき、D=3は選択可能。
B=2のとき、D=4は選択可能。

施工単価コード SP4050

施工単価名称	雪崩予防柵						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A～D

出力名称	雪崩予防柵	
規格名称1	(柵種類)	
規格名称2	(クレーン機種)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>雪崩予防柵設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 固定基礎を有する固定柵及び固定アンカーを有しワイヤで柵を吊っている吊柵のうち1基当り柵長が6m以下、柵高が3m以下の鋼製の雪崩予防柵を設置する場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 吊枠を設置する場合</p> <p>(2) PC製の雪崩予防柵を設置する場合</p>	

条件名	A	条件名称	柵種類
	01	固定柵	
	02	吊柵	

条件名	B	条件名称	クレーン機種
	01	トラッククレーン	
	02	ラフテレンクレーン	
	03	簡易ケーブルクレーン	

条件名	C	条件名称	持上範囲
	01	15m未満	
	02	15m以上20m未満	
	03	20m以上45m以下	
	04	130m以下	

B=1のとき、C=1は選択可能。
 B=2のとき、C=2, 3は選択可能。
 B=3のとき、C=4は選択可能。

施工単価コード SP4050

条件名	D	条件名称	トラッククレーン及びびラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:1		

B=1, 2のとき、D条件は入力可能。

施工単価コード SP4051

施工単価名称	吊柵アンカー						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A

出力名称	吊柵アンカー					
規格名称1	(吊柵アンカー規格)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 雪崩予防柵設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 土質がレキ質土、砂質土、粘性土、岩塊・玉石混り土で吊柵アンカーにパイプアンカー(φ114.3mm、長さ2.0~3.0m)を設置する場合</p> <p>(2) 土質が軟岩、硬岩で吊柵アンカーに樹脂アンカー(φ32・36mm、長さ1.7m)を設置する場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 吊柵アンカーにコンクリートアンカー又は土中アンカーを設置する場合</p>					

条件名	A	条件名称	吊柵アンカー規格
	01	パイプアンカー	
	02	樹脂アンカー	

施工単価コード SP4052

施工単価名称	簡易ケーブルクレーン（1 t 吊）設置・撤去					
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件

出力名称	簡易ケーブルクレーン（1 t 吊）設置・撤去					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 雪崩予防柵設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 簡易ケーブルクレーン(巻上げ能力1.0 t)を設置・撤去する場合</p>					

施工単価コード SP4114

施工単価名称	落下物等防止柵						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	落下物等防止柵					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>橋梁等からの落下物により、沿道に支障がある場合に設置する落下物等防止柵のうち、投下物防止柵を設置する場合に適用する。</p> <p>なお、落下物等防止柵の種類は次による。</p> <p>(1) 投下物防止柵：跨道橋等から石、空缶類、その他物品等が落下して下方の道路等における走行車輛等の安全を阻害することのないよう路側に設置するもの</p> <p>(2) 積荷転落防止柵：道路から車輛積載物等が下方の鉄道、道路、建築物等へ落下し、被害が及ぶことを阻止するために路側に設置するもの</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 投下物防止柵を壁高欄（天端または内側側面）に設置し、柵の天端高さが路面から2.0mの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 積荷転落防止柵を設置する場合</p> <p>(2) 柵の支柱を壁高欄外側側面または鋼製高欄等へ取付ける場合</p> <p>(3) 金網がエキスパンドメタル・菱形金網以外の場合</p>					

条件名	A	条件名称	アンカーボルト設置の有無
	01	アンカーボルト設置	有り
	02	アンカーボルト設置	無し

施工単価コード SP4115

施工単価名称	支柱アンカー						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~C

出力名称	支柱アンカー	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 しゃ音壁設置工のうち、支柱アンカー工で、しゃ音板高さ（下部構造物の高さを含まない）8m以下に適用する。 なお、支柱の取付方法は付図に示す形式のものとし、支柱の取付形式は、埋設アンカー方式をA型、穿孔アンカー方式をB型と分類する。</p>	

条件名	A	条件名称	形式
	01	A型(埋設アンカー方式)	
	02	B型(穿孔アンカー方式)	

条件名	B	条件名称	支柱間隔
	01	2m	
	02	4m	

条件名	C	条件名称	設置高さ
	01	4m以下	
	02	4mを超え8m以下	

C=2は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4116

施工単価名称	支柱建込						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A~C

出力名称	支柱建込					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>しゃ音壁設置工のうち、支柱建込工で、しゃ音板高さ（下部構造物の高さを含まない）8m以下に適用する。</p> <p>なお、支柱の取付方法は付図に示す形式のものとし、支柱の取付形式は、埋設アンカー方式をA型、穿孔アンカー方式をB型と分類する。</p>					

条件名	A	条件名称	形式
	01	A型(埋設アンカー方式)	
	02	B型(穿孔アンカー方式)	

条件名	B	条件名称	支柱間隔
	01	2m	
	02	4m	

条件名	C	条件名称	設置高さ
	01	4m以下	
	02	4mを超え8m以下	

C=2は、A=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4117

施工単価名称	しゃ音板・透光板取付						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	しゃ音板・透光板取付	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>しゃ音壁設置工のうち、しゃ音板・透光板取付工で、しゃ音板高さ（下部構造物の高さを含まない）8m以下に適用する。 なお、支柱の取付方法は付図に示す形式のものとし、支柱の取付形式は、埋設アンカー方式をA型、穿孔アンカー方式をB型と分類する。</p>	

条件名	A	条件名称	施工区分
	01	しゃ音板	
	02	透光板	

条件名	B	条件名称	設置高さ
	01	4m以下	
	02	4mを超え8m以下	

施工単価コード SP4018

施工単価名称	歩車道境界ブロック						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~I

出力名称	歩車道境界ブロック	
規格名称1	(ブロック規格)	
規格名称2	(基礎砕石規格)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>プレキャスト製品による歩車道境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 製品長2m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 製品長が2mを超える場合</p>	

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	再利用設置	

条件名	B	条件名称	ブロック規格
	01	A種(150/170×200×600)	
	02	B種(180/205×250×600)	
	03	C種(180/210×300×600)	
	04	各種(600mm以下、50kg未満)	
	05	各種(600mm以下、50kg以上100kg未満)	
	06	各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満)	
	07	各種(1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未)	

条件名	C	条件名称	m当り歩車道境界ブロック使用量 (個/m)
	実数		

C条件は、A=1、B=4~5のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4018

条件名	D	条件名称	基礎碎石規格
01		再生碎石	RC-40
02		クラッシュラン	C30
03		クラッシュラン	C40
04		基礎碎石	無し

条件名	E	条件名称	均し基礎コンクリート規格
01		18- 8-40高炉	W/C \leq 60%
02		18- 8-40	W/C \leq 60%
03		均し基礎コンクリート	無し

条件名	F	条件名称	養生工の有無
01		養生工	無し
02		養生工	有り

F条件は、E=1～2のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	ブロック規格
01		歩車道境界ブロック	A型
02		歩車道境界ブロック	B型
03		歩車道境界ブロック	C型
04		歩車道境界ブロック	(Fb-15)
05		歩車道境界ブロック	(Fb-20)
06		歩車道境界ブロック	(Fb-25)
07		歩車道境界ブロック	(Ff-20) (Fa-25)
08		歩車道境界ブロック	(Ff-25)
09		歩車道境界ブロック	(Fa-20)
10		歩車道境界ブロック	(Fc-2)
11		歩車道境界ブロック	(Fc-5)

G=1は、A=1、B=1のとき選択可能。
 G=2は、A=1、B=2のとき選択可能。
 G=3は、A=1、B=3のとき選択可能。
 G=4～9は、A=1、B=7のとき選択可能。
 G=10～11は、A=1、B=6のとき選択可能。

施工単価コード SP4018

条件名	H	条件名称	ブロック単価 (円/個)
	実数		

H条件は、A=1、B=4～5のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01		生コン小型車割増なし
	02		生コン小型車割増あり

I条件は、E=1～2のとき入力可能。

施工単価コード SP4019

施工単価名称	地先境界ブロック						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~H

出力名称	地先境界ブロック					
規格名称1	(ブロック規格)					
規格名称2	(基礎砕石規格)					
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 プレキャスト製品による地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 製品長2m以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 製品長が2mを超える場合</p>					

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	再利用設置	

条件名	B	条件名称	ブロック規格
	01	A種(120×120×600)	
	02	B種(150×120×600)	
	03	C種(150×150×600)	
	04	各種(600mm以下、50kg未満)	
	05	各種(600mm以下、50kg以上100kg未満)	
	06	各種(600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満)	
	07	各種(1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未	

条件名	C	条件名称	m当り地先境界ブロック使用量 (個/m)
	実数		

C条件は、A=1、B=4~7のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4019

条件名	D	条件名称	基礎碎石規格
	01	再生碎石	RC-40
	02	クラッシュラン	C30
	03	クラッシュラン	C40
	04	基礎碎石	無し

条件名	E	条件名称	均し基礎コンクリート規格
	01	18- 8-40高炉	W/C \leq 60%
	02	18- 8-40	W/C \leq 60%
	03	均し基礎コンクリート	無し

条件名	F	条件名称	養生工の有無
	01	養生工	無し
	02	養生工	有り

F条件は、E=1～2のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	ブロック単価 (円/個)
	実数		

G条件は、A=1、B=4～7のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

H条件は、E=1～2のとき入力可能。

施工単価コード SP4020

施工単価名称	歩車道境界ブロック撤去						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	歩車道境界ブロック撤去	
規格名称1	(再利用区分)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 プレキャスト製品による歩車道境界ブロックの取外し作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 処分又は再利用を目的としたブロック (長さ800mm/個以下、質量105kg/個未満) の撤去の場合</p>	

条件名	A	条件名称	再利用区分
	01	処分	
	02	再利用	

施工単価コード SP4021

施工単価名称	地先境界ブロック撤去						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	地先境界ブロック撤去	
規格名称 1	(再利用区分)	
規格名称 2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 プレキャスト製品による地先境界ブロックの取外し作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 処分又は再利用を目的としたブロック（長さ800mm/個以下、質量105kg/個未満）の撤去の場合</p>	

条件名	A	条件名称	再利用区分
	01	処分	
	02	再利用	

施工単価コード SP4022

施工単価名称	特殊ブロック舗装						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	特殊ブロック舗装	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 ブロック規格が30cm×30cm及び40cm×40cmの平板ブロック（透水性ブロック含む）及び視覚障害者誘導用ブロック（点状ブロック、線状ブロック）設置・撤去に適用する。ただし、舗装版等のとりこわし、切断作業は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 特殊ブロック設置（材料込みの新設設置） (2) 撤去のみの場合 (3) 再利用設置の場合（設置手間のみの流用品）</p>	

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	撤去	
	03	再利用設置	

条件名	B	条件名称	ブロック規格
	01	30cm×30cm	
	02	40cm×40cm	

A=1のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	特殊ブロック単価（円/枚）
	実数		

A=1のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4045

施工単価名称	排水枿						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	排水枿					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p> 施工パッケージによる橋梁附属施設設置工に適用する。</p> <p> 1-1 適用出来る範囲</p> <p> (1) 橋梁、シェットの排水枿（110kg/個以下）を設置する場合</p> <p> 1-2 適用出来ない範囲</p> <p> (1) 鋼床版を同時に施工する場合</p>					

条件名	A	条件名称	排水枿の種類
	01	排水枿A	
	02	排水枿B 20kg/個未満	
	03	排水枿B 20kg/個以上 110kg/個以下	

条件名	B	条件名称	排水枿単価（円/個）
	実数		

施工単価コード SP4046

施工単価名称	橋名板等取付						
実査区分	共通	単位数	1	単位	枚	条件	A

出力名称	橋名板等取付	
規格名称 1		
規格名称 2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 施工パッケージによる橋梁附属施設設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 高欄、橋桁及び橋台・橋脚に橋名板（橋歴板）（300mm×800mm以下）を設置する場合</p>	

条件名	A	条件名称	銘板単価（円／枚）
実数			

施工単価コード SP4023

施工単価名称	橋梁用高欄						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～B

出力名称	橋梁用高欄	
規格名称1	(設置方法)	
規格名称2		

適用条件
<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>施工パッケージによる橋梁付属施設設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 橋梁用高欄（橋梁に設置する高欄（歩行者自転車用柵）、車両用防護柵及び高欄兼用車両用防護柵）を設置する場合</p> <p>(2) 橋梁用高欄の材質が鋼製・ダクタイル製・アルミ製の場合</p> <p>(3) 基礎方式がベースプレート式の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 橋梁用ガードレール高欄を設置する場合</p> <p>(2) 側道橋用高欄を設置する場合</p> <p>(3) 既設地覆を削孔してアンカーを設置する場合</p> <p>(4) 再利用設置の場合</p>

条件名	A	条件名称	設置方法
	01	組立式	
	02	一体式	

条件名	B	条件名称	高欄組立式単価（円/m）
	実数		

施工単価コード SP4070

施工単価名称	スノーポール設置・撤去						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A～B

出力名称	スノーポール設置・撤去	
規格名称1	(スノーポール規格)	
規格名称2		
適用条件		

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲

積雪寒冷地の冬期視線誘導対策におけるスノーポールの設置、撤去、設置・撤去に適用する。

1-1 適用出来る範囲

- (1) 既存の視線誘導標にスノーポールを取付ける「かぶせ型タイプ」の場合
- (2) 単柱を土中に差し込む「土中単柱型タイプ」の場合
- (3) 既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入単柱型タイプ」の場合

1-2 適用出来ない範囲

- (1) 二段式デリニエータポール等の引上げの場合
- (2) ガードレール等既設構造物に固定するなどして設置する「添柱型タイプ」の場合

条件名	A	条件名称	スノーポール規格
	01	かぶせ型	
	02	土中単柱型	
	03	挿入単柱型	

条件名	B	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	撤去	
	03	設置・撤去	

施工単価コード S6350

施工単価名称	送水管、散水管据付工（鋼管）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A～C

出力名称	送水管、散水管据付工（鋼管）	
規格名称1	（据付管区分）	
規格名称2	φ（B条件値）mm	
適用条件	<p>1. 適用範囲は、送水管の鋼管呼び径350A以下及び散水管の鋼管呼び径150A以下のコンクリート埋設配管、土中埋設配管及び露出配管とする。 なお、プレキャスト製品には適用しない。</p> <p>2. 散水管、送水管及び配管架台の据付まで含むものとし、その他の付属設備は含まないものとする。掘削工、配筋工、コンクリート工等の土木工事も含まない。</p> <p>3. ダブル配管の場合には、それぞれの管について工数を算出する。</p> <p>4. 管径が150A以下は人力施工、200A以上は機械施工である。</p>	

条件名	A	条件名称	据付管区分
	01	送水管	
	02	散水管	

条件名	B	条件名称	管径（mm）
	実数		

管径は呼び径（A）で入力すること。
 送水管の場合は350以下を、散水管の場合は150以下を入力。

条件名	C	条件名称	トラック（クレーン装置付）賃料補正
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6351

施工単価名称	ポンプ据付						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	台	条件	A～C

出力名称	ポンプ据付					
規格名称1	(作業区分)					
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポンプ据付（口径150mm以下かつ出力45kW以下の深井戸用水中モータポンプ）に適用する。 2. 深井戸用水中ポンプ以外の場合、別途積上げる。 3. ポンプ据付には、逆止弁、仕切弁、圧力計、揚水管、低水位用電極、制御用電力ケーブル、流量計、吐出曲管、空気弁、相フランジ、井戸ふた、支持バンド、水中ケーブル、基礎ボルト、受台等の据付及び配線・配管を含むものとする。ポンプ室設置等の土木工事は本工数に含まない。 4. 取水位置と制御盤の距離は10mを標準とし、それ以上の配管、配線については別途計上する。 					

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	深井戸用水中ポンプ	
	02	井戸用操作盤設置・井戸用ポンプ設備試運転	

条件名	B	条件名称	揚水管延長 (m)
	実数		

A=1のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6353

施工単価名称	さく井掘削						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A~I

出力名称	さく井掘削					
規格名称1	(ケーシング及び掘削径)					
規格名称2						
適用条件	さく井動力仮設以外の掘削に必要な機械経費が総て含まれている複合施工である。ただし、充填砂利以外の材料費は別途計上すること。					

条件名	A	条件名称	粘性土掘削長 (m)
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	砂・砂質土掘削長 (m)
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	レキ質土・軟岩掘削長 (m)
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	岩塊・玉石掘削長 (m)
実数	条件省略値:0		

条件名	E	条件名称	ケーシング及び掘削径
	01	φ 200 掘削 φ 350	
	02	φ 250 掘削 φ 400	
	03	φ 300 掘削 φ 450	
	04	φ 350 掘削 φ 500	
	05	φ 400 掘削 φ 550	

施工単価コード S6353

条件名	F	条件名称	ホーリングマシン（さく井機・パーカッション式）規格
	01	モータ出力15kW	
	02	モータ出力22kW	
	03	モータ出力30kW	

条件名	G	条件名称	揚水試験ポンプ規格
	01	口径80mm ・ 揚程70m ・ 出力11kW	
	02	口径80mm ・ 揚程100m ・ 出力15kW	
	03	口径100mm ・ 揚程30m ・ 出力11kW	
	04	口径100mm ・ 揚程40m ・ 出力11kW	
	05	口径100mm ・ 揚程55m ・ 出力15kW	
	06	口径100mm ・ 揚程75m ・ 出力22kW	
	07	口径100mm ・ 揚程90m ・ 出力22kW	
	08	口径125mm ・ 揚程35m ・ 出力15kW	
	09	口径125mm ・ 揚程50m ・ 出力22kW	
	10	口径125mm ・ 揚程75m ・ 出力30kW	
	11	口径125mm ・ 揚程90m ・ 出力37kW	
	12	口径150mm ・ 揚程30m ・ 出力22kW	
	13	口径150mm ・ 揚程40m ・ 出力30kW	
	14	口径150mm ・ 揚程45m ・ 出力37kW	

条件名	H	条件名称	電気溶接機規格
	01	交流アーク式	200A
	02	交流アーク式	250A
	03	交流アーク式	300A

条件名	I	条件名称	発動発電機の機種
	01	排出ガス対策型	（第1次基準値）
	02	普通型	

F=2, 3のとき、I=1は選択可能。

施工単価コード S3340

施工単価名称	消雪パイプ保護コンクリート（鋼管）						
実査区分	共通	単位数	55	単位	m	条件	A～H

出力名称	消雪パイプ保護コンクリート（鋼管）	
規格名称1	（配管径）	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	配管径
	01	歩道部 配管	200 A
	02	歩道部 配管	250 A
	03	歩道部 配管	300 A
	04	歩道部 配管	350 A
	05	車道部 配管	200 A
	06	車道部 配管	250 A
	07	車道部 配管	300 A
	08	車道部 配管	350 A

条件名	B	条件名称	コンクリート養生工法
	* 01	一般養生	
	02	特殊養生（練炭）	
	03	特殊養生（ジェットヒータ）	
	04	養生計上せず	

条件名	C	条件名称	単位型枠の数量（m2）
	実数		

条件名	D	条件名称	基礎材の有無
	* 01	基礎材無し	
	02	基礎材（C40）有り	
	03	基礎材（再生砕石）有り	

施工単価コード S3340

条件名	E	条件名称	基面整正
	01		基面整正なし
	02		基面整正あり

条件名	F	条件名称	生コンクリート種別
	* 01		高炉
	02		普通

条件名	G	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01		生コン小型車割増なし
	02		生コン小型車割増あり

条件名	H	条件名称	施工規模
	* 01		総量10t以上
	02		総量10t未満

施工単価コード S3341

施工単価名称	消雪パイプ保護コンクリート（塩ビ管）						
実査区分	共通	単位数	55	単位	m	条件	A～I

出力名称	消雪パイプ保護コンクリート（塩ビ管）					
規格名称1	（配管径）					
規格名称2	（道路区分）					
適用条件	*補足説明* 散水管、送水管の区別なし。					

条件名	A	条件名称	配管径
	01	配管	65A
	02	配管	75A
	03	配管	100A
	04	配管	125A
	05	配管	150A
	06	配管	200A

条件名	B	条件名称	コンクリート養生工法
	* 01	一般養生	
	02	特殊養生（練炭）	
	03	特殊養生（ジェットヒータ）	
	04	養生計上せず	

条件名	C	条件名称	単位型枠の数量（m ² ）m当り
	実数		

条件名	D	条件名称	基礎材の有無
	* 01	基礎材無し	
	02	基礎材（C40）有り	
	03	基礎材（再生砕石）有り	

施工単価コード S3341

条件名	E	条件名称	基面整正
	01	基面整正なし	
	02	基面整正あり	

条件名	F	条件名称	道路区分
	01	車道部	
	02	歩道部	

条件名	G	条件名称	生コンクリート種別
	* 01	高炉	
	02	普通	

条件名	H	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

条件名	I	条件名称	施工規模
	* 01	総量10t以上	
	02	総量10t未満	

施工単価コード S3371

施工単価名称	井戸点検						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A~B

出力名称	井戸点検	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	ポンプ所要出力
01	7.5kW以下		
02	11kW~18kW		
03	22kW~30kW		

条件名	B	条件名称	クレーン装置付きトラック計上の有無
01	無し		
02	有り		

施工単価コード S3373

施工単価名称	簡易揚水試験						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A

出力名称	簡易揚水試験					
規格名称1	さく井関係					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ポンプ所要出力
01		; 7.5kW以下	
02		; 11kW~18kW	
03		; 22kW~30kW	

施工単価コード S3374

施工単価名称	ポンプ引上げ工						
実査区分	共通	単位数量	60	単位	m	条件	A~C

出力名称	ポンプ引上げ工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ポンプの規格				
	01	; 11kW以下					
	02	; 15kW以上					

条件名	B	条件名称	クレーン車計上の有無				
	01	クレーン車の計上無し					
	02	クレーン車の計上有り					

条件名	C	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数				
	実数	条件省略値:0					

B=2のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード S3375

施工単価名称	ポンプ据付工						
実査区分	共通	単位数量	60	単位	m	条件	A~C

出力名称	ポンプ据付工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ポンプの規格				
	01	; 11kW以下					
	02	; 15kW以上					

条件名	B	条件名称	クレーン車計上の有無				
	01	クレーン車の計上無し					
	02	クレーン車の計上有り					

条件名	C	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数				
	実数	条件省略値:0					

B=2のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード S3376

施工単価名称	エアーリフト作業工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	日	条件	A～C

出力名称	エアーリフト作業工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	井戸規模
01	(200～250φ)	50m以内	
02	(200～250φ)	51～100m以内	
03	(200～250φ)	101～150m以内	
04	(200～250φ)	151～200m以内	
05	(300φ)	50m以内	
06	(300φ)	51～100m以内	
07	(300φ)	101～150m以内	

条件名	B	条件名称	井戸深度
実数			

条件名	C	条件名称	フロー管使用の有無
01	フロー管の使用無し		
02	フロー管の使用有り		

施工単価コード S3386

施工単価名称	ブラッシング+ベ어링+スワッピング工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A~C

出力名称	ブラッシング+ベ어링+スワッピング工	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	井戸規模
	01	(200~250φ)	50m以内
	02	(200~250φ)	51~100m以内
	03	(200~250φ)	101~150m以内
	04	(300φ)	50m以内
	05	(300φ)	51~100m以内

条件名	B	条件名称	トラッククレーン規格
	01	計上しない	
	02	油圧伸縮ジブ型	4.9 t 吊
	03	油圧伸縮ジブ型	16 t 吊
	04	油圧伸縮ジブ型	20 t 吊

条件名	C	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

B=2~4のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード S3387

施工単価名称	二重ケーシング作業工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A～C

出力名称	二重ケーシング作業工	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	井戸規模
	01	(200～250φ)	150m以内
	02	(200～250φ)	151m以上
	03	(300φ)	100m以内
	04	(300φ)	101m以上

条件名	B	条件名称	トラッククレーン規格
	01	計上しない	
	02	; 油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	
	03	; 油圧伸縮ジブ型 16 t 吊	
	04	; 油圧伸縮ジブ型 20 t 吊	

条件名	C	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

B=2～4のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード S3388

施工単価名称	報告書作成						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A

出力名称	報告書作成	
規格名称 1		
規格名称 2		

条件名	A	条件名称	報告書部数
	01	1部	
	02	2部	

道路維持修繕工

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
道路編 道路維持修繕工				
				IV-3
== IV-3-①-1 ==				
== 路面切削工				
路面切削	SP4025	m2		IV-3- 1
殻運搬 (路面切削)	SP4026	m3		IV-3- 2
== IV-3-①-2 ==				
== 切削オーバーレイ工				
切削オーバーレイ工	S4251	m2		IV-3- 5
== IV-3-② ==				
== 舗装版破碎工				
舗装版破碎	SP4027	m2		IV-3- 8
== IV-3-③ ==				
== 舗装版切断工				
舗装版切断	SP4028	m		IV-3- 10
== IV-3-④ ==				
== 道路打換え工				
直接掘削積込	S5031	m2		IV-3- 12
とりこわし掘削積込	S5032	m2		IV-3- 13
不陸整正 (路床又は路盤の補足材敷均し転圧)	S5033	m2		IV-3- 15
路盤の敷均し転圧	S5034	m2		IV-3- 16
舗装の敷均し転圧	S5035	m2		IV-3- 18
== IV-3-⑤ ==				
== 路上路盤再生工				
路上路盤再生工	S5058	m2		IV-3- 20
== IV-3-⑦ ==				
== 舗装版クラック補修工				
クラック補修	SP4086	m		IV-3- 22

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
クラック防止シート張	SP4087	m		IV-3- 23
舗装版クラック補修工 (材料費)	S5070	m		IV-3- 24
== IV-3-⑧ ==				
== 道路付属構造物塗替工				
素地調整	SP4043	m2		IV-3- 25
付属構造物塗替	SP4044	m2		IV-3- 26
== IV-3-⑨ ==				
== 張紙防止塗装工				
張紙防止塗装	SP4053	m2		IV-3- 28
== IV-3-⑩ ==				
== 床版補強工				
鋼板接着工	S5500	m2		IV-3- 29
増桁取付工 (増桁架設工法)	S5502	t		IV-3- 30
既設部材撤去工 (増桁架設工法)	S5503	t		IV-3- 31
クラック処理工	S5501	m		IV-3- 32
足場工 (床版補強工)	S5550	m2		IV-3- 33
防護工 (床版補強工)	S5551	m2		IV-3- 34
下地処理工 (炭素繊維接着工法)	S5521	m2		IV-3- 35
プライマー工 (炭素繊維接着工法)	S5522	m2		IV-3- 36
不陸整正工 (炭素繊維接着工法)	S5523	m2		IV-3- 37
炭素繊維シート接着工 (炭素繊維接着工法)	S5524	m2		IV-3- 38
仕上げ塗装工 (炭素繊維接着工法)	S5525	m2		IV-3- 40
== IV-3-⑪-1 ==				
== 橋梁補強工 (鋼板巻立て) (1)				
鋼板巻立て	SP4071	m2		IV-3- 41
現場溶接	SP4072	m		IV-3- 42
フーチングアンカー削孔・定着	SP4073	箇所		IV-3- 43

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
== IV-3-⑪-2 =====				
== 橋梁補強工（鋼板巻立て）（2）				
鋼板取付	SP4074	m2		IV-3- 44
== IV-3-⑪-3 =====				
== 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）				
コンクリート削孔	SP4075	箇所		IV-3- 45
コンクリート巻立て	SP4076	m3		IV-3- 47
== IV-3-⑪-4 =====				
== 橋梁補強工（コンクリート巻立て）（2）				
足場（適用範囲外コンクリート巻立て工）	SP4077	掛m2		IV-3- 49
下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工）	SP4078	m2		IV-3- 50
型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工）	SP4079	m2		IV-3- 51
コンクリート（適用範囲外コンクリート巻立て工）	SP4080	m3		IV-3- 52
== IV-3-⑫-1 =====				
== 橋梁地覆補修工				
とりこわし	SP4088	m3		IV-3- 54
鉄筋	SP4089	t		IV-3- 55
コンクリート	SP4090	m3		IV-3- 56
足場・防護	SP4091	m2		IV-3- 57
== IV-3-⑫-2 =====				
== 橋梁補修工（支承取替工）				
支承取替（鋼橋）	SP4081	基		IV-3- 59
支承取替（PC橋）	SP4082	基		IV-3- 60
沓座コンクリートはつり（支承直下部以外）	SP4108	m3		IV-3- 61
下部工ブラケット取付	SP4109	基		IV-3- 62
足場	SP4083	m2		IV-3- 63
== IV-3-⑫-3 =====				
== 橋梁補修工（現場溶接鋼桁補強工）				
現場溶接鋼桁補強	SP4092	m		IV-3- 64

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
== IV-3-⑫-4 =====				
== 橋梁補修工（表面被覆工（塗装工法））				
表面被覆工（塗装工法）下地処理	S5512	橋		IV-3- 65
表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布	S5513	橋		IV-3- 66
表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）	S5514	橋		IV-3- 67
表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布	S5515	橋		IV-3- 68
表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	S5516	橋		IV-3- 69
== IV-3-⑬ =====				
== 落橋防止装置工				
コンクリート削孔（電動式コアボアリングマシン）	SP4054	孔		IV-3- 70
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	SP4055	孔		IV-3- 71
コンクリート削孔（さく岩機〔ハンドドリル（空圧式）〕）	SP4056	孔		IV-3- 72
アンカー	SP4057	本		IV-3- 73
充填補修	SP4058	孔		IV-3- 74
現場孔明（鋼構造物）	SP4063	本		IV-3- 75
== IV-3-⑭ =====				
== 道路除草工				
除草	SP4093	m2		IV-3- 76
集草	SP4094	m2		IV-3- 77
積込運搬	SP4095	m2		IV-3- 78
機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬	SP4098	m2		IV-3- 80
機械除草（肩掛式）・集草	SP4099	m2		IV-3- 82
機械除草（ハンドガイド式）・集草・積込運搬	SP4100	m2		IV-3- 83
機械除草（ハンドガイド式）・集草	SP4101	m2		IV-3- 85
== IV-3-⑮-1 =====				
== 路面清掃工（機械清掃）				
路面清掃工	S5561	km		IV-3- 86
== IV-3-⑮-2 =====				
== 路面清掃工（人力清掃工）				
路面清掃（路肩部・人力）	SP4029	km		IV-3- 90

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
路面清掃（歩道等・人力）	SP4030	m2		IV-3- 91
== IV-3-⑩-1 ==				
== 排水構造物清掃工				
== （管渠清掃工、側溝清掃工及び				
== 集水桝清掃工(組合せ作業))				
排水構造物清掃工（管渠清掃工）	S5581	m		IV-3- 92
排水構造物清掃工（側溝清掃工・組合せ作業）	S5582	m		IV-3- 95
排水構造物清掃工	S5586	個		IV-3- 98
== IV-3-⑩-2 ==				
== 排水構造物清掃工				
== （側溝清掃(単独作業))				
排水構造物清掃工（側溝清掃工・単独作業）	S5583	m		IV-3- 101
側溝蓋撤去・設置	S5585	枚		IV-3- 103
== IV-3-⑩-3 ==				
== 排水構造物清掃工				
== （側溝清掃工(人力清掃工))				
側溝清掃（人力清掃工）	SP4031	m		IV-3- 104
== IV-3-⑩-4 ==				
== 排水構造物清掃工				
== （集水桝清掃工(単独作業))				
集水桝清掃工（単独作業）	S5571	箇所		IV-3- 105
== IV-3-⑩-5 ==				
== 排水構造物清掃工				
== （集水桝清掃工(人力清掃工))				
桝清掃（人力清掃工）	SP4059	箇所		IV-3- 107
== IV-3-⑪ ==				
== トンネル照明器具清掃工				
トンネル照明器具清掃工	S4951	灯		IV-3- 108

施工単価コード SP4025

施工単価名称	路面切削						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	路面切削	
規格名称1	(施工区分・平均切削深さ)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 路面切削機によるアスファルト舗装の切削作業で平均切削深さ12cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (以下のいずれかの条件に該当する場合) (1) 複数の路面切削機による並列切削作業 (2) 特殊結合材 (エポキシ樹脂) 及び特殊滑材 (エメリー) を含むアスファルト舗装路面の切削作業 (3) 道路打換え工のための舗装版とりこわし (4) 帯状切削作業に段差すりつけを含む場合</p>	

条件名	A	条件名称	施工区分・平均切削深さ
01		全面切削6cm以下(4000m2以下)	
02		全面切削6cm以下(4000m2を超え)	
03		全面切削6cmを超え12cm以下	
04		帯状切削3cm以下	

条件名	B	条件名称	段差すりつけの撤去作業
01		段差すりつけの撤去作業	無し
02		段差すりつけの撤去作業	有り

A=1～3のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	費用の内訳
01		全ての費用	
02		機械費、労務費のみ (1日未満用)	
03		材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード SP4026

施工単価名称	殻運搬（路面切削）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m3	条件	A～D

出力名称	殻運搬（路面切削）	
規格名称1	(DID区間の有無)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬</p> <p>1-2 適用出来ない範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>(1) 段差すりつけの撤去後に発生した殻運搬</p> <p>(2) 舗装版破碎工に伴い発生したコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬</p> <p>(3) 運搬距離が60kmを超える場合</p>	

条件名	A	条件名称	DID区間の有無
	01	DID区間 無し	
	02	DID区間 有り	

条件名	B	条件名称	運搬距離
	01	0.2km以下	
	02	0.5km以下	
	03	1.0km以下	
	04	1.5km以下	
	05	2.0km以下	
	06	2.5km以下	
	07	3.0km以下	
	08	3.5km以下	
	09	4.0km以下	
	10	4.5km以下	
	11	5.0km以下	
	12	5.5km以下	

施工単価コード SP4026

条件名	B	条件名称	運搬距離
	13	6.5km以下	
	14	7.5km以下	
	15	9.0km以下	
	16	10.5km以下	
	17	12.0km以下	
	18	13.5km以下	
	19	16.0km以下	
	20	18.5km以下	
	21	21.5km以下	
	22	26.0km以下	
	23	32.0km以下	
	24	39.5km以下	
	25	47.0km以下	
	26	55.5km以下	
	27	60.0km以下	

B条件は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	運搬距離
	01	0.2km以下	
	02	0.5km以下	
	03	1.0km以下	
	04	1.5km以下	
	05	2.0km以下	
	06	2.5km以下	
	07	3.0km以下	
	08	3.5km以下	
	09	4.0km以下	
	10	4.5km以下	
	11	5.0km以下	
	12	5.5km以下	
	13	6.0km以下	

施工単価コード SP4026

条件名	C	条件名称	運搬距離
	14	6.5km以下	
	15	7.5km以下	
	16	8.5km以下	
	17	9.5km以下	
	18	11.0km以下	
	19	12.5km以下	
	20	14.5km以下	
	21	16.5km以下	
	22	19.0km以下	
	23	22.0km以下	
	24	25.5km以下	
	25	30.0km以下	
	26	36.0km以下	
	27	46.0km以下	
	28	60.0km以下	

C条件は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	費用の内訳
	01	全ての費用	
	02	機械費、労務費のみ（1日未満用）	
	03	材料費のみ（1日未満用）	

施工単価コード S4251

施工単価名称	切削オーバーレイ工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A~K

出力名称	切削オーバーレイ工	
規格名称1	即日（即日舗設層数）舗設	
規格名称2	平均切削深さ（平均切削深さ）	

適用条件	<p>路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から概ね切削した舗装厚分を即日で急速施工する作業に適用する。</p> <p>切削作業は、ストレートアスファルト、改質アスファルトとする。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>なお、以下の条件は適用範囲外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊結合材(エポキシ樹脂)及び特殊骨材(エメリー)を含むアスファルト舗装路面の切削作業 ・平均切削深さが12cmを超えるもの ・橋面防水工を同時に施工する場合の橋面舗装 ・排水性舗装 ・シックリフト工法 ・QRP工法等 ・路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわし
------	--

条件名	A	条件名称	平均切削深さ
	01		7cm以下
	02		7cmを超え12cm以下

条件名	B	条件名称	即日舗設層数
	01		一層
	02		二層

B=2は、A=2のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	すりつけの区分
	01		すりつけ無
	02		すりつけ設置のみ
	03		すりつけ設置撤去

C条件は、B=1のとき入力可能。

施工単価コード S4251

条件名	D	条件名称	舗装厚（一層目） cm
	実数		

条件名	E	条件名称	舗装厚（二層目） cm
	実数		

E条件は、B=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	アスファルト材料（一層目）
	01	密粒度 AC 13FA	
	02	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	03	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	04	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	05	密粒度 AC 20FA	
	06	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	08	密粒度 AC 20FH	
	09	密粒度 AC 20FH 改質材入り	
	10	密粒度 AC 13	
	11	粗粒度 AC 20	

条件名	G	条件名称	アスファルト材料（二層目）
	01	密粒度 AC 13FA	
	02	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	03	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	04	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	05	密粒度 AC 20FA	
	06	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	08	密粒度 AC 20FH	
	09	密粒度 AC 20FH 改質材入り	
	10	密粒度 AC 13	
	11	粗粒度 AC 20	

G条件は、B=2のとき入力可能。

施工単価コード S4251

条件名	H	条件名称	瀝青材料種類（一層目）
	01		タックコート
	02		プライムコート

条件名	I	条件名称	瀝青材料種類（二層目）
	01		タックコート
	02		プライムコート

I条件は、B=2のとき入力可能。

条件名	J	条件名称	アスファルト材料単価（一層目）（円／t）
	実数		

J条件は、F=3,7のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	K	条件名称	アスファルト材料単価（二層目）（円／t）
	実数		

K条件は、F条件とG条件が異なる場合に入力可能。
 (G=3かつF≠3 又は G=7かつF≠7のとき入力可能かつ必須入力。)

施工単価コード SP4027

施工単価名称	舗装版破碎						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	舗装版破碎	
規格名称1	(舗装版種別)	
規格名称2	(障害等の有無)	

適用条件	
特単変換禁止指示あり	
1. 適用範囲	
<p>コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の破碎作業及び掘削・積込みの作業に適用する。 なお、急速施工の場合は、「第IV編第3章④道路打換え工」によるものとし、路盤・路床の掘削は、「第II編第1章②土工」によるものとする。</p>	
1-1 適用出来る範囲	
(1) 機械によるコンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破碎作業及び掘削・積込みの場合	
(2) 人力によるアスファルト舗装版の破碎作業及び掘削・積込みの場合	
(3) 人力による橋梁舗装版撤去の場合	
1-2 適用出来ない範囲	
(1) 急速施工(舗装版とりこわしから舗装までを1日で完了する施工)、機械による橋梁舗装版撤去の場合	
(2) 人力によるコンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破碎作業及び掘削・積込みの場合	
(3) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版において、全体厚が45cmを超える場合又は舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合	

条件名	A	条件名称	舗装版種別
	01	アスファルト舗装版	
	02	コンクリート舗装版	
	03	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	

条件名	B	条件名称	障害等の有無
	01	障害等 無し	
	02	障害等 有り	

B=2は、A=1のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	騒音振動対策
	01	騒音振動対策 不要	

施工単価コード SP4027

条件名	C	条件名称	騒音振動対策
	02	騒音振動対策	必要

C=1は、A=2, 3 又は B=1のとき入力可能。
C=2は、A=1かつB=1 又は A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	舗装版厚
	01	4cm以下	
	02	4cmを超え10cm以下	
	03	10cmを超え15cm以下	
	04	15cm以下	
	05	15cmを超え30cm以下	
	06	15cmを超え35cm以下	
	07	15cmを超え40cm以下	
	08	15cm以上35cm以下	

D=1～3は、B=2のとき入力可能。
D=4は、A=1かつB=1 又は A=2 又は C=2のとき入力可能。
D=5は、B=2のとき入力可能。
D=6は、A=2 又は C=2のとき入力可能。
D=7は、A=1かつC=1のとき入力可能。
D=8は、A=3のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	Co+As(カー)舗装によるアスファルト舗装版厚
	01	15cm以下	
	02	15cmを超え22.5cm以下	

E条件は、A=3のとき入力可能。

条件名	F	条件名称	積込作業の有無
	01	積込作業	有り
	02	積込作業	無し

F=2は、B=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4028

施工単価名称	舗装版切断						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～E

出力名称	舗装版切断					
規格名称1	(舗装版種別)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版における舗装版切断に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) アスファルト舗装版厚が40cm以下の場合 (2) コンクリート舗装版厚が30cm以下の場合 (3) 重複舗装版 (コンクリート+アスファルト (カバー)) 厚が40cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) コンクリート+アスファルト (カバー) 舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合</p>					

条件名	A	条件名称	舗装版種別
	01	アスファルト舗装版	
	02	コンクリート舗装版	
	03	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	

条件名	B	条件名称	アスファルト舗装版厚
	01	15cm以下	
	02	15cmを超え30cm以下	
	03	30cmを超え40cm以下	

A=1のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	コンクリート舗装版厚
	01	15cm以下	
	02	15cmを超え30cm以下	

A=2, 3のとき、C条件は選択可能。

施工単価コード SP4028

条件名	D	条件名称	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚
	01	15cm以下	
	02	15cmを超え30cm以下	
	03	30cmを超え40cm以下	

A=3、C=1のとき、D=1は選択可能。

A=3のとき、D=2は選択可能。

A=3、C=2のとき、D=3は選択可能。

条件名	E	条件名称	費用の内訳
	01	全ての費用	
	02	機械費、労務費のみ (1日未満用)	
	03	材料費のみ (1日未満用)	

施工単価コード S5031

施工単価名称	直接掘削積込						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～C

出力名称	直接掘削積込					
規格名称1	道路打換え工					
規格名称2						
適用条件	<p>維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m2以上420m2以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m2未満の場合は基準書3-2の工法選定による。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	打換え区分
	01	全層打換え	
	02	舗装版のみの打換え	

条件名	B	条件名称	掘削深さ
	01	40cm以下	
	02	40cmを超え 80cm以下	
	03	80cmを超え120cm以下	

条件名	C	条件名称	すりつけ作業の有無
	01	すりつけ作業	有
	02	すりつけ作業	無

施工単価コード S5032

施工単価名称	とりこわし掘削積込						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A～E

出力名称	とりこわし掘削積込					
規格名称1	道路打換え工					
規格名称2						
適用条件	<p>維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m2以上420m2以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m2未満の場合は基準書3-2の工法選定による。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	打換え区分
	01	全層打換え	
	02	舗装版のみの打換え	

条件名	B	条件名称	騒音・振動対策の有無
	01	騒音・振動対策 有	
	02	騒音・振動対策 無	

条件名	C	条件名称	舗装版厚さ
	01	15cm以下	
	02	15cmを超え30cm以下	
	03	30cmを超え40cm以下	

C=1は、B=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	掘削深さ
	01	40cm以下	
	02	40cmを超え 80cm以下	
	03	80cmを超え120cm以下	

施工単価コード	S5032
---------	-------

条件名	E	条件名称	すりつけ作業の有無
01		すりつけ作業	有
02		すりつけ作業	無

施工単価コード S5033

施工単価名称	不陸整正(路床又は路盤の補足材敷均し転圧)						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A~C

出力名称	不陸整正(路床又は路盤の補足材敷均し転圧)					
規格名称1	道路打換え工					
規格名称2						
適用条件	<p>維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m2以上420m2以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m2未満の場合は基準書3-2の工法選定による。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	総施工量
	01	1000m2未満	
	02	1000m2以上	

条件名	B	条件名称	打換え区分
	01	全層打換え	
	02	舗装版のみの打換え	

条件名	C	条件名称	すりつけ作業の有無
	01	すりつけ作業	有
	02	すりつけ作業	無

施工単価コード S5034

施工単価名称	路盤の敷均し転圧						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A～F

出力名称	路盤の敷均し転圧	
規格名称1	道路打換え工	
規格名称2		
適用条件	<p>維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m2以上420m2以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m2未満の場合は基準書3-2の工法選定による。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p>	

条件名	A	条件名称	総施工量
	01	1000m2未満	
	02	1000m2以上	

条件名	B	条件名称	打換え区分
	01	全層打換え	
	02	舗装版のみの打換え	

条件名	C	条件名称	層数 (層)
	実数		

条件名	D	条件名称	路盤厚さ (mm)
	実数		

条件名	E	条件名称	路盤材の種類
	01	クラッシャーラン C-30	
	02	クラッシャーラン C-40	
	03	再生砕石 RC-40	

施工単価コード S5034

条件名	E	条件名称	路盤材の種類
04		粒度調整碎石	M-30
05		粒度調整碎石	M-40

条件名	F	条件名称	すりつけ作業の有無
01		すりつけ作業	有
02		すりつけ作業	無

施工単価コード S5035

施工単価名称	舗装の敷均し転圧						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～G

出力名称	舗装の敷均し転圧	
規格名称1	道路打換え工	
規格名称2		
適用条件	<p>維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m2以上420m2以下の現道打換え工事に適用する。ただし、日当り平均作業量が50m2未満の場合は基準書3-2の工法選定による。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称している。</p> <p>アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p>	

条件名	A	条件名称	総施工量
	01	1000m2未満	
	02	1000m2以上	

条件名	B	条件名称	打換え区分
	01	全層打換え	
	02	舗装版のみの打換え	

条件名	C	条件名称	舗装材の種類
	01	安定処理混合物	
	02	粗粒度 AC 20	
	03	密粒度 AC 13FA	
	04	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	05	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	06	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FA	
	08	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	09	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	

施工単価コード S5035

条件名	C	条件名称	舗装材の種類
	10	密粒度 AC 20FH	
	11	密粒度 AC 20FH 改質材入り	

条件名	D	条件名称	層数 (層)
	実数		

条件名	E	条件名称	舗装厚さ (mm)
	実数		

条件名	F	条件名称	すりつけ作業の有無
	01	すりつけ作業	有
	02	すりつけ作業	無

条件名	G	条件名称	舗装材単価 (円 / t)
	実数		

G条件は、C=5, 9のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5058

施工単価名称	路上路盤再生工						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A~I

出力名称	路上路盤再生工						
規格名称1	(作業内容)						
規格名称2							
適用条件	<p>1. スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の再生路盤工に適用する。</p> <p>2. 既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p>						

条件名	A	条件名称	作業内容
	01	混合深さ	20cm以下
	02	混合深さ	20cmを超え40cm以下

条件名	B	条件名称	養生の必要 有無
	* 01	養生必要	無
	02	養生必要	有

養生工は、締固め後、一時的に交通解放を行う場合や、長時間放置する場合に計上するものとし、締固め後、直ちに舗装を行う場合は計上しない。

条件名	C	条件名称	材料
	01	セメント	
	02	各種添加剤	

条件名	D	条件名称	添加剤使用量 (kg/100m2)
	実数		

D条件は、C=2のとき入力可能。
 添加剤は、セメント系を標準とする。
 D条件に“0”を入力すると、添加剤が構成項目から削除される。

条件名	E	条件名称	添加剤単価 (円/kg)
	実数		

E条件は、D>0のとき入力可能。

施工単価コード S5058

条件名	F	条件名称	セメント量 (t/100m ²)
実数			

F条件は、C=1のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	乳剤使用量 (L/100m ²)
実数			

G条件に“0”を入力すると、アスファルト乳剤が構成項目から削除される。

条件名	H	条件名称	砂の使用量 (m ³ /100m ²)
実数	条件省略値:0		

H条件は、B=2のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	セメントの種類
01	普通		
02	高炉		

I条件は、C=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4086

施工単価名称	クラック補修					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件

出力名称	クラック補修					

規格名称 1						
--------	--	--	--	--	--	--

規格名称 2						
--------	--	--	--	--	--	--

適用条件						
------	--	--	--	--	--	--

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲
 コンクリート舗装版のクラックの補修及びコンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張に適用する。

1-1 適用出来ない範囲
 (1) 注入材メーカー指定の熔解釜・注入機を使用する場合

施工単価コード SP4087

施工単価名称	クラック防止シート張					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件

出力名称	クラック防止シート張					
規格名称1						
規格名称2						

適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p> コンクリート舗装版のクラックの補修及びコンクリート舗装版・アスファルト舗装版のクラック防止シート張に適用する。</p> <p> 1-1 適用出来る範囲</p> <p> (1) 幅30cm以上100cm以下のクラック防止シートを使用する場合</p> <p> 1-2 適用出来ない範囲</p> <p> (1) シート設置に鋸を使用する場合</p>					
------	---	--	--	--	--	--

施工単価コード S5070

施工単価名称	舗装版クラック補修工（材料費）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～F

出力名称	舗装版クラック補修工（材料費）	
規格名称1	（補修箇所）	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	補修箇所
	01		クラック補修
	02		クラック防止シート張

条件名	B	条件名称	注入材単価（円/kg）
	実数		

A=1のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	注入材比重（kg/L）
	実数		

A=1のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	補修幅（cm）
	実数		

A=1のとき、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	補修深さ（cm）
	実数		

A=1のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	シート単価（円/m）
	実数		

A=2のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4043

施工単価名称	素地調整						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	素地調整	
規格名称1	(構造物区分)	
規格名称2		

適用条件
<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物の現地塗替作業の素地調整に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合 ・最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等） ・防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合 ・橋梁（横断歩道橋を含む）の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合</p>

条件名	A	条件名称	構造物区分
	01	全高4m未満のポール類	
	02	全高4m以上10m未満のポール類	
	03	全高10m以上12m以下のポール類	
	04	防護柵類	
	05	落石防止柵類	

条件名	B	条件名称	機械使用区分
	01	持込	
	02	貸与	

A=2, 3のとき、B条件は選択可能。

施工単価コード SP4044

施工単価名称	附属構造物塗替						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～F

出力名称	附属構造物塗替	
規格名称1	(構造物区分)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路附属構造物の現地塗替作業の塗装に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 下記構造物の下塗、中塗、上塗の場合 ・最大地上高12m以下のポール類（道路標識柱、道路照明柱等） ・防護柵類（ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等）、落石防護柵類（防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等）の現地塗替作業</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 下記構造物の下塗、中塗、上塗の場合 ・橋梁（横断歩道橋を含む）の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合</p>	

条件名	A	条件名称	塗装種別
	01	鉛・カドフリーさび止めペイント	下塗 淡彩
	02	フェノール樹脂MI0塗装	下塗 淡彩
	03	長油性フタル酸樹脂塗料	中塗 淡彩
	04	塩化ゴム系塗料	中塗 淡彩
	05	長油性フタル酸樹脂塗料	上塗 淡彩
	06	塩化ゴム系塗料	上塗 淡彩
	07	各種	

条件名	B	条件名称	構造物区分
	01	全高4m未満のポール類	
	02	全高4m以上10m未満のポール類	
	03	全高10m以上12m以下のポール類	
	04	防護柵類・落石防止柵類	

施工単価コード SP4044

条件名	C	条件名称	ペイント使用量(kg/100m2/回)
01		10kg以下	
02		10kg超20kg以下	
03		20kg超30kg以下	

A=7のとき、C条件は選択可能。

条件名	D	条件名称	塗替回数
01		1回	
02		2回	
03		3回	

A=7のとき、D条件は選択可能。

条件名	E	条件名称	機械使用区分
01		持込	
02		貸与	

B=2, 3のとき、E条件は選択可能。

条件名	F	条件名称	塗料単価 (円/kg)
実数			

A=7のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4053

施工単価名称	張紙防止塗装						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A

出力名称	張紙防止塗装	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 構造物への張紙を防止する塗装工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 素地調整の対象が鋼構造物である場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) 素地調整の対象がコンクリート構造物等である場合</p>	

条件名	A	条件名称	素地調整の有無
	01	素地調整	有り
	02	素地調整	無し

施工単価コード S5500

施工単価名称	鋼板接着工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m2	条件	A～B

出力名称	鋼板接着工					
規格名称1	鋼板接着工法					
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着(注入工法)を行う場合に適用する。 2. 下地処理から、仕上までを一連の作業として行う場合の歩掛である。 3. 罫書作業を含む。 4. 注入材の注入厚は5mmを標準とする。 5. 塗装作業は、別途計上する。 6. 鋼板接着工法(下地処理、アンカー設置、鋼板取付、スプライス板取付、シーリング、注入工、仕上工)鋼板接着10m2当りの、下地処理から仕上作業までの各々の歩掛は、土木工事標準歩掛参考資料による。 					

条件名	A	条件名称	シーリング材使用量 (kg/m2)
実数			

縁部、継目部について(スプライス板も含む)積上げにより算出するものとする。
ロス率は電算内で処理済。

条件名	B	条件名称	注入材使用量 (kg/m2)
実数			

「(鋼板取付面積+スプライス板取付面積)×注入厚さ×単位質量」より算出する。
ロス率は電算内で処理済。

施工単価コード S5502

施工単価名称	増桁取付工（増桁架設工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A～C

出力名称	増桁取付工					
規格名称1	増桁架設工法					
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既設橋梁RC床版の補強に増桁架設を行う場合に適用する。 2. 現場削孔から、仕上までを一連の作業として行う場合の歩掛である。 3. 注入材の注入厚は8mmを標準とする。 4. 高力ボルトの仮締を含む。 5. 塗装作業は、別途計上する。 6. 増桁架設工法（現場削孔、下地処理、増桁取付、ボルト締、シール工、注入工、仕上工）増桁取付け1t当りの、現場削孔から仕上作業までの各々の歩掛は、土木工事標準歩掛参考資料による。 					

条件名	A	条件名称	障害の有無
	01	障害無し	
	02	障害有り	

障害とは、ガス管、水道管、通信ケーブル等施工上支障をきたす占用物件等をいう。なお、障害「有り」、「無し」の判断は、各スパンごとに行うものとする。その場合の対象は、当該スパンの全増桁を対象とする。

条件名	B	条件名称	シール材使用量 (kg/t)
	実数		

積上げにより算出するものものとする。
ロス率は電算内で処理済。

条件名	C	条件名称	注入材使用量 (kg/t)
	実数		

「増桁取付面積×注入厚さ×単位質量」より算出する。
ロス率は電算内で処理済。

施工単価コード S5503

施工単価名称	既設部材撤去工（増桁架設工法）					
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件

出力名称	既設部材撤去工					
規格名称1	増桁架設工法					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 既設橋梁RC床版の補強に増桁架設を行う場合に適用する。</p> <p>2. 既設部材の撤去が必要な場合に計上する。</p>					

施工単価コード S5501

施工単価名称	クラック処理工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A~D

出力名称	クラック処理工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	シーラ材使用量 (kg/m)				
実数							

積上げにより算出するものとする。
ロス率は電算内で処理済。

条件名	B	条件名称	注入材使用量 (kg/m)				
実数							

ロス率は電算内で処理済。

条件名	C	条件名称	シーラ材単価 (円/kg)				
実数							

A>0のとき、C条件は必須入力。

条件名	D	条件名称	注入材単価 (円/kg)				
実数							

B>0のとき、D条件は必須入力。

施工単価コード S5550

施工単価名称	足場工（床版補強工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	足場工					
規格名称1	床版補強工					
規格名称2	(足場工の種別)					
適用条件	橋種は、プレートガータ、ボックス、トラス、アーチ等各橋種共通。 なお、桁高1.5m以上については、中段足場の工費を含んでいる。					

条件名	A	条件名称	足場工の種別			
	01	足場工 桁高1.5m以上				
	02	足場工 桁高1.5m未満				
	03	朝顔工 両側設置				
	04	朝顔工 片側設置				

条件名	B	条件名称	主体足場を架設している供用月数			
	実数					

A=1, 2のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	朝顔を架設している供用月数			
	実数					

A=3, 4のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5551

施工単価名称	防護工（床版補強工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	防護工	
規格名称1	床版補強工	
規格名称2	(防護工の種別)	(設置)

条件名	A	条件名称	防護工の種別
	01	板張防護工	
	02	シート張防護工	

条件名	B	条件名称	設置
	01	両側設置	
	02	片側設置	

条件名	C	条件名称	防護工を架設している供用月数
	実数		

施工単価コード S5521

施工単価名称	下地処理工（炭素繊維接着工法）					
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件

出力名称	下地処理工（炭素繊維接着工法）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着(注入工法)、増桁架設、上向き作業による炭素繊維接着（1橋当りの補強対象面積50m2以上）を行う場合に適用する。</p>					

施工単価コード S5522

施工単価名称	プライマー工（炭素繊維接着工法）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～B

出力名称	プライマー工（炭素繊維接着工法）	
規格名称1	（施工区分）	
規格名称2		
適用条件	<p>既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着（注入工法）、増桁架設、上向き作業による炭素繊維接着（1橋当りの補強対象面積50m2以上）を行う場合に適用する。</p>	

条件名	A	条件名称	施工区分
	01	全面貼り	
	02	格子貼り	

条件名	B	条件名称	プライマー単価（円/kg）
	実数		

施工単価コード S5523

施工単価名称	不陸整正工（炭素繊維接着工法）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～B

出力名称	不陸整正工（炭素繊維接着工法）	
規格名称1	（施工区分）	
規格名称2		
適用条件	<p>既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着（注入工法）、増桁架設、上向き作業による炭素繊維接着（1橋当りの補強対象面積50m2以上）を行う場合に適用する。</p>	

条件名	A	条件名称	施工区分
	01	全面貼り	
	02	格子貼り	

条件名	B	条件名称	エポキシ樹脂パテ単価（円/kg）
	実数		

施工単価コード S5524

施工単価名称	炭素繊維シート接着工（炭素繊維接着工法）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～G

出力名称	炭素繊維シート接着工（炭素繊維接着工法）	
規格名称1	（施工区分）	
規格名称2	目付量（目付量）	
適用条件	既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着（注入工法）、増桁架設、上向き作業による炭素繊維接着（1橋当りの補強対象面積50m2以上）を行う場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	施工区分
	01	全面貼り	
	02	格子貼り	

条件名	B	条件名称	目付量
	01	200(g/m2)	
	02	300(g/m2)	
	03	400(g/m2)	
	04	600(g/m2)	

条件名	C	条件名称	特許料(円)
	実数	条件省略値:0	

条件名	D	条件名称	エポキシ樹脂含浸材使用量区分
	01	標準使用量	
	02	標準外（条件入力）	

条件名	E	条件名称	エポキシ樹脂含浸材使用量（kg/100m2）
	実数		

D=2のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード	S5524
---------	-------

条件名	F	条件名称	エポキシ樹脂含浸材単価 (円/kg)
実数			

条件名	G	条件名称	炭素繊維シート単価 (円/m ²)
実数			

施工単価コード S5525

施工単価名称	仕上げ塗装工（炭素繊維接着工法）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A～B

出力名称	仕上げ塗装工（炭素繊維接着工法）	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>既設橋梁RC床版の補強に鋼板接着(注入工法)、増桁架設、上向き作業による炭素繊維接着（1橋当りの補強対象面積50m2以上）を行う場合に適用する。</p>	

条件名	A	条件名称	エポキシ樹脂塗料単価（円/kg）
実数			

条件名	B	条件名称	ウレタン樹脂塗料単価（円/kg）
実数			

施工単価コード SP4071

施工単価名称	鋼板巻立て						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	鋼板巻立て	
規格名称1	(支柱区分)	
規格名称2	(注入材材質)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>RC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強に鋼板巻立てを行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 基準書図1.1に示す、矩形、小判型支柱（幅1～10m、奥行1～6m）の鋼板巻立て補強、及び基準書図1.2に示す、円形支柱（径1～6m）の鋼板巻立て補強の場合</p> <p>(2) シール材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>(3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 1-1 (1)～(3)のいずれか1つでも該当しない場合</p> <p>(2) 梁の補強の場合</p> <p>また、本項の適用できる寸法の範囲を外れる場合は、「⑩-2 橋梁補強工（鋼板巻立て）(2)」を適用する。</p>	

条件名	A	条件名称	支柱区分
01	A支柱		
02	B支柱		
03	C支柱		
04	D支柱		
05	E支柱		
06	F支柱		
07	G支柱		
08	H支柱		

条件名	B	条件名称	注入材材質
01	無収縮モルタル		
02	エポキシ樹脂		

施工単価コード SP4072

施工単価名称	現場溶接						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～B

出力名称	現場溶接	
規格名称1	(溶接種別)	
規格名称2	板厚区分 (板厚区分)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 RC橋脚 (既設の鉄筋コンクリート橋脚) の補強に鋼板巻立てを行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 被覆アーク溶接の現場溶接の場合 (2) すみ肉脚長6mmの場合 (3) 補強鋼板部の溶接 (V型・レ型) で、板厚6mm～22mmの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 被覆アーク溶接以外の現場溶接の場合</p>	

条件名	A	条件名称	溶接種別
	01	すみ肉脚長6mm	
	02	補強鋼板部 (V型・レ型)	

条件名	B	条件名称	板厚区分
	01	6mm、9mm、10mm	
	02	12mm、13mm	
	03	14mm、15mm	
	04	16mm、19mm	
	05	21mm、22mm	

A=2のとき、B条件は選択可能。

施工単価コード SP4073

施工単価名称	フーチングアンカー削孔・定着						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	フーチングアンカー削孔・定着	
規格名称1	削孔深 (削孔深)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 RC橋脚 (既設の鉄筋コンクリート橋脚) の補強に鋼板巻立てを行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 削孔深が0.8m以上1.6m未満の場合</p>	

条件名	A	条件名称	削孔深
	01	0.8m以上1.0m未満	
	02	1.0m以上1.2m未満	
	03	1.2m以上1.4m未満	
	04	1.4m以上1.6m未満	

施工単価コード SP4074

施工単価名称	鋼板取付						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A

出力名称	鋼板取付					
規格名称 1	(注入材材質)					
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>「①-1 橋梁補強工(鋼板巻立て) (1)」が適用できる寸法の範囲を外れた橋脚の鋼板巻立てに適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 矩形、小判型支柱(幅1~10m、奥行き1~6m)、円形支柱(径1~6m)以外の橋脚の場合</p> <p>(2) シール材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>(3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 1-1 (1) ~ (3) のいずれか1つでも該当しない場合</p> <p>(2) 梁の補強の場合</p>					

条件名	A	条件名称	注入材材質
01		無収縮モルタル	
02		エポキシ樹脂	

施工単価コード SP4075

施工単価名称	コンクリート削孔						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A～C

出力名称	コンクリート削孔					
規格名称1	アンカー材径 (アンカー材径)					
規格名称2	削孔深 (削孔深)					
適用条件						

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲

R C 橋脚 (既設の鉄筋コンクリート橋脚) の補強用コンクリート巻立て工を行う場合に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。

1-1 適用出来る範囲

- (1) フーチング及び支柱のコンクリート削孔の場合
- (2) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合
- (3) アンカー材径がD16～D35の場合

1-2 適用出来ない範囲

- (1) 梁及びフーチングの補強のためのコンクリート削孔の場合
- (2) P C 中間貫通鋼材貫入のための削孔の場合
- (3) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合
- (4) アンカー注入材がエポキシ樹脂以外の場合

また、本項の適用を外れる場合は、橋梁補強工(コンクリート巻立て) (2) を適用する。

条件名	A	条件名称	アンカー材径
	01	D16	
	02	D19	
	03	D22	
	04	D25	
	05	D29	
	06	D32	
	07	D35	

条件名	B	条件名称	削孔深
	01	200mm以上250mm未満	
	02	250mm以上300mm未満	
	03	300mm以上350mm未満	
	04	300mm以上360mm以下	

施工単価コード SP4075

条件名	B	条件名称	削孔深
	05	320mm以上390mm未満	
	06	350mm以上400mm以下	
	07	350mm以上420mm未満	
	08	390mm以上460mm未満	
	09	400mm以上460mm未満	
	10	420mm以上500mm未満	
	11	460mm以上530mm未満	
	12	460mm以上540mm未満	
	13	480mm以上540mm未満	
	14	500mm以上580mm以下	
	15	530mm以上600mm未満	
	16	540mm以上600mm未満	
	17	600mm以上670mm未満	
	18	600mm以上690mm以下	
	19	600mm以上700mm以下	
	20	670mm以上760mm以下	

A=1のとき、B=1, 2, 4は選択可能。
 A=2のとき、B=1～3, 6は選択可能。
 A=3のとき、B=3, 7, 10, 14は選択可能。
 A=4のとき、B=5, 8, 12, 16は選択可能。
 A=5のとき、B=9, 11, 15, 19は選択可能。
 A=6のとき、B=9, 11, 15, 18は選択可能。
 A=7のとき、B=13, 16, 17, 20は選択可能。

条件名	C	条件名称	注入材単価 (円/kg)
	実数		

施工単価コード SP4076

施工単価名称	コンクリート巻立て						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A～F

出力名称	コンクリート巻立て	
規格名称1	支柱区分 (支柱区分)	
規格名称2	施工内容 (施工内容)	
適用条件		

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲

RC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）の補強用コンクリート巻立て工を行う場合に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。

1-1 適用出来る範囲

- (1) 基準書図1.1に示す、矩形、小判形支柱（幅1.0～15.0m、奥行1.0～4.0m）の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合
- (2) 基準書図1.2に示す、円形支柱（径1.5～4.0m）の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合

1-2 適用出来ない範囲

- (1) 梁の補強の場合
- また、本項の適用を外れる場合は、橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)を適用する。

条件名	A	条件名称	支柱区分
01		A支柱	
02		B支柱	
03		C支柱	
04		D支柱	
05		E支柱	
06		F支柱	

条件名	B	条件名称	施工内容
01		a施工	
02		b施工	
03		c施工	
04		d施工	

施工単価コード SP4076

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
01		高炉21- 8-25	W/C \leq 55%
02		高炉21-12-25	W/C \leq 55%
03		高炉24- 8-25	W/C \leq 55%
04		高炉24- 8-40	W/C \leq 55%
05		高炉24-12-25	W/C \leq 55%
06		高炉24-12-40	W/C \leq 55%
07		21- 8-25	W/C \leq 55%
08		21-12-25	W/C \leq 55%
09		24- 8-25	W/C \leq 55%
10		24- 8-40	W/C \leq 55%
11		24-12-25	W/C \leq 55%
12		24-12-40	W/C \leq 55%
13		生コンクリート (単価入力)	

条件名	D	条件名称	養生工の有無
01		養生工	有り
02		養生工	無し

条件名	E	条件名称	生コンクリート単価 (円/m ³)
実数			

C=13のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01		生コン小型車割増なし	
02		生コン小型車割増あり	

施工単価コード SP4077

施工単価名称	足場（適用範囲外コンクリート巻立て工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	掛m2	条件	A

出力名称	足場（適用範囲外コンクリート巻立て工）	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 「橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）」が適用範囲外のRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）のコンクリート巻立て工における足場工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p>	

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正
実数	条件省略値:1		

施工単価コード SP4078

施工単価名称	下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工）					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件

出力名称	下地処理（適用範囲外コンクリート巻立て工）					
規格名称 1						
規格名称 2						

適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 「橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）」が適用範囲外のRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）のコンクリート巻立て工における下地処理工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p>					
------	--	--	--	--	--	--

施工単価コード SP4079

施工単価名称	型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A

出力名称	型枠（適用範囲外コンクリート巻立て工）	
規格名称 1	（型枠種別）	
規格名称 2		

適用条件
<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>「橋梁補強工（コンクリート巻立て）（1）」が適用範囲外のRC橋脚（既設の鉄筋コンクリート橋脚）のコンクリート巻立て工における型枠工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p>

条件名	A	条件名称	型枠種別
01		一般型枠	
02		合板円形型枠	

施工単価コード SP4080

施工単価名称	コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A～D

出力名称	コンクリート(適用範囲外コンクリート巻立て工)	
規格名称1	(養生工の有無)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 「橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)」が適用範囲外のRC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)のコンクリート巻立て工におけるコンクリート工に適用する。なお、支柱の断面形状及び断面寸法が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p>	

条件名	A	条件名称	生コンクリート規格
01		高炉21-8-25	W/C ≤ 55%
02		高炉21-12-25	W/C ≤ 55%
03		高炉24-8-25	W/C ≤ 55%
04		高炉24-8-40	W/C ≤ 55%
05		高炉24-12-25	W/C ≤ 55%
06		高炉24-12-40	W/C ≤ 55%
07		21-8-25	W/C ≤ 55%
08		21-12-25	W/C ≤ 55%
09		24-8-25	W/C ≤ 55%
10		24-8-40	W/C ≤ 55%
11		24-12-25	W/C ≤ 55%
12		24-12-40	W/C ≤ 55%
13		生コンクリート(単価入力)	

条件名	B	条件名称	養生工の有無
01		養生工	有り
02		養生工	無し

施工単価コード SP4080

条件名	C	条件名称	生コンクリート単価 (円/m ³)
実数			

A=13のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01	生コン小型車割増なし		
02	生コン小型車割増あり		

施工単価コード SP4088

施工単価名称	とりこわし					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m3	条件

出力名称	とりこわし					
規格名称1	橋梁地覆補修工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 旧高欄の撤去を含めた地覆コンクリートの撤去・修復に適用する。 ただし、高欄の設置は含まない。</p>					

施工単価コード SP4089

施工単価名称	鉄筋						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A

出力名称	鉄筋	
規格名称 1	橋梁地覆補修工	
規格名称 2	(鉄筋規格)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 旧高欄の撤去を含めた地覆コンクリートの撤去・修復に適用する。 ただし、高欄の設置は含まない。</p>	

条件名	A	条件名称	鉄筋規格
01		SD295 D10	
02		SD295 D13	
03		SD295 D16	
04		SD345 D13	
05		SD345 D16~25	

施工単価コード SP4090

施工単価名称	コンクリート						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A～D

出力名称	コンクリート					
規格名称1	橋梁地覆補修工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 旧高欄の撤去を含めた地覆コンクリートの撤去・修復に適用する。 ただし、高欄の設置は含まない。</p>					

条件名	A	条件名称	コンクリート規格
	01	24- 8-40	W/C \leq 55%
	02	24-12-40	W/C \leq 55%
	03	30- 8-25	W/C \leq 50%
	04	30- 8-40	W/C \leq 50%
	05	30-12-25	W/C \leq 50%
	06	30-12-40	W/C \leq 50%

条件名	B	条件名称	養生工の有無
	01	養生工	有り
	02	養生工	無し

条件名	C	条件名称	コンクリート種別
	* 01	高炉	
	02	普通	

条件名	D	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード SP4091

施工単価名称	足場・防護						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	足場・防護	
規格名称1	橋梁地覆補修工	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 旧高欄の撤去を含めた地覆コンクリートの撤去・修復に適用する。 ただし、高欄の設置は含まない。</p>	

条件名	A	条件名称	防護種類
	01	シート	
	02	シート+板張	

条件名	B	条件名称	1工事での足場使用回数
	01	1回	
	02	2回	

条件名	C	条件名称	足場を架設している総月数
	01	0.5月以下	
	02	0.5月を超え1.0月以下	
	03	1.0月を超え1.5月以下	
	04	1.5月を超え2.0月以下	
	05	2.0月を超え2.5月以下	
	06	2.5月を超え3.0月以下	
	07	3.0月を超え3.5月以下	
	08	3.5月を超え4.0月以下	
	09	4.0月を超え4.5月以下	
	10	4.5月を超え5.0月以下	
	11	5.0月を超え5.5月以下	

施工単価コード SP4091

条件名	C	条件名称	足場を架設している総月数
	12	5.5月を超え6.0月以下	
	13	6.0月を超え6.5月以下	
	14	1.0月以下	
	15	1.0月を超え2.0月以下	
	16	2.0月を超え3.0月以下	
	17	3.0月を超え4.0月以下	
	18	4.0月を超え5.0月以下	
	19	5.0月を超え6.0月以下	
	20	6.0月を超え7.0月以下	

C= 1～13は、B=1のとき選択可能。
 C=14～20は、B=2のとき選択可能。

施工単価コード SP4081

施工単価名称	支 承 取 替 (鋼 橋)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	基	条件	A~C

出力名称	支 承 取 替 (鋼 橋)	
規格名称 1	支 承 形 式 (支 承 形 式)	
規格名称 2	現 場 条 件 (現 場 条 件)	

適用条件
<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、鋼橋及びPC橋の鋼製支承からの支承取替工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 支承取替で、新たに交換する支承が、基準書表1.1に示す形式 I, II, III, IVの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼橋及びPC橋以外の支承取替の場合 (RC橋・PRC橋・複合橋等) (2) 沓座コンクリートのはつりにウオータージェットを使用する場合 (3) 膨脹型薄型ジャッキ (フラットジャッキ等) を使用する場合 (4) 補修用足場にベント設備を用いる場合</p>

条件名	A	条件名称	支承形式
01	I		
02	II		
03	III		
04	IV		

条件名	B	条件名称	現場条件
01	鈹桁		
02	1箱桁2沓		
03	1箱桁1沓		

A=2, 3のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	下部工ブラケット取付の有無
01	下部工ブラケット取付	無し	
02	下部工ブラケット取付	有り	

施工単価コード SP4082

施工単価名称	支 承 取 替 (P C 橋)					
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件

出力名称	支 承 取 替 (P C 橋)					
規格名称 1						
規格名称 2						

適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、鋼橋及びPC橋の鋼製支承からの支承取替工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 支承取替で、新たに交換する支承が、基準書表1.1に示す形式Vの場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼橋及びPC橋以外の支承取替の場合 (RC橋・PRC橋・複合橋等) (2) 杓座コンクリートのはつりにウォータージェットを使用する場合 (3) 膨脹型薄型ジャッキ (フラットジャッキ等) を使用する場合 (4) 補修用足場にベント設備を用いる場合</p>					
------	---	--	--	--	--	--

施工単価コード SP4108

施工単価名称	沓座コンクリートはつり（支承直下部以外）					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件

出力名称	沓座コンクリートはつり（支承直下部以外）					
規格名称1						
規格名称2						

適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、鋼橋及びPC橋の鋼製支承からの支承取替工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 支承取替で、現場条件等により、支承直下部以外のはつりを行う場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼橋及びPC橋以外の支承取替の場合（RC橋・PRC橋・複合橋等） (2) 沓座コンクリートのはつりにウォータージェットを使用する場合 (3) 膨張型薄型ジャッキ（フラットジャッキ等）を使用する場合 (4) 補修用足場にベント設備を用いる場合</p>					
------	--	--	--	--	--	--

施工単価コード SP4109

施工単価名称	下部エブラケット取付						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A

出力名称	下部エブラケット取付					
規格名称1	ブラケット単部材質量 (ブラケット単部材質量)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、鋼橋及びPC橋の鋼製支承からの支承取替工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 鋼橋の支承取替で、現場条件等により、反力受け架台として下部エブラケットを取付ける場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼橋及びPC橋以外の支承取替の場合 (RC橋・PRC橋・複合橋等) (2) 杓座コンクリートのはつりにウォータージェットを使用する場合 (3) 膨張型薄型ジャッキ (フラットジャッキ等) を使用する場合 (4) 補修用足場にベント設備を用いる場合</p>					

条件名	A	条件名称	ブラケット単部材質量
	01	600kg以下	
	02	600kgを超え2,000kg以下	

施工単価コード SP4083

施工単価名称	足場						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A

出力名称	足場					
規格名称1	供用月数 (供用月数)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、鋼橋及びPC橋の鋼製支承からの支承取替工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 基準書図3.2に示す、橋脚回り足場の場合 (2) 供用月数が12ヶ月以内の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼橋及びPC橋以外の支承取替の場合 (RC橋・PRC橋・複合橋等) (2) 沓座コンクリートのはつりにウォータージェットを使用する場合 (3) 膨脹型薄型ジャッキ (フラットジャッキ等) を使用する場合 (4) 補修用足場にベント設備を用いる場合</p>					

条件名	A	条件名称	供用月数
	01	1ヶ月以下	
	02	1ヶ月を超え2ヶ月以下	
	03	2ヶ月を超え3ヶ月以下	
	04	3ヶ月を超え4ヶ月以下	
	05	4ヶ月を超え5ヶ月以下	
	06	5ヶ月を超え6ヶ月以下	
	07	6ヶ月を超え7ヶ月以下	
	08	7ヶ月を超え8ヶ月以下	
	09	8ヶ月を超え9ヶ月以下	
	10	9ヶ月を超え10ヶ月以下	
	11	10ヶ月を超え11ヶ月以下	
	12	11ヶ月を超え12ヶ月以下	

施工単価コード SP4092

施工単価名称	現場溶接鋼桁補強					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件

出力名称	現場溶接鋼桁補強					
規格名称1	橋梁補修工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 橋梁補修工のうち、桁補強を目的とする部材取付等の現場溶接作業に適用する。なお、亀裂補修は含まない。</p>					

施工単価コード S5512

施工単価名称	表面被覆工（塗装工法）下地処理						
実査区分	共通	単位数	1	単位	橋	条件	A

出力名称	表面被覆工（塗装工法）下地処理					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>橋梁補修のコンクリート面の表面被覆工(塗装工法)における1橋当りの塗装作業(仕上げ面積2,000m2以下)に適用する。ただし、新設時の塗装には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	1橋当りの延べ施工量 (m2)
実数			

施工単価コード S5513

施工単価名称	表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布						
実査区分	共通	単位数	1	単位	橋	条件	A～C

出力名称	表面被覆工（塗装工法）プライマー塗布					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>橋梁補修のコンクリート面の表面被覆工（塗装工法）における1橋当りの塗装作業（仕上げ面積2,000m²以下）に適用する。ただし、新設時の塗装には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	1橋当りの延べ施工量（m ² ）
実数			

条件名	B	条件名称	1橋当りの材料使用量（kg）
実数	条件省略値:0		

プライマーなしの時は、B条件を省略すると構成項目から削除される。

条件名	C	条件名称	プライマー単価（円/kg）
実数			

B>0のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5514

施工単価名称	表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	橋	条件	A～C

出力名称	表面被覆工（塗装工法）下塗り（パテ塗布）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>橋梁補修のコンクリート面の表面被覆工（塗装工法）における1橋当りの塗装作業（仕上げ面積2,000m²以下）に適用する。ただし、新設時の塗装には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	1橋当りの延べ施工量（m ² ）
実数			

条件名	B	条件名称	1橋当りの材料使用量（kg）
実数	条件省略値:0		

パテ材なしの時は、B条件を省略すると構成項目から削除される。

条件名	C	条件名称	パテ材単価（円/kg）
実数			

B>0のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5515

施工単価名称	表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布						
実査区分	共通	単位数	1	単位	橋	条件	A～C

出力名称	表面被覆工（塗装工法）中塗り材塗布					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>橋梁補修のコンクリート面の表面被覆工（塗装工法）における1橋当りの塗装作業（仕上げ面積2,000m²以下）に適用する。ただし、新設時の塗装には適用しない。</p>					

条件名	A	条件名称	1橋当りの延べ施工量（m ² ）
実数			

条件名	B	条件名称	1橋当りの材料使用量（kg）
実数	条件省略値:0		

中塗り材なしの時は、B条件を省略すると構成項目から削除される。

条件名	C	条件名称	中塗り材単価（円/kg）
実数			

B>0のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5516

施工単価名称	表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布						
実査区分	共通	単位数	1	単位	橋	条件	A～C

出力名称	表面被覆工（塗装工法）上塗り材塗布	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>橋梁補修のコンクリート面の表面被覆工（塗装工法）における1橋当りの塗装作業（仕上げ面積2,000m²以下）に適用する。ただし、新設時の塗装には適用しない。</p>	

条件名	A	条件名称	1橋当りの延べ施工量（m ² ）
実数			

条件名	B	条件名称	1橋当りの材料使用量（kg）
実数	条件省略値:0		

上塗り材なしの時は、B条件を省略すると構成項目から削除される。

条件名	C	条件名称	上塗り材単価（円/kg）
実数			

B>0のとき、C条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4054

施工単価名称	コンクリート削孔（電動式コアホーリングマシン）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A～B

出力名称	コンクリート削孔（電動式コアホーリングマシン）	
規格名称1	落橋防止装置工	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合 (2) 削孔径20mm以上110mm以下かつ削孔深さ1,300mm以下の場合</p>	

条件名	A	条件名称	アンカー材径
	01	17mm以下	
	02	17mmを超え23mm以下	
	03	23mmを超え30mm以下	
	04	30mmを超え43mm以下	
	05	43mmを超え54mm以下	
	06	54mmを超え67mm以下	
	07	67mmを超え80mm以下	
	08	80mmを超え100mm以下	

条件名	B	条件名称	削孔深さ
	01	500mm以下	
	02	500mmを超え1000mm以下	
	03	1000mmを超え1300mm以下	

A=4～8のとき、B=3は選択可能。

施工単価コード SP4055

施工単価名称	コンクリート削孔（電動ハンマドリル）					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件
出力名称	コンクリート削孔（電動ハンマドリル）					
規格名称1	落橋防止装置工					
規格名称2	削孔径20mm以上30mm以下、削孔深200mm以下					
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔（削孔径20mm以上30mm以下かつ削孔深さ200mm以下）の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合 (2) 上方向のコンクリート削孔の場合</p>					

施工単価コード SP4056

施工単価名称	コンクリート削孔(さく岩機 [ハンドドリル(空圧式)])						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	孔	条件	A

出力名称	コンクリート削孔(さく岩機 [ハンドドリル(空圧式)])					

規格名称1	落橋防止装置工					
-------	---------	--	--	--	--	--

規格名称2						
-------	--	--	--	--	--	--

適用条件						
------	--	--	--	--	--	--

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲
 落橋防止装置設置(桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造)に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。

1-1 適用出来る範囲
 (1) 沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔(削孔径20mm以上50mm以下かつ削孔深さ200mmを超え800mm以下)の場合
 (2) 作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害が無く、さく岩機[ハンドドリル(空圧式)]による施工が可能な場合

1-2 適用出来ない範囲
 (1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合
 (2) 上方向のコンクリート削孔の場合

条件名	A	条件名称	削孔深さ
01		200mmを超え500mm以下	
02		500mmを超え800mm以下	

施工単価コード SP4057

施工単価名称	アンカー						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A～B

出力名称	アンカー	
規格名称1	落橋防止装置工	
規格名称2		

適用条件
<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 上方向のアンカー施工の場合</p> <p>(2) アンカー注入材がエポキシ樹脂系以外の場合</p> <p>(3) PC中間貫通鋼材の場合</p> <p>(4) 沓座拡幅のアンカーボルト挿入工の場合</p> <p>(5) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合</p> <p>(6) コンクリート構造物以外の場合</p>

条件名	A	条件名称	適用アンカー材径
	01	25mm以下	
	02	25mmを超え40mm以下	
	03	40mmを超え55mm以下	
	04	55mmを超え70mm以下	
	05	70mmを超え85mm以下	

条件名	B	条件名称	削孔方向
	01	横方向	
	02	下方向	

施工単価コード SP4058

施工単価名称	充填補修					
実査区分	共通	単位数	1	単位	孔	条件
出力名称	充填補修					
規格名称1	落橋防止装置工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) セメント系グラウト材による不達孔の充填補修作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 不達孔の補修材がセメント系グラウト材以外の場合 (2) コンクリート構造物以外の場合</p>					

施工単価コード SP4063

施工単価名称	現場孔明（鋼構造物）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A

出力名称	現場孔明（鋼構造物）					
規格名称1	作業条件（作業条件）					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 落橋防止装置設置（桁かかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工、充填補修及び鋼構造物の現場孔明作業に適用する。なお、「第IV編 第3章⑩橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 鋼構造物の現場孔明作業の場合</p>					

条件名	A	条件名称	作業条件
01		10本以上/箇所	
02		作業性の悪い箇所等	

施工単価コード SP4093

施工単価名称	除草						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	除草	
規格名称1	道路除草工	
規格名称2	(飛び石防護の有無)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 現道及び道路予定地における除草の場合</p> <p>(2) 人力除草は、障害物があり肩掛式が使用出来ない草丈0.3～1.0mの雑草等の場合</p>	

条件名	A	条件名称	作業形態
	01	肩掛け式	
	02	ハトがト式	
	03	人力除草	

条件名	B	条件名称	飛び石防護の有無
	01	飛び石防護 有り	
	02	飛び石防護 無し	

A=1のとき、B条件は入力可能。

施工単価コード SP4094

施工単価名称	集草					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	集草					
規格名称1	道路除草工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現道及び道路予定地における除草後の集草の場合</p>					

施工単価コード SP4095

施工単価名称	積込運搬						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	積込運搬					
規格名称1	道路除草工					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 現道及び道路予定地における除草・集草後の積込運搬の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 運搬距離が35kmを超える場合</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p>					

条件名	A	条件名称	運搬機械選定
01		ダンプトラック(オンロード・ティール・2t積級)	
02		バックホウ(回転式・積載容量4m3)	

条件名	B	条件名称	ダンプトラック運搬距離
01		6.5km以下	
02		11.5km以下	
03		14.5km以下	
04		17.5km以下	
05		19.5km以下	
06		21.5km以下	
07		23.5km以下	
08		26.0km以下	
09		28.0km以下	
10		30.0km以下	
11		32.0km以下	
12		34.5km以下	
13		35.0km以下	

A=1のとき、B条件は入力可能。

施工単価コード SP4095

条件名	C	条件名称	ハッカー車運搬距離
01		4.0km以下	
02		7.0km以下	
03		10.0km以下	
04		14.0km以下	
05		17.5km以下	
06		21.0km以下	
07		25.0km以下	
08		29.0km以下	
09		33.0km以下	
10		35.0km以下	

A=2のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード SP4098

施工単価名称	機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A～D

出力名称	機械除草（肩掛式）・集草・積込運搬					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 現道及び道路予定地における機械除草（肩掛式）、集草、積込運搬の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 運搬距離が35kmを超える場合</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p>					

条件名	A	条件名称	飛び石防護の有無
	01	飛び石防護	有り
	02	飛び石防護	無し

条件名	B	条件名称	運搬機械選定
	01	ダンプトラック(オンロード・ティール・2t積級)	
	02	バクカー車(回転式・積載容量4m3)	

条件名	C	条件名称	ダンプトラック運搬距離
	01	6.5km以下	
	02	11.5km以下	
	03	14.5km以下	
	04	17.5km以下	
	05	19.5km以下	
	06	21.5km以下	
	07	23.5km以下	
	08	26.0km以下	
	09	28.0km以下	

施工単価コード SP4098

条件名	C	条件名称	ダンプトラック運搬距離
	10	30.0km以下	
	11	32.0km以下	
	12	34.5km以下	
	13	35.0km以下	

B=1のとき、C条件は入力可能。

条件名	D	条件名称	ハッカー車運搬距離
	01	4.0km以下	
	02	7.0km以下	
	03	10.0km以下	
	04	14.0km以下	
	05	17.5km以下	
	06	21.0km以下	
	07	25.0km以下	
	08	29.0km以下	
	09	33.0km以下	
	10	35.0km以下	

B=1のとき、D条件は入力可能。

施工単価コード SP4099

施工単価名称	機械除草（肩掛式）・集草						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A

出力名称	機械除草（肩掛式）・集草	
規格名称1		
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現道及び道路予定地における機械除草（肩掛式）、集草の場合</p>	

条件名	A	条件名称	飛び石防護の有無
	01	飛び石防護	有り
	02	飛び石防護	無し

施工単価コード SP4100

施工単価名称	機械除草(ハンドガイド式)・集草・積込運搬						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～C

出力名称	機械除草(ハンドガイド式)・集草・積込運搬					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>(1) 現道及び道路予定地における機械除草(ハンドガイド式)、集草、積込運搬の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>(1) 運搬距離が35kmを超える場合</p> <p>(2) 自動車専用道路を利用する場合</p>					

条件名	A	条件名称	運搬機械選定
	01	ダンプトラック(オンロード・ティール・2t積級)	
	02	バッカー車(回転式・積載容量4m3)	

条件名	B	条件名称	ダンプトラック運搬距離
	01	6.5km以下	
	02	11.5km以下	
	03	14.5km以下	
	04	17.5km以下	
	05	19.5km以下	
	06	21.5km以下	
	07	23.5km以下	
	08	26.0km以下	
	09	28.0km以下	
	10	30.0km以下	
	11	32.0km以下	
	12	34.5km以下	
	13	35.0km以下	

施工単価コード SP4100

A=1のとき、B条件は入力可能。

条件名	C	条件名称	ハッカー車運搬距離
01		4.0km以下	
02		7.0km以下	
03		10.0km以下	
04		14.0km以下	
05		17.5km以下	
06		21.0km以下	
07		25.0km以下	
08		29.0km以下	
09		33.0km以下	
10		35.0km以下	

A=2のとき、C条件は入力可能。

施工単価コード SP4101

施工単価名称	機械除草（ハンドガイド式）・集草					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	機械除草（ハンドガイド式）・集草					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 現道及び道路予定地における除草、集草、積込運搬の作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現道及び道路予定地における機械除草（ハンドガイド式）、集草の場合</p>					

施工単価コード S5561

施工単価名称	路面清掃工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	km	条件	A~R
出力名称	路面清掃工						
規格名称1	路面清掃車作業						
規格名称2							
適用条件	真空式及びブラシ式路面清掃車による道路清掃作業に適用する。						

条件名	A	条件名称	機種区分
01		真空式リヤダンプ	; 6.0m ³ 級
02		真空式リヤリフトダンプ	; 3.5m ³ 級
03		真空式リヤリフトダンプ	; 5.5m ³ 級
04		ブラシ式リヤダンプ	; 2.5m ³ 級
05		ブラシ式リヤリフトダンプ	; 2.5m ³ 級
06		ブラシ式フロントリフトダンプ	; 2.2m ³ 級
07		各種 (貸与)	

条件名	B	条件名称	路面清掃車形式
01		真空式	リヤダンプ
02		真空式	リヤリフトダンプ
03		ブラシ式	リヤダンプ
04		ブラシ式	リヤリフトダンプ
05		ブラシ式	フロントリフトダンプ

B条件は、A=7のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	清掃車、ブラシ保有区分
01		清掃車 官貸与	、ブラシ 官貸与
02		清掃車 官貸与	、ブラシ 業者持込
* 03		清掃車 業者持込	、ブラシ 業者持込

施工単価コード S5561

条件名	D	条件名称	路面清掃車の損料 (円/時間)
実数			

D条件は、A=7またはC=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	路面清掃車燃料消費量 (L/時間)
実数			

E条件は、A=7のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	清掃延長 (km)
実数			

清掃延長は、清掃を実施する道路の延長であって、ブラシを回転させながら走行する区間は清掃延長とするが、清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間がある場合、その区間については移動距離とする。

条件名	G	条件名称	移動距離 (km)
実数			

移動距離は、路面清掃車における次の区間の全走行距離をいう。

- 1) 現場と残土処理場の間
- 2) 現場と給水場所の間
- 3) 現場と現場の間 (清掃を必要としない部分で1箇所の延長が50m以上の区間)
- 4) 基地と現場の間

条件名	H	条件名称	1km当り塵埃量
01	0. 1m ³ 未満		
02	0. 1m ³ 以上0. 2m ³ 未満		
03	0. 2m ³ 以上0. 4m ³ 未満		
04	0. 4m ³ 以上1. 2m ³ 未満		

条件名	I	条件名称	移動速度 (v)
実数			

I条件は、A=7のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	散水車の種類
01	散水車 必要なし		
02	; 小型 (容量1800L)		
03	; 中型 (容量3800L)		
04	; 大型 (容量5500~6500L)		

施工単価コード S5561

条件名	J	条件名称	散水車の種類
	05		; 各種

条件名	K	条件名称	歩道掃出しの必要の有無
	* 01		歩道掃出し 必要無し
	02		歩道掃出し 必要有り

条件名	L	条件名称	ダンプトラックの有無
	01		ダンプトラック有り
	02		ダンプトラック無し

L条件は、A=2, 3, 5, 6 または A=7、B=2, 4, 5のとき入力可能。

条件名	M	条件名称	路面清掃車運転日当り運転時間 T
	実数		条件省略値:0

M条件は、B=5のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	N	条件名称	路面清掃車供用日当り運転時間 t
	実数		条件省略値:0

N条件は、A=1~6、C=3のとき入力可能。

条件名	0	条件名称	散水車の運転日当り運転時間 T
	実数		条件省略値:0

0条件は、J=2~5のとき入力可能。J=5のとき必須入力。

条件名	P	条件名称	散水車の供用日当り運転時間 t
	実数		条件省略値:0

P条件は、J=2~4のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	散水車の損料 (円/時間)
	実数		

Q条件は、J=5のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	R	条件名称	散水車の燃料消費量 (L/時間)
	実数		

R条件は、J=5のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5561

C0001 路面清掃車

行条件名称：

列条件名称： 規格

	フロントリフトダンプ°	リヤダンプ°、リヤリフトダンプ°	
	S1365	S1366	

施工単価コード SP4029

施工単価名称	路面清掃（路肩部・人力）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	km	条件	A

出力名称	路面清掃（路肩部・人力）					
規格名称1	塵埃量（塵埃量）					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>人力による路肩部の清掃作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>(1) 路肩部の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の清掃作業</p>					

条件名	A	条件名称	塵埃量
01		塵埃量	少ない
02		塵埃量	普通
03		塵埃量	多い

施工単価コード SP4030

施工単価名称	路面清掃（歩道等・人力）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A

出力名称	路面清掃（歩道等・人力）					
規格名称1	（施工場所・塵埃量）					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 人力による、歩道、横断歩道部、地下道、中央分離帯の清掃作業に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 （1）歩道、横断歩道橋、地下道、中央分離帯の塵埃（土砂、紙屑、煙草の吸殻、空カン等）の清掃作業</p>					

条件名	A	条件名称	施工場所・塵埃量
01		歩道 少ない	
02		歩道 普通	
03		歩道 多い	
04		横断歩道橋・地下道 少ない	
05		横断歩道橋・地下道 普通	
06		横断歩道橋・地下道 多い	
07		中央分離帯 普通	
08		中央分離帯 多い	
09		歩道(草の処理) 普通	
10		歩道(草の処理) 多い	

施工単価コード S5581

施工単価名称	排水構造物清掃工（管渠清掃工）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A～R

出力名称	排水構造物清掃工					
規格名称1	管渠清掃工（管径）					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる管渠及び側溝（蓋付）の清掃に適用する。</p> <p>2. 管渠は、管径φ200～1000mm、側溝は、幅200～1000mm（断面積0.5m²未満）とする。</p>					

条件名	A	条件名称	管径
	01	φ200mm以上 400mm未満	
	02	φ400mm以上 800mm未満	
	03	φ800mm以上1000mm未満	

条件名	B	条件名称	清掃実延長（m）
	実数		

条件名	C	条件名称	移動距離（km）
	実数		

条件名	D	条件名称	平均泥土堆積率（%）
	01	50%未満	
	02	50%以上	

条件名	E	条件名称	散水車の種類
	01	散水車 必要無し	
	02	；小型（容量1800L）	
	03	；中型（容量3800L）	
	* 04	；大型（容量5500～6500L）	

施工単価コード S5581

条件名	E	条件名称	散水車の種類
	05		; 各種

条件名	F	条件名称	散水車の運転日当り運転時間 T
	実数		条件省略値:0

E=2～5のとき、F条件は入力可能。
E=5のとき、F条件は必須入力。

条件名	G	条件名称	散水車の供用日当り運転時間 t
	実数		条件省略値:0

E=2～4のとき、G条件は入力可能。

条件名	H	条件名称	散水車の損料 (円/時間)
	実数		

E=5のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	散水車の燃料消費量 (L/時間)
	実数		

E=5のとき、I条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	排水管清掃車規格
	01		; 高圧水洗浄式(ジェット式)タンク容量5.3～5.8m3
	02		; 各種

条件名	K	条件名称	排水管清掃車の供用日当り運転時間 t
	実数		条件省略値:0

J=1のとき、K条件は入力可能。

条件名	L	条件名称	排水管清掃車の損料 (円/時間)
	実数		

J=2のとき、L条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	M	条件名称	排水管清掃車の燃料消費量 (L/時間)
	実数		

M条件は、J=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5581

条件名	N	条件名称	側溝清掃車規格
	01	;ブロワ式 ホッパ容量4.5~5.0m ³	
	02	;各種	

条件名	0	条件名称	側溝清掃車の運転日当り運転時間 T
実数	条件省略値:0		

条件名	P	条件名称	側溝清掃車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

P条件は、N=1のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	側溝清掃車の損料 (円/時間)
実数			

Q条件は、N=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	R	条件名称	側溝清掃車の燃料消費量 (L/時間)
実数			

R条件は、N=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5582

施工単価名称	排水構造物清掃工（側溝清掃工・組合せ作業）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A～R

出力名称	排水構造物清掃工					
規格名称1	側溝清掃工（組合せ作業）					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる管渠及び側溝（蓋付）の清掃に適用する。</p> <p>2. 管渠は、管径φ200～1000mm、側溝は、幅200～1000mm（断面積0.5m²未満）とする。</p>					

条件名	A	条件名称	側溝断面積（m ² ）
	01	0.125m ² 未満	
	02	0.125m ² 以上 0.5m ² 未満	

条件名	B	条件名称	清掃実延長（m）
	実数		

条件名	C	条件名称	移動距離（km）
	実数		

条件名	D	条件名称	平均泥土堆積率（%）
	01	50%未満	
	02	50%以上	

条件名	E	条件名称	散水車の種類
	01	散水車 必要無し	
	02	；小型（容量1800L）	
	03	；中型（容量3800L）	
	* 04	；大型（容量5500～6500L）	
	05	；各種	

施工単価コード S5582

条件名	F	条件名称	散水車の運転日当り運転時間 T
実数	条件省略値:0		

E=2～5のとき、F条件は入力可能。
E=5のとき、F条件は必須入力。

条件名	G	条件名称	散水車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

E=2～4のとき、G条件は入力可能。

条件名	H	条件名称	散水車の損料（円／時間）
実数			

E=5のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	散水車の燃料消費量（L／時間）
実数			

E=5のとき、I条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	排水管清掃車規格
01	; 高圧水洗浄式(ジェット式)タンク容量5.3～5.8m3		
02	; 各種		

条件名	K	条件名称	排水管清掃車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

J=1のとき、K条件は入力可能。

条件名	L	条件名称	排水管清掃車の損料（円／時間）
実数			

J=2のとき、L条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	M	条件名称	排水管清掃車の燃料消費量（L／時間）
実数			

M条件は、J=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	N	条件名称	側溝清掃車規格
01	; ブロワ式 ホッパ容量4.5～5.0m3		
02	; 各種		

施工単価コード S5582

条件名	0	条件名称	側溝清掃車の運転日当り運転時間 T
実数	条件省略値:0		

条件名	P	条件名称	側溝清掃車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

P条件は、N=1のとき入力可能。

条件名	Q	条件名称	側溝清掃車の損料（円／時間）
実数			

Q条件は、N=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	R	条件名称	側溝清掃車の燃料消費量（L／時間）
実数			

R条件は、N=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5586

施工単価名称	排水構造物清掃工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	個	条件	A～Q

出力名称	排水構造物清掃工					
規格名称1	集水桝清掃工					
規格名称2						
適用条件	排水管清掃車と側溝清掃車の組合せによる管渠及び側溝（蓋付）、集水桝の清掃に適用する。 桝の内寸法□100cm未満、桝深さは100cm未満とする。					

条件名	A	条件名称	泥土堆積厚
	01	25cm未満	
	02	25cm以上	

条件名	B	条件名称	散水車の種類
	01	散水車 必要無し	
	02	; 小型 (容量1800L)	
	03	; 中型 (容量3800L)	
	* 04	; 大型 (容量5500～6500L)	
	05	; 各種	

条件名	C	条件名称	清掃数 (個)
	実数		

条件名	D	条件名称	移動距離 (km)
	実数		

条件名	E	条件名称	散水車の運転日当り運転時間T
	実数	条件省略値:0	

B=2～5のとき、E条件は入力可能。
 B=5のとき、E条件は必須入力。

施工単価コード S5586

条件名	F	条件名称	散水車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

B=2~4のとき、F条件は入力可能。

条件名	G	条件名称	散水車の損料 (円/時間)
実数			

B=5のとき、G条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	散水車の燃料消費量 (L/時間)
実数			

B=5のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	排水管清掃車規格
01	; 高圧水洗浄式(ジェット式)タンク容量5.3~5.8m3		
02	; 各種		

条件名	J	条件名称	排水管清掃車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

I=1のとき、J条件は入力可能。

条件名	K	条件名称	排水管清掃車の損料 (円/時間)
実数			

I=2のとき、K条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	L	条件名称	排水管清掃車の燃料消費量 (L/時間)
実数			

L条件は、I=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	M	条件名称	側溝清掃車規格
01	; ブロワ式 ホッパ容量4.5~5.0m3		
02	; 各種		

条件名	N	条件名称	側溝清掃車の運転日当り運転時間 T
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S5586

条件名	0	条件名称	側溝清掃車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

0条件は、M=1のとき入力可能。

条件名	P	条件名称	側溝清掃車の損料 (円/時間)
実数			

P条件は、M=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	Q	条件名称	側溝清掃車の燃料消費量 (L/時間)
実数			

Q条件は、M=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5583

施工単価名称	排水構造物清掃工（側溝清掃工・単独作業）						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m	条件	A～G

出力名称	排水構造物清掃工	
規格名称1	側溝清掃（単独作業）	
規格名称2		
適用条件	<p>1. 側溝清掃車による無蓋側溝の清掃作業に適用する。</p> <p>2. 側溝は、幅30～70cm、深さ30～90cmとする。</p> <p>3. 有蓋側溝の単独作業については、無蓋側溝清掃費に側溝蓋の撤去・設置費を加算するものとする。</p>	

条件名	A	条件名称	清掃実延長（m）
実数			

条件名	B	条件名称	移動距離（km）
実数			

- ①移動距離は、次の区間の全走行距離をいう。
- 1) 現場と残土処理場の間
 - 2) 現場と現場の間（清掃を必要としない部分で、1箇所の実延長が50m以上の区間）
 - 3) 基地と現場の間
- ②上記の移動距離の算出にあたっては、次の諸元を考慮して決定する。
- 側溝清掃車による泥土の排出回数（n）
- $$n = \frac{q \cdot L}{Q \cdot K}$$
- q：側溝1m当り平均泥土量（m³/m）
 L：清掃延長（m）
 Q：ホッパ容量（m³）
 K：ホッパ係数 0.67

条件名	C	条件名称	1m当り平均土量（m ³ ）
実数			

条件名	D	条件名称	側溝清掃車規格
01	；ブロワ式 ホッパ容量4.5～5.0m ³		
02	；各種		

施工単価コード S5583

条件名	E	条件名称	側溝清掃車の損料 (円/時間)
実数			

D=2のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	側溝清掃車の燃料消費量 (L/時間)
実数			

F条件は、D=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	機械供用日当り運転時間 t
実数		条件省略値:0	

G条件は、D=1のとき入力可能。

施工単価コード S5585

施工単価名称	側溝蓋撤去・設置						
実査区分	共通	単位数	100	単位	枚	条件	A

出力名称	側溝蓋撤去・設置					
規格名称1	(蓋質量 (kg/枚))					
規格名称2						
適用条件	清掃範囲の蓋を全数撤去・設置する場合について適用するものとする。					

条件名	A	条件名称	蓋質量 (kg/枚)
01		40kg以上 80kg以下	
02		80kgを越え 120kg以下	

施工単価コード SP4031

施工単価名称	側溝清掃（人力清掃工）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A

出力名称	側溝清掃（人力清掃工）					
規格名称1	（側溝蓋規格）					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 人力による側溝清掃作業に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 側溝の内幅20～70cm、内深さ20～100cm、蓋の質量はコンクリート蓋120kg/枚以下、鋼蓋50kg/枚以下の場合 (2) 堆積土砂量は、0.15m³/m以下の場合</p>					

条件名	A	条件名称	側溝蓋規格
01		無蓋	
02		有蓋 コンクリート蓋	
03		有蓋 鋼蓋(ボルト締無)	
04		有蓋 鋼蓋(ボルト締有)	

施工単価コード S5571

施工単価名称	集水桝清掃工（単独作業）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	箇所	条件	A～J

出力名称	集水桝清掃工（単独作業）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	側溝清掃車による集水桝の清掃作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	集水桝清掃箇所数（個）
実数			

条件名	B	条件名称	移動距離（km）
実数			

条件名	C	条件名称	1個当り堆積土量（m ³ ）
実数			

条件名	D	条件名称	平均泥土堆積厚（cm）
* 01	20cm未満		
02	20cm以上		

条件名	E	条件名称	水洗い作業の有無
01	水洗い作業 無し		
02	水洗い作業 有り		

条件名	F	条件名称	給水方法
01	洗車用水道から		
02	消火栓から		
03	散水車から		

施工単価コード S5571

条件名	G	条件名称	側溝清掃車規格
	01	;ブロワ式 ホッパ容量4.5~5.0m ³	
	02	;各種	

条件名	H	条件名称	側溝清掃車の損料 (円/時間)
	実数		

G=2のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	側溝清掃車の燃料消費量 (L/時間)
	実数		

I条件は、G=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	機械供用日当り運転時間 t
	実数	条件省略値:0	

J条件は、G=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4059

施工単価名称	柵清掃（人力清掃工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A

出力名称	柵清掃（人力清掃工）					
規格名称1	（蓋の有無及び土砂厚）					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>人力による集水柵及び街渠柵の清掃作業に適用し、柵の内寸法は □70cm以下、柵深さは100cm以下とする。</p>					

条件名	A	条件名称	蓋の有無及び土砂厚
01		有蓋 25cm未満	
02		有蓋 25cm以上	
03		無蓋 25cm未満	
04		無蓋 25cm以上	

施工単価コード S4951

施工単価名称	トンネル照明器具清掃工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	灯	条件	A

出力名称	トンネル照明器具清掃工					
規格名称 1	(作業種別)					
規格名称 2						
適用条件	<p>人力による照明灯の清掃に適用する。</p> <p>*補足説明*</p> <p>電気設備の照明灯の清掃にも本施工を適用する。</p>					

条件名	A	条件名称	作業種別
	01	表面清掃	
	02	表面及び内面清掃	

施工単価コード SP4096

施工単価名称	面導水					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	面導水					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 既設道路トンネルの漏水対策のうち、導水工法に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 漏水範囲が面状で、幅2mの防水板を設置する面的な漏水対策工法の場合</p>					

施工単価コード SP4097

施工単価名称	線導水					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件

出力名称	線導水					

規格名称 1						
--------	--	--	--	--	--	--

規格名称 2						
--------	--	--	--	--	--	--

適用条件						
------	--	--	--	--	--	--

特単変換禁止指示あり

1. 適用範囲

既設道路トンネルの漏水対策のうち、導水工法に適用する。

1-1 適用出来る範囲

- (1) 漏水範囲が線状で、縦・横方向の漏水箇所に沿って導水材（ゴム系又は樹脂系）又は伸縮性充填材を溝状に設置する局所的な漏水対策工法の場合

1-2 適用出来ない範囲

- (1) 覆工表面に樋を設置する工法の場合

施工単価コード S5590

施工単価名称	トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	トンネル	条件	A~G

出力名称	トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>トンネルのひび割れ補修における1トンネル当りの低圧注入作業(圧縮空気、ゴムやバネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの)に適用する。</p> <p>また、覆道や道路ボックスカルバート等についても適用することが出来る。</p> <p>なお、以下の条件は適用範囲外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリースポンプ等の手動ポンプを用いて手動で注入を行う場合 ・足踏みポンプや電動ポンプ等の機械を用いて注入を行う場合 ・「第Ⅱ編2章共通工⑨-2構造物補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))」に適合する場合。 <p>(注) 1トンネルとは、1道路トンネルの全体を指し、断面の形状や延長による区分は設けない。また、トンネルと覆道等が連続している場合は、1トンネルと考える。</p>					

条件名	A	条件名称	1トンネル当り補修延べ延長 (m)
実数			

条件名	B	条件名称	1トンネル当りの注入材使用量 (kg)
実数			

条件名	C	条件名称	1トンネル当りのシール材設計量 (kg)
実数			

条件名	D	条件名称	1トンネル当りの低圧注入器具使用量 (個)
実数			

条件名	E	条件名称	注入材単価 (円/kg)
実数			

E条件は、B>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5590

条件名	F	条件名称	シール材単価 (円/kg)
実数			

条件名	G	条件名称	低圧注入器具単価 (円/個)
実数			

G条件は、D>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4060

施工単価名称	チップング（厚 2 c m以下）					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件
出力名称	チップング（厚 2 c m以下）					
規格名称 1	沓座拡幅工					
規格名称 2						
適用条件						
特単変換禁止指示あり 1. 適用範囲 コンクリート沓座拡幅工のうちチップングに適用する。						

施工単価コード SP4061

施工単価名称	アンカー筋挿入					
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件

出力名称	アンカー筋挿入					
規格名称 1	沓座拡幅工					
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 コンクリート沓座拡幅工のうちアンカー筋挿入に適用する。</p>					

施工単価コード SP4111

施工単価名称	鉄筋（沓座拡幅工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A

出力名称	鉄筋（沓座拡幅工）	
規格名称1	（鉄筋規格）	
規格名称2		
適用条件		
特単変換禁止指示あり 1. 適用範囲 コンクリート沓座拡幅工のうち鉄筋組立に適用する。		

条件名	A	条件名称	鉄筋規格
01		SD295 D13	
02		SD295 D16	
03		SD345 D13	
04		SD345 D16～25	

施工単価コード SP4112

施工単価名称	型枠（沓座拡幅工）					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	型枠（沓座拡幅工）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 コンクリート沓座拡幅工のうち型枠製作・設置・撤去に適用する。</p>					

施工単価コード SP4113

施工単価名称	コンクリート（沓座拡幅工）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A～C

出力名称	コンクリート（沓座拡幅工）					
規格名称1	（コンクリート規格）					
規格名称2						
適用条件	特単変換禁止指示あり 1. 適用範囲 コンクリート沓座拡幅工のうちコンクリート打設・養生に適用する。					

条件名	A	条件名称	コンクリート規格
01		高炉18- 8-25	W/C ≤ 65%
02		高炉18- 8-40	W/C ≤ 65%
03		高炉18-12-25	W/C ≤ 65%
04		高炉18-12-40	W/C ≤ 65%
05		高炉21- 8-40	W/C ≤ 65%
06		高炉21-12-40	W/C ≤ 65%
07		高炉24- 8-25	W/C ≤ 65%
08		高炉24- 8-40	W/C ≤ 65%
09		高炉24-12-25	W/C ≤ 65%
10		高炉24-12-40	W/C ≤ 65%
11		高炉18- 8-25	W/C ≤ 60%
12		高炉18- 8-40	W/C ≤ 60%
13		高炉18-12-25	W/C ≤ 60%
14		高炉18-12-40	W/C ≤ 60%
15		高炉21- 8-40	W/C ≤ 55%
16		高炉21-12-40	W/C ≤ 55%
17		高炉24- 8-25	W/C ≤ 55%
18		高炉24- 8-40	W/C ≤ 55%
19		高炉24-12-25	W/C ≤ 55%
20		高炉24-12-40	W/C ≤ 55%

施工単価コード SP4113

条件名	A	条件名称	コンクリート規格
	21	18- 8-40	W/C \leq 65%
	22	18-12-40	W/C \leq 65%
	23	21- 8-40	W/C \leq 65%
	24	21-12-40	W/C \leq 65%
	25	24- 8-25	W/C \leq 65%
	26	24-12-25	W/C \leq 65%
	27	24-12-40	W/C \leq 65%
	28	18- 8-40	W/C \leq 60%
	29	18-12-40	W/C \leq 60%
	30	24- 8-40	W/C \leq 60%
	31	24-12-40	W/C \leq 60%
	32	21- 8-40	W/C \leq 55%
	33	21-12-40	W/C \leq 55%
	34	24- 8-25	W/C \leq 55%
	35	24- 8-40	W/C \leq 55%
	36	24-12-25	W/C \leq 55%
	37	24-12-40	W/C \leq 55%
	38	各種（単価入力）	

条件名	B	条件名称	生コンクリート単価（円/m ³ ）
	実数		

B条件は、A=38のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード S5055

施工単価名称	加熱合材補修工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A～C

出力名称	加熱合材補修工	
規格名称1	(日当り施工量)	
規格名称2		
適用条件	<p>道路維持作業における加熱合材（日施工量20t未満）による舗装面の欠損部補修作業に適用する。 ただし、舗装版等のとりこわし、殻運搬・処理は含まない。</p>	

条件名	A	条件名称	アスファルト合材種別
	01	密粒度 AC 13FA	
	02	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	03	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	04	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	05	密粒度 AC 20FA	
	06	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	08	密粒度 AC 20FH	
	09	密粒度 AC 20FH 改質材入り	
	10	密粒度 AC 13	
	11	細粒度 AC 5F	

条件名	B	条件名称	日当り施工量
	01	1 t 未満	
	02	1 t 以上 2 t 未満	
	03	2 t 以上 5 t 未満	
	04	5 t 以上20 t 未満	

施工単価コード	S5055
---------	-------

条件名	C	条件名称	アスファルト合材単価 (円 / t)
実数			

C条件は、A=3, 7のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S5060

施工単価名称	常温合材補修工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A～B

出力名称	常温合材補修工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>道路維持作業における常温合材（日施工量0.3t未満）による舗装面の欠損部補修作業に適用する。 ただし、舗装版等のとりこわし、殻運搬・処理は含まない。</p>					

条件名	A	条件名称	アスファルト合材種別
	01	密粒度 AC 13FA	
	02	密粒度 AC 13FA 改質材入り	
	03	密粒度 AC 13FAp スラグ入り	
	04	密粒度 AC 13FH 改質材入り	
	05	密粒度 AC 20FA	
	06	密粒度 AC 20FA 改質材入り	
	07	密粒度 AC 20FAp スラグ入り	
	08	密粒度 AC 20FH	
	09	密粒度 AC 20FH 改質材入り	
	10	密粒度 AC 13	
	11	細粒度 AC 5F	

条件名	B	条件名称	アスファルト合材単価（円／t）
	実数		

B条件は、A=3,7のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S7515

施工単価名称	クラック充填工						
実査区分	共通	単位数量	1000	単位	m	条件	A～B

出力名称	クラック充填工					

規格名称1	車道幅3m当り ひび割れ率（ひび割れ率）					
-------	----------------------	--	--	--	--	--

規格名称2						
-------	--	--	--	--	--	--

適用条件						
------	--	--	--	--	--	--

1. 舗装表面に発生した、比較的軽度なひび割れに対応する補修に適用する。ただし、亀甲状にひび割れが進行している場合や、ひび割れ深さが路盤以下に達している場合は、路盤の状態を十分確認し、ほかの工法との比較検討を十分に行ったうえ使用すること。
2. 既設舗装版のひび割れを十分にシールし、雨水の侵入を防ぐ観点から、極力気候の安定する5月～11月の晴天時に施工を行うよう努めること。

条件名	A	条件名称	ひび割れ率
	01	0～15%	
	02	15～25%	
	03	25～35%	

条件名	B	条件名称	加熱注入式目地材（円/kg）
	実数		

施工単価コード S5099

施工単価名称	舗装切断排水運搬費						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A~G

出力名称	舗装切断排水運搬費					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>運搬機械について 排水処分量(V)に応じて、下記の運搬機械を適用する。</p> <p>0 < V ≤ 1.5 : ダンプトラック (2t積) 1.5 < V ≤ 3.0 : ダンプトラック (4t積) 3.0 < V : 泥水運搬車 (積算基準 泥水運搬工による)</p>					

条件名	A	条件名称	積算時点
	01	当初	
	02	変更	

条件名	B	条件名称	アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m)
	実数		

B条件は、A=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	舗装版切断延長 l (m)
	実数		

C条件は、A=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	D	条件名称	排水の実数量 (m3)
	実数		

D条件は、A=2のとき入力可能かつ必須入力。
m3、tの単位換算にあたっては、 $\rho=1.3$ を使用し、端数処理は、小数第3位を切り捨てること。

条件名	E	条件名称	片道運搬距離 L (km)
	実数		

施工単価コード S5099

条件名	F	条件名称	DID区間
	01	DID区間なし	
	02	DID区間あり	

条件名	G	条件名称	タイヤ損耗
	* 01	良好	
	02	普通	
	03	不良	

C0001 運搬機械
 行条件名称：
 列条件名称： 運搬機械

	2tダンプトラック運搬	4tダンプトラック運搬	
	S1032	S1032	

共 同 溝 工

施工単価コード SP4034

施工単価名称	舗装版破碎積込					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	舗装版破碎積込					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝（C・C・BOX）の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 厚さが15cm以下のアスファルト舗装版の破碎及び積込作業の場合</p>					

施工単価コード SP4035

施工単価名称	床掘り					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m3	条件

出力名称	床掘り					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝（C・C・BOX）の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 （1）土質が土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）の床掘り作業の場合</p>					

施工単価コード SP4036

施工単価名称	埋戻し・締固め						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A~B

出力名称	埋戻し・締固め	
規格名称1	土質 (土質)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 管路材及びプレキャストボックス設置後の埋設表示シートの設置を含む埋戻し・締固め作業の場合</p>	

条件名	A	条件名称	土質
	01	土砂	
	02	中埋砂	

条件名	B	条件名称	中埋砂単価 (円/m3)
	実数		

A=2のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4037

施工単価名称	運搬（電線共同溝）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件	A～D

出力名称	運搬（電線共同溝）	
規格名称1	積載区分（積載区分）	
規格名称2	(DID区間の有無)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝（C・C・BOX）の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 舗装版破碎後のアスファルト塊及び床掘り土砂の運搬作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 運搬距離が60kmを超える場合 (2) 自動車専用道路を利用する場合</p>	

条件名	A	条件名称	積載区分
	01	土砂	
	02	アスファルト塊	

条件名	B	条件名称	DID区間の有無
	01	DID区間	無し
	02	DID区間	有り

条件名	C	条件名称	運搬距離
	01	0.5km以下	
	02	2.0km以下	
	03	3.5km以下	
	04	6.5km以下	
	05	11.5km以下	
	06	26.5km以下	
	07	60.0km以下	

C条件は、B=1のとき入力可能。

施工単価コード SP4037

条件名	D	条件名称	運搬距離
01		0.5km以下	
02		2.0km以下	
03		3.5km以下	
04		6.0km以下	
05		10.5km以下	
06		22.5km以下	
07		60.0km以下	

D条件は、B=2のとき入力可能。

施工単価コード SP4038

施工単価名称	軽量鋼矢板設置・撤去					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件

出力名称	軽量鋼矢板設置・撤去					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝（C・C・BOX）の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 土留工における軽量鋼矢板の設置及び撤去作業の場合</p>					

施工単価コード SP4039

施工単価名称	管路材設置						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~H

出力名称	管路材設置	
規格名称1	(作業区分)	
規格名称2	(設置区分)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 露出部に単管 (呼び径150mm以下) を設置する場合 (2) 埋設部に単管・FA管 (呼び径150mm以下)、ボディ管 (呼び径200mm (さや管12条以下)、250mm (さや管21条以下))、多条管 (可とう性のある波付き管路材で呼び径150mm以下) を設置する場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 多孔管を設置する場合 (2) 材質が合成樹脂製品以外の場合</p>	

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	露出部	
	02	埋設部	

条件名	B	条件名称	設置区分
	01	単管設置	
	02	FA管設置	
	03	ボディ管 (φ 200mm) 設置 (さや管含む)	
	04	ボディ管 (φ 250mm) 設置 (さや管含む)	
	05	多条管設置	

A=2のとき、B=2~5は選択可能。

条件名	C	条件名称	さや管の条数
	01	標準:8条 (6条 (φ 50)+2条 (φ 30))	
	02	標準:10条 (5条 (φ 50)+5条 (φ 30))	
	03	標準:11条 (4条 (φ 50)+7条 (φ 30))	
	04	標準:12条 (3条 (φ 50)+9条 (φ 30))	

施工単価コード SP4039

条件名	C	条件名称	さや管の条数
	05	標準以外の組合せ(φ50, φ30使用)	
	06	φ50, φ30以外の使用	
	07	標準:11条(9条(φ50)+2条(φ30))	
	08	標準:14条(8条(φ50)+6条(φ30))	
	09	標準:15条(7条(φ50)+8条(φ30))	
	10	標準:16条(6条(φ50)+10条(φ30))	
	11	標準:20条(5条(φ50)+15条(φ30))	
	12	標準:21条(4条(φ50)+17条(φ30))	

B=3のとき、C=1～6は選択可能。
B=4のとき、C=5～12は選択可能。

条件名	D	条件名称	さや管(φ50)の条数(標準以外の組合せ)
		実数	

C=5のとき、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	さや管(φ30)の条数(標準以外の組合せ)
		実数	

C=5のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	管路材単価(円/m)
		実数	

条件名	G	条件名称	さや管(φ50)単価(円/m)
		実数	

C=1～5, 7～12のとき、G条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	さや管(φ30)単価(円/m)
		実数	

C=1～5, 7～12のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4040

施工単価名称	プレキャストボックスブロック設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	個	条件	A～C

出力名称	プレキャストボックスブロック設置	
規格名称1	(ボックスブロック1個当り質量)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 質量が11,000kg以下のプレキャストボックスブロックの設置作業の場合</p>	

条件名	A	条件名称	ボックスブロック1個当り質量
	01	1000kg以下	
	02	1000kgを超え4000kg以下	
	03	4000kgを超え11000kg以下	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:1		

条件名	C	条件名称	プレキャストボックスブロック単価(円/個)
実数			

施工単価コード SP4041

施工単価名称	蓋設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	組	条件	A

出力名称	蓋設置	
規格名称1	(蓋1組当り質量)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 質量が2,000kg以下の蓋の設置作業の場合</p>	

条件名	A	条件名称	蓋1組当り質量
	01	200kg以下	
	02	200kgを超え800kg以下	
	03	800kgを超え2000kg以下	

施工単価コード SP4102

施工単価名称	埋設部管路材設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A～F

出力名称	埋設部管路材設置	
規格名称1	(設置区分)	
規格名称2	さや管の条数 (さや管の条数)	
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する 情報管路は適用外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 埋設部における管路材の設置作業の場合</p>	

条件名	A	条件名称	本体管の材質
	01	コンクリート製	
	02	合成樹脂製	
	03	鋼製	

条件名	B	条件名称	さや管の材質
	01	VU・FEP管類	
	02	VU管類	
	03	FEP管類	

A=1のとき、B=1は選択可能。
A=2のとき、B=2, 3は選択可能。

条件名	C	条件名称	設置区分
	01	本体管設置	
	02	さや管設置	
	03	本体管及びさや管設置	

A=1, 3 または B=3のとき、C=1は選択可能。
A=1 または B=3のとき、C=2は選択可能。
B=2のとき、C=3は選択可能。

施工単価コード SP4102

条件名	D	条件名称	さや管の条数
	01		1管
	02		2管
	03		3管
	04		4管
	05		5管
	06		6管
	07		7管
	08		8管
	09		9管
	10		10管
	11		11管
	12		12管
	13		13管
	14		14管
	15		15管
	16		16管
	17		17管
	18		18管
	19		19管
	20		20管

B=2 または C=2のとき、D条件は入力可能。

条件名	E	条件名称	管路材（本体管）単価（円/m）
	実数		

C=1, 3のとき、E条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	管路材（さや管）単価（円/m）
	実数		

C=2, 3のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード SP4103

施工単価名称	露出部管路材設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A～D

出力名称	露出部管路材設置					
規格名称1	さや管の条数 (さや管の条数)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する 情報管路は適用外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) トンネル部を除く露出部における本体管及びさや管の設置作業 の場合</p>					

条件名	A	条件名称	さや管の条数
	01	1管以上4管以下	
	02	5管以上8管以下	
	03	9管以上12管以下	

条件名	B	条件名称	高所作業車による作業
	01	高所作業車による作業 可能(標準)	
	02	高所作業車による作業 不可能	

条件名	C	条件名称	管路材 (本体管) 単価 (円/m)
	実数		

条件名	D	条件名称	管路材 (さや管) 単価 (円/m)
	実数		

施工単価コード SP4104

施工単価名称	ハンドホール						
実査区分	共通	単位数	1	単位	個	条件	A～B

出力名称	ハンドホール					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する 情報管路は適用外とする。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) ハンドホール設置（支持金具、蓋、固定板の設置を含む）の場合</p>					

条件名	A	条件名称	クレーン機種
	01	バックホウ（クローラ型）	
	02	ラフテレンクレーン 4.9t吊	
	03	ラフテレンクレーン 16t吊	
	04	ラフテレンクレーン 20t吊	
	05	ラフテレンクレーン 25t吊	

条件名	B	条件名称	ハンドホール単価（円／個）
	実数		

トンネル工

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
道路編 トンネル工				
				IV-5
== IV-5-① =====				
== トンネル工 (N A T M)				
N A T M掘削等 (発破工法)	S6716	m		IV-5- 1
N A T M上半掘削等 (発破工法)	S6717	m		IV-5- 5
N A T M下半掘削等 (発破工法)	S6718	m		IV-5- 9
火薬 (発破工法)	S6773	m		IV-5- 12
ずり出し工(ダンプトラック運転) 発破工法	S6772	m		IV-5- 15
吹付コンクリート (発破工法)	S6774	m		IV-5- 18
集塵機運転 (発破工法)	S6771	m		IV-5- 20
ロックボルト (発破工法)	S6775	m		IV-5- 23
H型鋼支保工 (発破工法)	S6776	m		IV-5- 26
N A T M上半掘削 (機械掘削工法)	S6731	m		IV-5- 28
N A T M下半掘削 (機械掘削工法)	S6736	m		IV-5- 31
吹付コンクリート (機械掘削工法)	S6732	m		IV-5- 34
集塵機運転 (機械掘削工法)	S6777	m		IV-5- 36
ロックボルト (機械掘削工法)	S6733	m		IV-5- 38
H型鋼支保工 (機械掘削工法)	S6735	m		IV-5- 41
インバート掘削 (N A T M)	S6741	m ³		IV-5- 43
インバートずり出し工 (N A T M)	S6745	m ³		IV-5- 44
インバート型枠製作工 (N A T M)	S6748	m ²		IV-5- 45
インバート型枠設置撤去工 (N A T M)	S6749	m ²		IV-5- 46
インバートコンクリート工 (打設・養生)	S6743	m ³		IV-5- 47
インバート敷均し・締固め (N A T M)	S6744	m ³		IV-5- 48
埋戻材の積込作業	S6750	m ³		IV-5- 49
N A T M防水工	S6754	m		IV-5- 50
N A T M覆工コンクリート工	S6755	m		IV-5- 52
N A T M全断面スライドセントル	S6757	m		IV-5- 54
吹付プラント設備組立・解体	S6760	基		IV-5- 55
スライドセントル組立・解体	S6761	基		IV-5- 56
防水工作業台車組立・解体	S6762	基		IV-5- 57
仮設備保守費	S6764	箇月		IV-5- 58
軸流ファン運転	S6768	日		IV-5- 59

施工単価コード S6716

施工単価名称	N A T M掘削等 (発破工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～Q

出力名称	N A T M掘削等					
規格名称 1	発破補助ベンチ付全断面工法					
規格名称 2	(岩区分)					

適用条件							
<p>トンネル工 (N A T M) における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面面積50m²以上130m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては、下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>①施工歩掛における通常断面と大断面の適用区分については、下表による。</p> <table border="1" data-bbox="223 766 1098 936"> <thead> <tr> <th>歩掛区分</th> <th>適用範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常断面</td> <td>技術基準における通常断面の支保構造のトンネルの場合</td> </tr> <tr> <td>大断面</td> <td>技術基準における大断面の支保構造のトンネルの場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 技術基準とは、「道路トンネル技術基準 (構造編) ・同解説 (平成15年11月)」をいう。</p> <p>②非常駐車帯部及び坑口部にも適用できる。</p> <p>③掘削工法は、発破工法に適用する。</p> <p>④発破工法は、普通一般地質における補助ベンチ付全断面工法に適用する。</p> <p>⑤隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用出来ない場合は、別途考慮する。</p> <p>⑥片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面面積50m²未満又は130m²を超えるものは、別途考慮する。</p> <p>⑦坑口部等で本資料により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>⑧トンネル形状については、「道路トンネル技術基準 (構造編) ・同解説 (平成15年11月)」等を準拠する。</p>		歩掛区分	適用範囲	通常断面	技術基準における通常断面の支保構造のトンネルの場合	大断面	技術基準における大断面の支保構造のトンネルの場合
歩掛区分	適用範囲						
通常断面	技術基準における通常断面の支保構造のトンネルの場合						
大断面	技術基準における大断面の支保構造のトンネルの場合						

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	岩区分
	01	岩区分 C I	
	02	岩区分 C II	

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m ²)
	01	50m ²	
	02	55m ²	

施工単価コード S6716

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	03		60m2
	04		65m2
	05		70m2
	06		75m2
	07		80m2
	08		85m2
	09		90m2
	10		95m2
	11		100m2
	12		105m2
	13		110m2
	14		115m2
	15		120m2
	16		125m2
	17		130m2

C= 1～ 4は、A=1のとき入力可能。
C=11～17は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	ずり出し運搬距離
	01		L=1.2km以下
	02		L=1.2km超え

条件名	E	条件名称	雷管 (2～5段 3.0m脚線) の単価 (円/個)
	実数		

条件名	F	条件名称	雷管 (6～10段 3.0m脚線) の単価 (円/個)
	実数		

条件名	G	条件名称	ロックボルト 1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

施工単価コード S6716

条件名	H	条件名称	注入急結剤 1m当りの本数(使用の場合入力)
実数	条件省略値:0		

条件名	I	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
実数			

I条件は、H>0のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
実数			

J条件は、A=1、B=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	K	条件名称	労務費調整係数
実数	条件省略値:1.063		

条件名	L	条件名称	所定労働時間外の超過時間 (時間外) (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	M	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間 (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	N	条件名称	切羽監視責任者の有無
01	切羽監視責任者 無		
02	切羽監視責任者 有		

条件名	O	条件名称	鏡吹付工施工の有無
01	鏡吹付工施工 無		
02	鏡吹付工施工 有		

条件名	P	条件名称	含水爆薬 (スラリー) 単価 (円/kg)
実数			

条件名	Q	条件名称	吹付プラント設備
01	一括練混ぜ		

施工単価コード	S6716
---------	-------

条件名	Q	条件名称	吹付プラント設備
	02	分割練混ぜ	

施工単価コード S6717

施工単価名称	N A T M上半掘削等（発破工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～U

出力名称	N A T M上半掘削等	
規格名称1	発破上半先進ベンチカット工法	
規格名称2	(岩区分)	

適用条件

トンネル工（N A T M）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上130m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては、下記事項に留意し実施するものとする。

①施工歩掛における通常断面と大断面の適用区分については、下表による。

歩掛区分	適用範囲
通常断面	技術基準における通常断面の支保構造のトンネルの場合
大断面	技術基準における大断面の支保構造のトンネルの場合

(注) 技術基準とは、「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）」をいう。

- ②非常駐車帯部及び坑口部にも適用できる。
- ③掘削工法は、発破工法に適用する。
- ④発破工法は、普通一般地質における上半先進ベンチカット工法に適用する。
- ⑤隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用出来ない場合は、別途考慮する。
- ⑥片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積50m²未満又は130m²を超えるものは、別途考慮する。
- ⑦坑口部等で本資料により難しい場合は、別途考慮する。
- ⑧トンネル形状については、「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）」等を準拠する。

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	岩区分
	01	岩区分D I	
	02	岩区分D II	
	03	岩区分D III	

施工単価コード S6717

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01		40m2
	02		45m2
	03		50m2
	04		55m2
	05		60m2
	06		65m2
	07		70m2
	08		75m2
	09		80m2
	10		85m2
	11		90m2
	12		95m2
	13		100m2
	14		105m2
	15		110m2

C=1～ 4は、A=1のとき入力可能。
C=9～15は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	ずり出し運搬距離
	01		L=1.2km以下
	02		L=1.2km超え

条件名	E	条件名称	雷管 (2～5段 3.0m脚線) の単価 (円/個)
	実数		

条件名	F	条件名称	雷管 (6～10段 3.0m脚線) の単価 (円/個)
	実数		

条件名	G	条件名称	ロックボルト 1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

施工単価コード S6717

条件名	H	条件名称	先受けロックボルトの有無
	01	先受けロックボルト	無
	02	先受けロックボルト	有

H条件は、B=3のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	先受けロックボルトの規格
	01	SD345	D16～25
	02	各種	

I条件は、H=2のとき入力可能。

条件名	J	条件名称	先受けロックボルト1m当りの増減本数
	実数	条件省略値:0	

J条件は、H=2のとき入力可能。

条件名	K	条件名称	先受けロックボルト単価 (円/本)
	実数		

K条件は、I=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	L	条件名称	注入急結剤 1m当りの本数(使用の場合入力)
	実数	条件省略値:0	

条件名	M	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
	実数		

M条件は、L>0のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	N	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
	実数		

N条件は、B=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	O	条件名称	労務費調整係数
	実数	条件省略値:1.063	

条件名	P	条件名称	所定労働時間外の超過時間 (時間外) (h)
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6717

条件名	Q	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間 (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	R	条件名称	切羽監視責任者の有無
01	切羽監視責任者 無		
02	切羽監視責任者 有		

条件名	S	条件名称	鏡吹付工施工の有無
01	鏡吹付工施工 無		
02	鏡吹付工施工 有		

条件名	T	条件名称	含水爆薬 (スラリー) 単価 (円/kg)
実数			

条件名	U	条件名称	吹付プラント設備
01	一括練混ぜ		
02	分割練混ぜ		

施工単価コード S6718

施工単価名称	N A T M下半掘削等（発破工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～0

出力名称	N A T M下半掘削等	
規格名称1	発破上半先進ベンチカット工法	
規格名称2	（岩区分）	

適用条件

トンネル工（N A T M）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上130m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては、下記事項に留意し実施するものとする。

①施工歩掛における通常断面と大断面の適用区分については、下表による。

歩掛区分	適用範囲
通常断面	技術基準における通常断面の支保構造のトンネルの場合
大断面	技術基準における大断面の支保構造のトンネルの場合

（注）技術基準とは、「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）」をいう。

- ②非常駐車帯部及び坑口部にも適用できる。
- ③掘削工法は、発破工法に適用する。
- ④発破工法は、普通一般地質における上半先進ベンチカット工法に適用する。
- ⑤隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用出来ない場合は、別途考慮する。
- ⑥片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積50m²未満又は130m²を超えるものは、別途考慮する。
- ⑦坑口部等で本資料により難しい場合は、別途考慮する。
- ⑧トンネル形状については、「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）」等を準拠する。

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	岩区分
	01	岩区分D I	
	02	岩区分D II	
	03	岩区分D III	

施工単価コード S6718

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01		10m2
	02		15m2
	03		20m2
	04		25m2
	05		30m2
	06		35m2
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2

C=7～9は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	雷管 (2～5段 3.0m脚線) の単価 (円/個)
	実数		

条件名	E	条件名称	ロックボルト 1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

条件名	F	条件名称	注入急結剤 1m当りの本数(使用の場合入力)
	実数		条件省略値:0

条件名	G	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
	実数		

G条件は、F>0のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	H	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
	実数		

H条件は、B=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	労務費調整係数
	実数		条件省略値:1.063

施工単価コード S6718

条件名	J	条件名称	所定労働時間外の超過時間（時間外）(h)
実数	条件省略値:0		

条件名	K	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間（h）
実数	条件省略値:0		

条件名	L	条件名称	切羽監視責任者の有無
01	切羽監視責任者 無		
02	切羽監視責任者 有		

条件名	M	条件名称	鏡吹付工施工の有無
01	鏡吹付工施工 無		
02	鏡吹付工施工 有		

条件名	N	条件名称	含水爆薬（スラリー）単価（円/kg）
実数			

条件名	0	条件名称	吹付プラント設備
01	一括練混ぜ		
02	分割練混ぜ		

施工単価コード S6773

施工単価名称	火薬（発破工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～G
出力名称	火薬（発破工法）						
規格名称1	（加背区分）						
規格名称2	（岩区分）						
適用条件	火薬は、含水爆薬（スラリー200g）を使用する。						

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	加背区分
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法（上半）	
	03	上半先進ベンチカット工法（下半）	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

C=1, 2は、B=1のとき入力可能。
C=3～5は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	雷管（2～5段 3.0m脚線付）単価（円／個）
	実数		

施工単価コード S6773

条件名	E	条件名称	雷管 (6~10段 3.0m脚線付) 単価 (円/個)
実数			

E条件は、B=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01		10m2
	02		15m2
	03		20m2
	04		25m2
	05		30m2
	06		35m2
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2
	22		115m2
	23		120m2
	24		125m2
	25		130m2

F= 1~6は、B=3のとき入力可能。
 F= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 F= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 F=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
 F=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。

施工単価コード	S6773
---------	-------

F=13, 14は、B=1, 2とき入力可能。
F=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
F=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
F=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	含水爆薬（スラリー）単価（円/kg）
	実数		

施工単価コード S6772

施工単価名称	ずり出し工(ダンプトラック運転)		発破工法				
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~F

出力名称	ずり出し工(ダンプトラック運転)		発破工法	
規格名称1	(掘削工法)			
規格名称2	(岩区分)			

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	掘削工法
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法 (上半)	
	03	上半先進ベンチカット工法 (下半)	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

C=1, 2は、B=1のとき入力可能。
C=3~5は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	タイヤ損耗費
	01	良好	
	02	普通	
	03	不良	

施工単価コード S6772

条件名	E	条件名称	ずり出し運搬距離
01		$L \leq 0.5\text{km}$	
02		$0.5 < L \leq 1.2\text{km}$ $1.2 < L \leq 1.4\text{km}$	
03		$1.4 < L \leq 2.2\text{km}$	
04		$2.2 < L \leq 3.0\text{km}$	

条件名	F	条件名称	設計掘削断面積 (m ²)
01		10m ²	
02		15m ²	
03		20m ²	
04		25m ²	
05		30m ²	
06		35m ²	
07		40m ²	
08		45m ²	
09		50m ²	
10		55m ²	
11		60m ²	
12		65m ²	
13		70m ²	
14		75m ²	
15		80m ²	
16		85m ²	
17		90m ²	
18		95m ²	
19		100m ²	
20		105m ²	
21		110m ²	
22		115m ²	
23		120m ²	
24		125m ²	
25		130m ²	

施工単価コード	S6772
---------	-------

F= 1～6は、B=3のとき入力可能。
F= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
F= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
F=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
F=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。
F=13, 14は、B=1, 2のとき入力可能。
F=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
F=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
F=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

施工単価コード S6774

施工単価名称	吹付コンクリート (発破工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~D

出力名称	吹付コンクリート (発破工法)					
規格名称1	(掘削工法)					
規格名称2	(岩区分)					

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	掘削工法
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法 (上半)	
	03	上半先進ベンチカット工法 (下半)	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

C=1, 2は、B=1のとき入力可能。
C=3~5は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01	10m2	
	02	15m2	
	03	20m2	
	04	25m2	
	05	30m2	
	06	35m2	

施工単価コード S6774

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2
	22		115m2
	23		120m2
	24		125m2
	25		130m2

D= 1～6は、B=3のとき入力可能。
 D= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 D= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 D=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
 D=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。
 D=13, 14は、B=1, 2のとき入力可能。
 D=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 D=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 D=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

施工単価コード S6771

施工単価名称	集塵機運転（発破工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～G

出力名称	集塵機運転（発破工法）	
規格名称1	（掘削工法）	
規格名称2	（岩区分）	

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	掘削工法
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法（上半）	
	03	上半先進ベンチカット工法（下半）	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

C=1, 2は、B=1のとき入力可能。
C=3～5は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	機械規格
	01	；フィルタ式 500m3/min級	
	02	；フィルタ式 1200m3/min級	
	03	；フィルタ式 1800m3/min級	
	04	；フィルタ式 2400m3/min級	
	05	；電気式 2000m3/min級	
	06	；電気式 2400m3/min級	

施工単価コード S6771

条件名	D	条件名称	機械規格
	07	; その他	

条件名	E	条件名称	運転1日当り電力消費量 (kWh)
	実数	条件省略値:0	

条件名	F	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01		10m2
	02		15m2
	03		20m2
	04		25m2
	05		30m2
	06		35m2
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2
	22		115m2
	23		120m2
	24		125m2
	25		130m2

施工単価コード S6771

F= 1～6は、B=3のとき入力可能。
 F= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 F= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 F=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
 F=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。
 F=13, 14は、B=1, 2のとき入力可能。
 F=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 F=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 F=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	その他規格損料 (円/日)
	実数		

G条件は、D=7のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6775

施工単価名称	ロックボルト (発破工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~K

出力名称	ロックボルト (発破工法)					
規格名称 1						
規格名称 2						

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	加背区分
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法(上半)	
	03	上半先進ベンチカット工法(下半)	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

C=1, 2は、B=1のとき入力可能。
C=3~5は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01	10m2	
	02	15m2	
	03	20m2	
	04	25m2	
	05	30m2	
	06	35m2	

施工単価コード S6775

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2
	22		115m2
	23		120m2
	24		125m2
	25		130m2

D= 1～6は、B=3のとき入力可能。
D= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
D= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
D=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
D=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。
D=13, 14は、B=1, 2のとき入力可能。
D=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
D=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
D=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	ロックボルト 1 m当りの増減本数
	実数	条件省略値:0	

条件名	F	条件名称	先受けロックボルトの有無
	01	先受けロックボルト	無
	02	先受けロックボルト	有

F条件は、B=2、C=5のとき入力可能。

施工単価コード S6775

条件名	G	条件名称	先受けロックボルトの規格
	01	SD345 D16～25	
	02	各種	

G条件は、F=2のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	先受けロックボルト1m当りの増減本数
	実数	条件省略値:0	

H条件は、F=2のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	先受けロックボルト単価 (円/本)
	実数		

I条件は、G=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	注入急結剤 1 m当りの本数(使用の場合入力)
	実数	条件省略値:0	

条件名	K	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
	実数		

K条件は、J>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6776

施工単価名称	H型鋼支保工 (発破工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~E

出力名称	H型鋼支保工 (発破工法)					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	加背区分
	01	補助ベンチ付全断面工法	
	02	上半先進ベンチカット工法(上半)	
	03	上半先進ベンチカット工法(下半)	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C II	
	02	岩区分D I	
	03	岩区分D II	
	04	岩区分D III	

C=1は、B=1のとき入力可能。
C=2~4は、B=2, 3のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01	10m2	
	02	15m2	
	03	20m2	
	04	25m2	
	05	30m2	
	06	35m2	
	07	40m2	

施工単価コード S6776

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2
	22		115m2
	23		120m2
	24		125m2
	25		130m2

D= 1～6は、B=3のとき入力可能。
 D= 7, 8は、A=1、B=2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 D= 9は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=3のとき入力可能。
 D=10は、A=1、B=1, 2のとき入力可能。
 D=11, 12は、A=1、B=1, 2 又は A=2、B=2のとき入力可能。
 D=13, 14は、B=1, 2のとき入力可能。
 D=15～18は、A=1、B=1 又は A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 D=19～21は、A=2、B=1, 2のとき入力可能。
 D=22～25は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
	実数		

E条件は、A=1、C=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6731

施工単価名称	N A T M上半掘削 (機械掘削工法)						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A～R

出力名称	N A T M上半掘削工					
規格名称1	機械掘削工法					
規格名称2	(岩区分)					
適用条件	トンネル工 (N A T M) における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m ² 以上130m ² 以下のトンネルのN A T M機械掘削ショートベンチ上半掘削に適用する。					

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m ²)
	01	40m ²	
	02	45m ²	
	03	50m ²	
	04	55m ²	
	05	60m ²	
	06	65m ²	
	07	70m ²	
	08	75m ²	
	09	80m ²	

施工単価コード S6731

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	10		85m2
	11		90m2
	12		95m2
	13		100m2
	14		105m2
	15		110m2

C=1～ 4は、A=1のとき入力可能。

C=9～15は、A=2のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	ずり出し運搬距離
	01		L=1.7km以下
	02		L=1.7km超え

条件名	E	条件名称	ロックボルト 1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

条件名	F	条件名称	先受けロックボルトの有無
	01		先受けロックボルト 無
	02		先受けロックボルト 有

F条件は、B=5のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	先受けロックボルトの規格
	01		SD345 D16～25
	02		各種

G条件は、F=2のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	先受けロックボルト1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

H条件は、F=2のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	先受けロックボルト単価 (円/本)
	実数		

I条件は、G=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6731

条件名	J	条件名称	注入急結剤 1m当りの本数(使用の場合入力)
実数	条件省略値:0		

条件名	K	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
実数			

K条件は、J>0のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	L	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
実数			

L条件は、B=2,3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	M	条件名称	労務費調整係数
実数	条件省略値:1.063		

条件名	N	条件名称	所定労働時間外の超過時間 (時間外) (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	O	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間 (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	P	条件名称	切羽監視責任者の有無
01	切羽監視責任者 無		
02	切羽監視責任者 有		

条件名	Q	条件名称	鏡吹付工施工の有無
01	鏡吹付工施工 無		
02	鏡吹付工施工 有		

条件名	R	条件名称	吹付プラント設備
01	一括練混ぜ		
02	分割練混ぜ		

施工単価コード S6736

施工単価名称	N A T M下半掘削 (機械掘削工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~0

出力名称	N A T M下半掘削					
規格名称1	機械掘削工法					
規格名称2	(岩区分)					
適用条件	N A T M機械掘削ショートベンチ下半掘削に適用する。					

条件名	A	条件名称	支保構造区分
01	通常断面		
02	大断面		

条件名	B	条件名称	岩区分
01	岩区分C I		
02	岩区分C II		
03	岩区分D I		
04	岩区分D II		
05	岩区分D III		

条件名	C	条件名称	設計掘削断面積(m2)
01	10m2		
02	15m2		
03	20m2		
04	25m2		
05	30m2		
06	35m2		
07	40m2		
08	45m2		
09	50m2		

C=7~9は、A=2のとき入力可能。

施工単価コード S6736

条件名	D	条件名称	上半設計掘削断面積 (m2)
	01		40m2
	02		45m2
	03		50m2
	04		55m2
	05		60m2
	06		65m2
	07		70m2
	08		75m2
	09		80m2
	10		85m2
	11		90m2
	12		95m2
	13		100m2
	14		105m2
	15		110m2

D=1～4は、A=1のとき入力可能。
D=9～15は、A=2のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	ロックボルト打設及びドリルジヤホ`運転の有無
	01		ロックボルト打設及びドリルジヤホ`運転 無し
	02		ロックボルト打設及びドリルジヤホ`運転 有り

E=1は、B=1のとき入力可能。

条件名	F	条件名称	ロックボルト1m当りの増減本数
	実数		条件省略値:0

F条件は、E=2のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	注入急結剤1m当りの本数(使用の場合入力)
	実数		条件省略値:0

G条件は、E=2のとき入力可能。

条件名	H	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
	実数		

H条件は、G>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6736

条件名	I	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
実数			

I条件は、A=1、B=3のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	労務費調整係数
実数	条件省略値:1.063		

条件名	K	条件名称	所定労働時間外の超過時間 (時間外) (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	L	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間 (h)
実数	条件省略値:0		

条件名	M	条件名称	切羽監視責任者の有無
01	切羽監視責任者 無		
02	切羽監視責任者 有		

条件名	N	条件名称	鏡吹付工施工の有無
01	鏡吹付工施工 無		
02	鏡吹付工施工 有		

N条件は、B=3～5のとき入力可能。

条件名	0	条件名称	吹付プラント設備
01	一括練混ぜ		
02	分割練混ぜ		

施工単価コード S6732

施工単価名称	吹付コンクリート (機械掘削工法)						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A~D

出力名称	吹付コンクリート (機械掘削工法)	
規格名称1	(加背区分)	
規格名称2	(岩区分)	
適用条件	トンネル工 (NATM) における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m ² 以上130m ² 以下のトンネルの機械掘削工法 (自由断面掘削機) に適用する。	

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	加背区分
	01	上半	
	02	下半	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m ²)
	01	10m ²	
	02	15m ²	
	03	20m ²	
	04	25m ²	
	05	30m ²	

施工単価コード S6732

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	06		35m2
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2

D= 1～ 6は、B=2のとき入力可能。
D= 7～ 9は、A=1、B=1 又は A=2、B=2のとき入力可能。
D=10は、A=1、B=1のとき入力可能。
D=11～14は、B=1のとき入力可能。
D=15～21は、A=2、B=1のとき入力可能。

施工単価コード S6777

施工単価名称	集塵機運転（機械掘削工法）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～G

出力名称	集塵機運転（機械掘削工法）					
規格名称1	（岩区分）		（加背区分）			
規格名称2						

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

条件名	C	条件名称	加背区分
	01	上半	
	02	下半	

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積（m2）
	01	10m2	
	02	15m2	
	03	20m2	
	04	25m2	
	05	30m2	
	06	35m2	
	07	40m2	
	08	45m2	

施工単価コード S6777

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2

D= 1～ 6は、C=2のとき入力可能。
D= 7～ 9は、A=1、C=1 又は A=2、C=2のとき入力可能。
D=10は、A=1、C=1のとき入力可能。
D=11～14は、C=1のとき入力可能。
D=15～21は、A=2、C=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	集塵機の規格
	01		; フィルタ式 500m3/min級
	02		; フィルタ式 1200m3/min級
	03		; フィルタ式 1800m3/min級
	04		; フィルタ式 2400m3/min級
	05		; 電気式 2000m3/min級
	06		; 電気式 2400m3/min級
	07		; その他

条件名	F	条件名称	集塵機の運転1日当り電力消費量 (kWh)
	実数		

条件名	G	条件名称	その他規格損料 (円/日)
	実数		

G条件は、E=7のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6733

施工単価名称	ロックボルト (機械掘削工法)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~K

出力名称	ロックボルト (機械掘削工法)					
規格名称 1						
規格名称 2	(加背区分) (岩区分)					
適用条件	トンネル工 (NATM) における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m ² 以上130m ² 以下のトンネルの機械掘削工法 (自由断面掘削機) に適用する。					

条件名	A	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	B	条件名称	加背区分
	01	上半	
	02	下半	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分C I	
	02	岩区分C II	
	03	岩区分D I	
	04	岩区分D II	
	05	岩区分D III	

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m ²)
	01	10m ²	
	02	15m ²	
	03	20m ²	
	04	25m ²	
	05	30m ²	

施工単価コード S6733

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	06		35m2
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2

D= 1～ 6は、B=2のとき入力可能。
D= 7～ 9は、A=1、B=1 又は A=2、B=2のとき入力可能。
D=10は、A=1、B=1のとき入力可能。
D=11～14は、B=1のとき入力可能。
D=15～21は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	ロックボルト 1m当りの増減本数
		実数	条件省略値:0

条件名	F	条件名称	先受けロックボルトの有無
	01		先受けロックボルト 無
	02		先受けロックボルト 有

F条件は、B=1、C=5のとき入力可能。

条件名	G	条件名称	先受けロックボルトの規格
	01		SD345 D16～25
	02		各種

G条件は、F=2のとき入力可能。

施工単価コード S6733

条件名	H	条件名称	先受けロックボルト1m当りの増減本数
実数	条件省略値:0		

H条件は、F=2のとき入力可能。

条件名	I	条件名称	先受けロックボルト単価 (円/本)
実数			

I条件は、G=2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	J	条件名称	注入急結剤 1m当りの本数(使用の場合入力)
実数	条件省略値:0		

条件名	K	条件名称	注入急結剤単価 (円/本)
実数			

K条件は、J>0のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6735

施工単価名称	H型鋼支保工		(機械掘削工法)				
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A~E

出力名称	H型鋼支保工 (機械掘削工法)					
規格名称1						
規格名称2	(加背区分)		(岩区分)			
適用条件	機械掘削工法 (自由断面掘削機) に適用する。					

条件名	A	条件名称	支保構造区分
01	通常断面		
02	大断面		

条件名	B	条件名称	加背区分
01	上半		
02	下半		

条件名	C	条件名称	岩区分
01	岩区分C II		
02	岩区分D I		
03	岩区分D II		
04	岩区分D III		

C=1は、B=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
01	10m2		
02	15m2		
03	20m2		
04	25m2		
05	30m2		
06	35m2		

施工単価コード S6735

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	07		40m2
	08		45m2
	09		50m2
	10		55m2
	11		60m2
	12		65m2
	13		70m2
	14		75m2
	15		80m2
	16		85m2
	17		90m2
	18		95m2
	19		100m2
	20		105m2
	21		110m2

D= 1～ 6は、B=2のとき入力可能。
D= 7～ 9は、A=1、B=1 又は A=2、B=2のとき入力可能。
D=10は、A=1、B=1のとき入力可能。
D=11～14は、B=1のとき入力可能。
D=15～21は、A=2、B=1のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	H形鋼支保工(SS400 H-125)単価 (円/kg)
	実数		

E条件は、A=1、C=1,2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6741

施工単価名称	インバート掘削 (NATM)						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A

出力名称	インバート掘削					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						
適用条件	NATMインバート掘削工に適用する。					

条件名	A	条件名称	供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6745

施工単価名称	インバートずり出し工 (NATM)						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A~B

出力名称	インバートずり出し工	
規格名称1	トンネル	
規格名称2		

適用条件
<p>【ずり出し方式】 直送方式の場合はすべて坑内作業とし、積替方式の場合は一次運搬（坑内～積替場所）は直送方式に準じ、二次運搬（積替場所～捨場等）は一般運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、片道2.5km程度（運搬距離）が標準である。</p>

条件名	A	条件名称	タイヤ損耗
	01	良好	
	02	普通	
	03	不良	

条件名	B	条件名称	ダンプトラックの供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6748

施工単価名称	インバート型枠製作工 (NATM)					
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件
出力名称	型枠製作工 (インバート工)					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						
適用条件	NATMインバート型枠工に適用する。					

施工単価コード S6749

施工単価名称	インバート型枠設置撤去工 (NATM)					
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件
出力名称	型枠設置撤去 (インバート工)					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						
適用条件	NATMインバート型枠工に適用する。					

施工単価コード S6743

施工単価名称	インバートコンクリート工（打設・養生）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A～B

出力名称	インバートコンクリート工（打設・養生）					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ポンプ車の供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01	生コン小型車割増なし		
02	生コン小型車割増あり		

施工単価コード S6744

施工単価名称	インバート敷均し・締固め (NATM)						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A~B

出力名称	インバート敷均し締固め					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						
適用条件	NATMインバート敷均し、締固め工に適用する。					

条件名	A	条件名称	バックホウの供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

条件名	B	条件名称	振動ローラの種類
01	トンネル工事対応の振動ローラを使用		
02	通常の振動ローラを使用		

施工単価コード S6750

施工単価名称	埋戻材の積込作業						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A~B

出力名称	埋戻材の積込作業	
規格名称1	トンネル	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	岩石区分
	01	土砂	
	02	軟岩〔Ⅰ〕	
	03	軟岩〔Ⅱ〕	
	04	中硬岩	
	05	硬岩〔Ⅰ〕	

条件名	B	条件名称	バックホウの供用日当り運転時間 t
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6754

施工単価名称	N A T M防水工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~F

出力名称	N A T M防水工					
規格名称 1	(掘削工法)					
規格名称 2						
適用条件	トンネル (N A T M) の防水工に適用する。					

条件名	A	条件名称	掘削工法
01	発破工法		
02	機械掘削工法		

条件名	B	条件名称	支保構造区分
01	通常断面		
02	大断面		

条件名	C	条件名称	岩区分
01	岩区分 C I		
02	岩区分 C II		
03	岩区分 D I		
04	岩区分 D II		
05	岩区分 D III		

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
01	50m2		
02	55m2		
03	60m2		
04	65m2		
05	70m2		
06	75m2		

施工単価コード S6754

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	07		80m2
	08		85m2
	09		90m2
	10		95m2
	11		100m2
	12		105m2
	13		110m2
	14		115m2
	15		120m2
	16		125m2
	17		130m2

D= 1～ 4は、B=1のとき入力可能。
D=11～13は、B=2のとき入力可能。
D=14～17は、B=2、C=1～4のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	内空断面の上半周長 (m)
	実数		

条件名	F	条件名称	防水工作業台車損料対象長 (m)
	実数		

施工単価コード S6755

施工単価名称	N A T M覆工コンクリート工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A~F

出力名称	N A T M覆工コンクリート工					
規格名称 1	(掘削工法)					
規格名称 2						
適用条件	覆工コンクリートの配合は、現場で試験施工を行って現場配合を決定する。					

条件名	A	条件名称	掘削工法
	01	発破工法	
	02	機械掘削工法	

条件名	B	条件名称	支保構造区分
	01	通常断面	
	02	大断面	

条件名	C	条件名称	岩区分
	01	岩区分 C I	
	02	岩区分 C II	
	03	岩区分 D I	
	04	岩区分 D II	
	05	岩区分 D III	

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	01	50m2	
	02	55m2	
	03	60m2	
	04	65m2	
	05	70m2	

施工単価コード S6755

条件名	D	条件名称	設計掘削断面積 (m2)
	06		75m2
	07		80m2
	08		85m2
	09		90m2
	10		95m2
	11		100m2
	12		105m2
	13		110m2
	14		115m2
	15		120m2
	16		125m2
	17		130m2

D= 1～ 4は、B=1のとき入力可能。
D=11～13は、B=2のとき入力可能。
D=14～17は、B=2、C=1～4のとき入力可能。

条件名	E	条件名称	防水シート単価 (円/m2)
	実数		

条件名	F	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01		生コン小型車割増なし
	02		生コン小型車割増あり

施工単価コード S6757

施工単価名称	N A T M全断面スライドセントル						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m	条件	A～F

出力名称	N A T M全断面スライドセントル					
規格名称1	移動・据付・脱型					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	掘削工法
	01	発破工法	
	02	機械掘削工法	

条件名	B	条件名称	内空形状
	01	標準（五心円）	
	02	各種	

条件名	C	条件名称	スライドセントルの規格
	01	本坑用	
	02	非常駐車帯用	

条件名	D	条件名称	内空断面の上半周長（m）
	実数		

D条件は、B=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	スライドセントル損料対象長（m）
	実数		

E条件は、B=1のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	スライドセントル損料（円/m・現場）
	実数		

F条件は、B=2のとき入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S6760

施工単価名称	吹付プラント設備組立・解体						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A~B

出力名称	吹付プラント設備組立・解体	
規格名称1	N A T M	
規格名称2		
適用条件	トンネル(N A T M)の吹付プラント設備組立解体に適用する。	

条件名	A	条件名称	作業内容
	01	組立	
	02	解体	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーンの賃料補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6761

施工単価名称	スライドセントル組立・解体						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A~B

出力名称	スライドセントル組立・解体					
規格名称1	N A T M					
規格名称2						
適用条件	トンネル(N A T M)のスライドセントル組立解体に適用する。					

条件名	A	条件名称	作業内容
	01	組立	
	02	解体	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーンの賃料補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6762

施工単価名称	防水工作業台車組立・解体						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A～B

出力名称	防水工作業台車組立・解体	
規格名称1	N A T M	
規格名称2		
適用条件	<p>移動用レール及び鋼矢板の設置・撤去は、スライドセントルの組立・解体歩掛に含む。</p>	

条件名	A	条件名称	作業内容
	01	組立	
	02	解体	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーンの賃料補正
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6764

施工単価名称	仮設備保守費						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇月	条件	A～D

出力名称	仮設備保守費					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	トンネル（NATM）の仮設備保守に適用する。					

条件名	A	条件名称	作業工程
	01	仮設備保守費（掘削作業～支保工作業）	
	02	仮設備保守費（支保工作業後）	

条件名	B	条件名称	労務費調整係数
実数	条件省略値:1.063		

条件名	C	条件名称	所定労働時間外の超過時間（時間外）(h)
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	所定労働時間内の20～6時にかかる時間（h）
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6768

施工単価名称	軸流ファン運転						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	日	条件	A

出力名称	軸流ファン運転					
規格名称1	(軸流ファンの規格)					
規格名称2						
適用条件	<p>トンネル (NATM) の送風機運転に適用する。</p> <p>*補足説明*</p> <ol style="list-style-type: none"> 換気設備は切羽が杭口より30m掘進した時より貫通するまでの期間、設置するものとする。 所要換気量は建設労働災害防止協会『ずい道工事等における換気』に準ずるものとする。 風管は不燃性ビニール風管を標準とする。 					

条件名	A	条件名称	軸流ファンの規格
01			; 反転軸流式150m ³ /分
02			; 反転軸流式400m ³ /分
03			; 反転軸流式500m ³ /分

施工単価コード S6769

施工単価名称	給水設備運転						
実査区分	共通	単位数	1	単位	日	条件	A

出力名称	給水設備運転					
規格名称1	N A T M					
規格名称2						
適用条件	<p>1. トンネル (N A T M) の給水設備運転に適用する。 2. 給水設備は、水槽、釜場等の設備、解体及びポンプの運転経費を含む。 3. 設置期間は掘削期間とする。</p>					

条件名	A	条件名称	日当り運転時間
実数	条件省略値:17		

施工単価コード S6770

施工単価名称	排水設備運転						
実査区分	共通	単位数	1	単位	日	条件	A

出力名称	排水設備運転					
規格名称1	N A T M					
規格名称2						
適用条件	<p>1. トンネル (N A T M) の排水設備運転に適用する。 2. 排水設備は、縦断勾配が0.3%以下、又は逆勾配の場合等でポンプ排水を必要とする場合に設置する。</p>					

条件名	A	条件名称	日当り運転時間
実数			

施工単価コード S6756

施工単価名称	濁水処理設備・設置撤去						
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件	A~B

出力名称	濁水処理工（トンネル）					
規格名称1	（作業区分）					
規格名称2						
適用条件	トンネルの濁水処理工に適用する。					

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置	
	02	撤去	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6765

施工単価名称	泥土運搬						
実査区分	共通	単位数	1	単位	回	条件	A～C

出力名称	泥土運搬					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回実施を標準とする。</p> <p>2. 泥土の残土受入れ地等までの運搬のみであり、残土受入れ地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。</p>					

条件名	A	条件名称	D I D 区間			
	01	D I D 区間 無				
	02	D I D 区間 有				

条件名	B	条件名称	運搬距離 (km)			
	実数					

運搬距離は60km以下。
運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。

条件名	C	条件名称	タイヤ損耗			
	01	良好				
	02	普通				
	03	不良				

施工単価コード S6766

施工単価名称	濁水処理設備運転						
実査区分	共通	単位数	1	単位	日	条件	A

出力名称	濁水処理設備運転					
規格名称1	トンネル					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	処理能力
01		処理能力	30m ³ /h
02		処理能力	60m ³ /h

橋 梁 工

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
道路編 橋梁工				
				IV-7
== IV-7-① =====				
== 鋼橋製作工				
橋梁製作費	S9541	式		IV-7- 1
橋梁製作費 (付属物)	S9542	式		IV-7- 4
橋梁製作費 (横断歩道橋)	S9543	式		IV-7- 7
橋梁用鋼材費 (2)	S9803	kg		IV-7- 9
鋼材費 (3)	S9804	kg		IV-7- 12
副資材費	S9544	t		IV-7- 14
== IV-7-② =====				
== 橋梁塗装工 (工場塗装及び塗装前処理)				
塗装前処理 (二次素地調整)	S9613	m2		IV-7- 15
塗装前処理 (原板ブラスト及びプライマー)	S9614	m2		IV-7- 16
工場塗装	S9611	m2		IV-7- 17
橋梁塗装工 (新橋・工場塗装)	S9612	m2		IV-7- 18
== IV-7-③ =====				
== 鋼橋架設工				
金属支承据付工	S6128	基		IV-7- 19
支承モルタル	S7898	m3		IV-7- 20
ゴム支承据付工	S6129	基		IV-7- 21
地組工	S6127	t		IV-7- 22
架設工 (鈹桁・箱桁・少数I桁・細幅箱桁・ラーメン)	S6124	t		IV-7- 23
架設工 (トラス、アーチ、ランガー)	S6125	t		IV-7- 25
本締工	S6132	本		IV-7- 26
落橋防止装置取付工	S6134	組		IV-7- 27
ケーブルクレーン設備据付・解体	S6121	式		IV-7- 28
ケーブルクレーン設備	S6113	供用日		IV-7- 29
ケーブルエレクション設備据付・解体	S6122	式		IV-7- 31
鉄塔設備	S6112	供用日		IV-7- 32
ベント設備 (設置・撤去+損料)	S6126	式		IV-7- 33
ベント設備設置・撤去	S6123	t		IV-7- 34

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
ベント設備	S6110	t		IV-7- 35
ベント基礎設置・撤去	S6133	m2		IV-7- 36
ベント基礎	S6111	t		IV-7- 37
架設工具	S5430	供用日		IV-7- 38
合成床版架設工	S6114	m2		IV-7- 39
発動発電機運転（鋼橋架設工） 20/25kVA	S7895	供用日		IV-7- 40
発動発電機運転（鋼橋架設工） 100/125kVA	S7896	供用日		IV-7- 41
仮締ボルト、ドリフトピン	S5431	供用日		IV-7- 42
== IV-7-④ ==				
== プレビーム桁架設工				
架設工（トラッククレーンによる架設）	S5621	t		IV-7- 43
架設工（架設桁による架設）	S5622	t		IV-7- 44
架設機械器具経費（架設桁による架設）	S5620	式		IV-7- 46
地組工	S5627	t		IV-7- 48
本締め工	S5628	本		IV-7- 50
横桁取付工	S5625	箇所		IV-7- 51
局部プレストレス工	S5626	径間		IV-7- 52
== IV-7-⑤ ==				
== 鋼橋床版工				
型枠（鋼橋床版）	SP4068	m2		IV-7- 53
養生（鋼橋床版）	SP4069	m2		IV-7- 54
== IV-7-⑦ ==				
== ポストテンション桁製作工				
ポストテンション桁製作工	S7749	本		IV-7- 55
機械器具損料	S7761	工事		IV-7- 57
== IV-7-⑧ ==				
== プレキャストセグメント主桁組立工				
プレキャストセグメント主桁組立工	S7266	本		IV-7- 58
機械損料（プレキャストセグメント）	S7267	式		IV-7- 60

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
== IV-7-⑨ ==				
== PC橋架設工				
トラッククレーンによる架設（橋梁下）	S6001	本		IV-7- 62
トラッククレーンによる架設（橋台背面）	S6002	本		IV-7- 64
重量台車による小運搬	S6003	本		IV-7- 66
PC桁架設（架設桁による架設）	S6005	式		IV-7- 67
主桁架設（架設桁による架設）	S6006	本		IV-7- 69
架設機械据付・解体（架設桁による架設）	S6007	回		IV-7- 70
架設機械移動（架設桁による架設）	S6008	回		IV-7- 71
軌道設置・撤去（架設桁による架設）	S6009	m		IV-7- 72
アンカー工（架設桁による架設）	S6011	箇所		IV-7- 73
架設機械器具経費（架設桁による架設）	S6010	式		IV-7- 74
鉄筋加工・組立（間詰床版及び横桁）	S6023	kg		IV-7- 76
横組コンクリート工	S6025	m ³		IV-7- 77
PC工ケーブル	S6044	m		IV-7- 78
緊張工	S6075	ケーブル		IV-7- 79
機械器具損料（横組工・支承工）	S6055	式		IV-7- 80
桁下足場工	S6032	式		IV-7- 81
側部足場工（スラブ桁橋）	S6038	m		IV-7- 82
橋台・橋脚回り足場ブラケット工	S6030	m		IV-7- 83
板張防護工（PC桁橋）	S6039	式		IV-7- 84
ネット防護工（PC桁橋）	S6031	m ²		IV-7- 85
ゴム支承 Aタイプ（プレテンション床版橋用）据付	S6040	m		IV-7- 86
ゴム支承 Aタイプ（パッドタイプ）据付	S6041	個		IV-7- 87
ゴム支承 Bタイプ据付	S6042	個		IV-7- 88
落橋防止装置据付	S6045	組		IV-7- 89
PC板支承工両側	S6092	m		IV-7- 90
PC板仮置工	S6093	枚		IV-7- 91
PC板敷設工	S6094	枚		IV-7- 92
継目工	S6095	m		IV-7- 93
型枠工（PCコンポ床版工）	S6096	m ²		IV-7- 94

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
== IV-7-⑩ =====				
== PC橋片持架設工				
支保設置・撤去工	S6141	空m3		IV-7- 95
支保設置・撤去工	S6142	t		IV-7- 96
金属支承据付工	S6143	個		IV-7- 97
現場塗装工	S6144	t		IV-7- 98
柱頭部仮支承工	S6145	m3		IV-7- 99
PC鋼棒解放工	S6146	箇所		IV-7- 100
ゴム支承据付工	S6153	個		IV-7- 101
作業車据付・解体工	S6147	回		IV-7- 102
作業車移動据付工	S6148	回		IV-7- 103
作業車クライミング工	S6149	回		IV-7- 104
作業車引戻工	S6150	m		IV-7- 105
型枠製作、設置・撤去	S6151	m2		IV-7- 106
鉄筋加工・組立	S6152	t		IV-7- 107
コンクリートポンプ車打設	S6140	m3		IV-7- 108
PC鋼棒工	S6154	t		IV-7- 109
PC鋼棒継手工	S6155	箇所		IV-7- 110
PC鋼棒定着工	S6156	箇所		IV-7- 111
PC鋼棒緊張工	S6157	箇所		IV-7- 112
PCケーブル工	S6158	t		IV-7- 113
PCケーブル定着工	S6159	箇所		IV-7- 114
PCケーブル緊張工	S6160	箇所		IV-7- 115
柱頭部足場工	S6161	m2		IV-7- 116
橋側足場工	S6162	m		IV-7- 117
橋面手摺工	S6163	m		IV-7- 118
防護工	S6164	m2		IV-7- 119
== IV-7-⑪ =====				
== ポストテンション場所打ホロースラブ橋工				
コンクリート工	S7227	m3		IV-7- 120
鉄筋工（加工組立）	S7814	t		IV-7- 121
ケーブル工	S7277	m		IV-7- 122
緊張工	S7068	本		IV-7- 123

施工単価名称	コード	単位	改訂	ページ
接続工	S7224	組		IV-7- 124
落橋防止装置取付工	S7225	組		IV-7- 125
支承工	S7226	個		IV-7- 126
== IV-7-⑭ ==				
== 架設支保工				
床版橋架設くさび結合支保設置・撤去工	S3115	空m3		IV-7- 127
床版橋支柱支保設置・撤去工	S3118	空m3		IV-7- 129
床版橋支柱受台設置・撤去工	S3119	m		IV-7- 131
== IV-7-⑮ ==				
== 橋梁排水管設置工				
コンクリートアンカーボルト設置	SP4048	本		IV-7- 132
排水管設置	SP4042	m		IV-7- 133
== IV-7-⑲-1 ==				
== 橋台・橋脚工(1) (構造物単位)				
T形橋脚(橋台・橋脚工(1))	S7290	m3		IV-7- 134
圧送管組立・撤去費	S7291	m		IV-7- 137
壁式橋脚(橋台・橋脚工(1))	S7293	m3		IV-7- 138
逆T式橋台(橋台・橋脚工(1))	S7294	m3		IV-7- 141
== IV-7-⑲-2 ==				
== 橋台・橋脚工(2)				
橋台・橋脚コンクリート打設(橋台・橋脚工(2))	S7301	m3		IV-7- 145
== IV-7-⑳ ==				
== 橋梁検査路架設工				
アンカーボルト設置	S7283	本		IV-7- 147
検査路架設	S7284	m		IV-7- 148

施工単価コード S9541

施工単価名称	橋梁製作費						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A~T

出力名称	橋梁製作費					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>1. 各条件には、基準書記載の数値・計算値を入力すること。 2. 主桁の橋梁形式が箱桁の場合は「伸縮継手」「高欄」「防護柵」については、本コードでは主桁と同時に計上せず、S9542により別途計上すること。</p>					

条件名	A	条件名称	橋梁形式				
	01	標準					
	02	各種					

条件名	B	条件名称	本体の加工組立工数	[Y1]			
	実数						

基準参照 (小数3位四捨五入)

条件名	C	条件名称	本体の溶接工数	[Y2]			
	実数						

基準参照 (小数3位四捨五入)

条件名	D	条件名称	本体の仮組立工数	[Y3]			
	実数						

基準参照 (小数3位四捨五入)

条件名	E	条件名称	対傾構及び横構組立工数	[Y4]			
	実数						

基準参照 (小数3位四捨五入)

条件名	F	条件名称	570材相当品による影響割増	[K]			
	実数	条件省略値:0					

基準参照 (小数3位四捨五入)

施工単価コード S9541

条件名	G	条件名称	伸縮継手部加工鋼重 (t)	[D]
-----	---	------	-----------------	-------

実数

基準参照

条件名	H	条件名称	高欄部加工鋼重 (t)	[E]
-----	---	------	---------------	-------

実数

基準参照

条件名	I	条件名称	防護柵部加工鋼重 (t)	[F]
-----	---	------	----------------	-------

実数

基準参照

条件名	J	条件名称	検査路部加工鋼重 (t)	[G]
-----	---	------	----------------	-------

実数

基準参照

条件名	K	条件名称	伸縮継手部工数 (人 / t)	[d]
-----	---	------	-------------------	-------

実数

基準参照

条件名	L	条件名称	高欄部工数 (人 / t)	[e]
-----	---	------	-----------------	-------

実数

基準参照

条件名	M	条件名称	防護柵部工数 (人 / t)	[f]
-----	---	------	------------------	-------

実数

基準参照

条件名	N	条件名称	検査路部工数 (人 / t)	[g]
-----	---	------	------------------	-------

実数

基準参照

条件名	0	条件名称	重連による補正率	[α]
-----	---	------	----------	-------

実数

条件省略値:0

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

施工単価コード S9541

条件名	P	条件名称	斜橋・曲線橋による補正
	01	斜橋	
	02	曲線橋	
	03	補正なし	

条件名	Q	条件名称	斜橋・曲線橋による補正率 [β]
実数	条件省略値:0		

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

条件名	R	条件名称	桁高変化による補正率 [γ]
実数	条件省略値:0		

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

条件名	S	条件名称	平均支間長による補正率 [δ]
実数	条件省略値:0		

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

条件名	T	条件名称	全体工数 [Y]
実数			

施工単価コード S9542

施工単価名称	橋梁製作費（付属物）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A~0

出力名称	橋梁製作費（付属物）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	各条件には、基準書記載の数値・計算値を入力すること。					

条件名	A	条件名称	伸縮継手の加工鋼重（t） [D]				
実数							

基準参照

条件名	B	条件名称	高欄の加工鋼重（t） [E]				
実数							

基準参照

条件名	C	条件名称	橋梁用防護柵の加工鋼重（t） [F]				
実数							

基準参照

条件名	D	条件名称	検査路の加工鋼重（t） [G]				
実数							

基準参照

条件名	E	条件名称	伸縮継手の工数				
	01	フィンガー形式					
	02	車道フィンガー 歩道重ね合わせ					
	03	各種					

A>0のとき、E条件は選択可能。

条件名	F	条件名称	伸縮継手の工数（人／t） [d]				
実数							

基準参照

施工単価コード S9542

E=3のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	高欄の工数
	01	主要横梁, 下段横梁, 支柱とも角材鋼管を主体	
	02	主要横梁, 下段横梁はパイプ, 支柱は角材鋼管	
	03	主要横梁, 下段横梁はパイプ, 支柱は鋼板加工	
	04	縦さんにフラットバーを用いたもの	
	05	各種	

B>0のとき、G条件は選択可能。

条件名	H	条件名称	高欄の工数 (人 / t)	[e]
		実数		

基準参照

G=5のとき、H条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	I	条件名称	橋梁用防護柵の工数
	01	路側用 主要横梁幅200mm超	下段横梁1段
	02	路側用 主要横梁幅200mm超	下段横梁2段
	03	路側用 主要横梁幅200mm以下	下段横梁1段
	04	路側用 主要横梁幅200mm以下	下段横梁2段
	05	高欄兼用型	
	06	各種	

C>0のとき、I条件は選択可能。

条件名	J	条件名称	防護柵の工数 (人 / t)	[f]
		実数		

基準参照

I=6のとき、J条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	K	条件名称	検査路の工数
	01	桁付検査路	
	02	脚廻り検査路	
	03	各種	

D>0のとき、K条件は選択可能。

施工単価コード S9542

条件名	L	条件名称	検査路の工数 (人 / t)	[g]
実数				

基準参照

K=3のとき、L条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	M	条件名称	重連による補正率	[α]
実数	条件省略値:0			

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

条件名	N	条件名称	斜橋による補正率	[β]
実数	条件省略値:0			

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

条件名	0	条件名称	曲線橋による補正率	[β]
実数	条件省略値:0			

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

施工単価コード S9543

施工単価名称	橋梁製作費（横断歩道橋）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～N

出力名称	橋梁製作費	
規格名称1	横断歩道橋	
規格名称2		
適用条件	各条件には、基準書記載の数値・計算値を入力すること。	

条件名	A	条件名称	桁本体部の形式
	01	I形桁	
	02	H形桁	
	03	C形桁	
	04	箱桁	
	05	各種	

条件名	B	条件名称	桁本体部重量（t） [A]
	実数		

基準参照

条件名	C	条件名称	階段部重量（t） [B]
	実数		

基準参照

条件名	D	条件名称	斜路部重量（t） [C]
	実数		

基準参照

条件名	E	条件名称	支柱部重量（t） [D]
	実数		

基準参照

施工単価コード S9543

条件名	F	条件名称	高欄部重量 (t) [E]
-----	---	------	---------------

実数

基準参照

条件名	G	条件名称	桁本体部工数 (工数/t)
-----	---	------	---------------

実数

基準参照

条件名	H	条件名称	階段部工数 (工数/t)
-----	---	------	--------------

実数

基準参照

条件名	I	条件名称	階段部の構造形式
-----	---	------	----------

01 I桁

02 螺旋

条件名	J	条件名称	斜路部工数 (工数/t)
-----	---	------	--------------

実数

基準参照

条件名	K	条件名称	斜路部の構造形式
-----	---	------	----------

01 I桁

02 箱桁

条件名	L	条件名称	支柱部工数 (工数/t)
-----	---	------	--------------

実数

基準参照

条件名	M	条件名称	高欄部工数 (工数/t)
-----	---	------	--------------

実数

基準参照

条件名	N	条件名称	桁・階段・斜路・高欄の曲線橋補正率 [β]
-----	---	------	-------------------------------

実数 条件省略値:0

基準参照

注) 補正率を1/100した値を入力する。

施工単価コード S9803

施工単価名称	橋梁用鋼材費（２）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	kg	条件	A～D

出力名称	橋梁用鋼材費（２）					
規格名称 1						
規格名称 2						

条件名	A	条件名称	鋼材種別
01		鋼板 ガーダー形式	
02		鋼板 ボックス形式	
03		鋼板 トラス・アーチ形式	
04		鋼板 横断歩道橋	
05		等辺山形鋼 175～200mm	
06		等辺山形鋼 250mm	
07		溝形鋼 250～380mm	
08		I形鋼 200～600mm	
09		H形鋼	
10		橋梁用C T形鋼	
11		棒鋼 12～13mm	
12		棒鋼 16～25mm	
13		棒鋼 28～48mm	
14		棒鋼 50～75mm	
15		棒鋼 80～100mm	
16		異形棒鋼D13mm	
17		異形棒鋼D16～25mm	
18		異形棒鋼D29～38mm	

施工単価コード S9803

条件名	B	条件名称	規格料種別
01		一般構造	SS400
02		溶接 SM400A	6 < t ≤ 38
03		溶接 SM400B	6 < t ≤ 25
04		溶接 SM400B	25 < t ≤ 38
05		溶接 SM400C	6 < t ≤ 25
06		溶接 SM400C	25 < t ≤ 38
07		溶接 SM400C	38 < t ≤ 50
08		溶接 SM490A	6 < t ≤ 50
09		溶接 SM490B	6 < t ≤ 25
10		溶接 SM490B	25 < t ≤ 38
11		溶接 SM490C	6 < t ≤ 25
12		溶接 SM490C	25 < t ≤ 38
13		溶接 SM490C	38 < t ≤ 50
14		溶接 SM490YA	6 < t ≤ 25
15		溶接 SM490YB	6 < t ≤ 25
16		溶接 SM490YB	25 < t ≤ 38
17		溶接 SM520B	6 < t ≤ 25
18		溶接 SM520B	25 < t ≤ 38
19		溶接 SM520C	6 < t ≤ 25
20		溶接 SM520C	25 < t ≤ 38
21		溶接 SM520C	38 < t ≤ 50
22		溶接 SM570Q	6 < t ≤ 20
23		溶接 SM570Q	20 < t ≤ 38
24		溶接 SM570Q	38 < t ≤ 50
25		形鋼	SS400
26		橋梁用C T形鋼	SS400
27		棒鋼	SS400
28		棒鋼	SS490
29		棒鋼	SD295
30		規格エキストラを計上しない。	
31		その他（規格料別途入力）	

施工単価コード S9803

条件名	C	条件名称	規格エキストラ価格 (B=31のとき入力)
実数	条件省略値:0		

(B=31の時のみ有効)

条件名	D	条件名称	厚みエキストラ単価 (円 / t)
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S9804

施工単価名称	鋼材費 (3)						
実査区分	共通	単位数量	1000	単位	kg	条件	A
出力名称	鋼材費 (3)						
規格名称 1	(鋼材の種別)						
規格名称 2							
適用条件	製作費を含むもの。						

条件名	A	条件名称	鋼材の種別
01		HT ボルト F 10 T	16mm
02		HT ボルト F 10 T	20mm
03		HT ボルト F 10 T	22mm
04		HT ボルト F 11 T	16mm
05		HT ボルト F 11 T	20mm
06		HT ボルト F 11 T	22mm
07		排水桷用 F C 10~25	
08		スタッドジベル	22 90
09		スタッドジベル	22 100
10		スタッドジベル	22 110
11		スタッドジベル	22 120
12		スタッドジベル	22 130
13		スタッドジベル	22 140
14		スタッドジベル	22 150
15		スタッドジベル	22 160
16		スタッドジベル	22 170
17		スタッドジベル	19 80
18		スタッドジベル	19 90
19		スタッドジベル	19 100
20		スタッドジベル	19 110
21		スタッドジベル	19 120

施工単価コード S9804

条件名	A	条件名称	鋼材の種別
22		スタッドジベル 19	130
23		スタッドジベル 19	140
24		スタッドジベル 19	150
25		スタッドジベル 19	160
26		スタッドジベル 19	170
27		スタッドジベル 19	180

注) スタッドジベルは（材料+打接費）単価である。

施工単価コード S9544

施工単価名称	副資材費					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件

出力名称	副資材費					
規格名称 1						
規格名称 2						

施工単価コード S9613

施工単価名称	塗装前処理（二次素地調整）						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m2	条件	A

出力名称	塗装前処理（二次素地調整）	
規格名称1	（二次素地調整区分）	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	二次素地調整区分
	01	動力工具処理	
	02	製品ブラスト	

施工単価コード S9614

施工単価名称	塗装前処理（原板ブラスト及びプライマー）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m2	条件	A

出力名称	塗装前処理（原板ブラスト及びプライマー）	
規格名称1	★#0046で工場管理費の対象外とする！	
規格名称2		
適用条件	原板ブラスト及びプライマーについては、工場管理費の対象としない。	

条件名	A	条件名称	原板ブラスト・プライマー区分
01		原板ブラスト・エッチングプライマー	
02		原板ブラスト・ジンクリッジプライマー	
03		原板ブラストのみ	

施工単価コード S9611

施工単価名称	工場塗装						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A~D

出力名称	工場塗装						
規格名称1	一層・一回当り						
規格名称2	(ペイント区分)						

条件名	A	条件名称	塗区分
	01	下塗り	
	02	中塗り	
	03	上塗り	
	04	防食下地	
	05	箱桁構造内面	

条件名	B	条件名称	ペイント区分
	01	無機ジンクリッチペイント	
	02	ミストコート	
	03	エポキシ樹脂塗料	
	04	ふっ素樹脂塗料 中塗り	
	05	ふっ素樹脂塗料 上塗り	
	06	鉛系・クロムフリーさび止めペイント	
	07	変性エポキシ樹脂塗料	

条件名	C	条件名称	ペイント使用量 (kg/100m2)
	実数	条件省略値:0	

条件名	D	条件名称	ふっ素樹脂塗料ペイント単価 (円/kg)
	実数	条件省略値:0	

B=4, 5のとき、D条件は入力可能。
省略した場合、中彩Aの単価が計上される。

施工単価コード S9612

施工単価名称	橋梁塗装工（新橋・工場塗装）						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A～C

出力名称	橋梁塗装工（新橋・工場塗装）	
規格名称1	★塗装前処理はS9613・S9614で別途計上	
規格名称2		
適用条件	塗装前処理については、S9613、S9614で別途計上すること。	

条件名	A	条件名称	塗装系区分
	01	一般外面	A-5
	02	一般外面	C-5
	03	内面	D-5
	04	内面	D-6
	05	高力ボルト連結部	F-11
	06	高力ボルト連結部	F-12

塗装系区分については、『鋼道路橋塗装便覧』を参照すること。

条件名	B	条件名称	ふっ素樹脂塗料(中塗)ペイント単価(円/kg)
実数	条件省略値:0		

A=2のとき、B条件は入力可能。
省略した場合、中彩Aの単価が計上される。

条件名	C	条件名称	ふっ素樹脂塗料(上塗)ペイント単価(円/kg)
実数	条件省略値:0		

A=2のとき、C条件は入力可能。
省略した場合、中彩Aの単価が計上される。

施工単価コード S6128

施工単価名称	金属支承据付工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A～F

出力名称	金属支承据付工					
規格名称1	(架設工法) 架設					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	架設工法
	01	移動式クレーン	
	02	ケーブルクレーン	

- 注) 1. 支承総質量にはアンカーボルトを含む。
2. 支承据付材料(無収縮モルタル等)を含む。

条件名	B	条件名称	支承総質量(アンカーボルト含む) (t)
	実数		

条件名	C	条件名称	支承設置数(基)
	実数		

条件名	D	条件名称	1基当り無収縮モルタル設計量(m ³ /基)
	実数		

条件名	E	条件名称	平均橋台橋脚高さ
	01	2m未満	
	02	2m以上	

条件名	F	条件名称	使用電源
	01	商用電源	
	02	発動発電機	

施工単価コード S7898

施工単価名称	支承モルタル					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	m3	条件

出力名称	支承モルタル					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	無収縮グラウト（電化プレタスコン）及びグラウトミキサー沓座モルタルの混合、充填の労務費は支承据付工に含まれる。					

施工単価コード S6129

施工単価名称	ゴム支承据付工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	基	条件	A～F

出力名称	ゴム支承据付工					
規格名称1	(支承の種別)					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 支承据付に伴う仮置き・調整・無収縮モルタル打設等の作業を含む。</p> <p>2. 支承総質量にはアンカーボルトを含む。</p> <p>3. 支承据付材料（無収縮モルタル等）を含む。</p>					

条件名	A	条件名称	支承の種別
	01	一般支承	
	02	機能分離型支承	

条件名	B	条件名称	1基当り無収縮モルタル設計量 (m ³ /基)
	実数		

条件名	C	条件名称	支承総質量 (アンカーボルト含む) (t)
	実数		

条件名	D	条件名称	支承設置数 (基)
	実数		

条件名	E	条件名称	平均橋台橋脚高さ
	01	2m未満	
	02	2m以上	

条件名	F	条件名称	使用電源
	01	商用電源	
	02	発動発電機	

施工単価コード S6127

施工単価名称	地組工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A~B

出力名称	地組工					
規格名称1	鋼橋架設 (桁形式)					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	鈹桁ラーメン (鈹桁形式)	
	02	箱桁ラーメン (箱桁形式)	
	03	少数I桁 (鈹桁形式)	
	04	細幅箱桁 (箱桁形式)	

条件名	B	条件名称	地組質量 (t)
	実数		

- 注) 1. 地組質量は地上組立をすべき主桁の質量であり、高欄及び副部材の質量は除いたものである。
 2. 自走クレーン車の運転経費は含まれないので別途計上する。

施工単価コード S6124

施工単価名称	架設工(鉄桁・箱桁・少数I桁・細幅箱桁・ラーメン)						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A～E

出力名称	架設工
規格名称1	鉄桁・箱桁・少数I桁・細幅箱桁・ラーメン
規格名称2	(工法)

条件名	A	条件名称	工法
	01	移動式クレーン (鉄桁・ラーメン)	
	02	移動式クレーン (箱桁・ラーメン)	
	03	移動式クレーン (少数I桁)	
	04	移動式クレーン (細幅箱桁)	
	05	移動式クレーンステージング (鉄桁・ラーメン)	
	06	移動式クレーンステージング (箱桁・ラーメン)	
	07	移動式クレーンステージング (少数I桁)	
	08	移動式クレーンステージング (細幅箱桁)	
	09	ケーブルクレーン	
	10	ケーブルクレーンステージング	
	11	ケーブルエレクション (直吊) (斜吊)	

一部材重量>20tの時、A=5～7は選択不可。

注) 一部材重量 = 主桁質量 ÷ 主桁架設回数

条件名	B	条件名称	橋体総質量 W (t)
	実数		

条件名	C	条件名称	主桁質量 (t)
	実数		

条件名	D	条件名称	主桁架設回数 n (回)
	実数		

主桁架設回数は、省略不可

施工単価コード S6124

条件名	E	条件名称	使用電源
01		商用電源	
02		発動発電機	

「工法別・1日当り架設質量」の制限事項

工 法	1日当り架設質量
移動式クレーン (鋸桁形式)	9t以上、45t以下
移動式クレーンステーディング [※] (鋸桁形式)	
移動式クレーン (箱桁形式)	20t以上、65t以下
移動式クレーンステーディング [※] (箱桁形式)	
上記以外の工法	9t以上

注) 「1日当り架設質量」の算出方法は基準書を参照する。

施工単価コード S6125

施工単価名称	架設工（トラス、アーチ、ランガー）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A～E

出力名称	架設工	
規格名称1	トラス アーチ ランガ	
規格名称2	(工法)	

条件名	A	条件名称	工法
	01	移動式クレーン	
	02	移動式クレーンによるステーキング	
	03	ケーブルクレーン	
	04	ケーブルクレーンによるステーキング	
	05	ケーブルエレクション（直吊）（斜吊）	

注) 架設質量は架設すべき主桁、副部材、伸縮継手の総重量であり、高欄、支承、ボルト類の質量は除いたものである。

条件名	B	条件名称	橋体総質量 W (t)
	実数		

条件名	C	条件名称	主桁質量 (t)
	実数		

条件名	D	条件名称	主桁架設回数 (回)
	実数		

条件名	E	条件名称	使用電源
	01	商用電源	
	02	発動発電機	

施工単価コード S6132

施工単価名称	本締工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	本	条件	A

出力名称	本締工						
規格名称 1							
規格名称 2							

条件名	A	条件名称	本締ボルト総本数 (高力+トルシア)				
	実数						

施工単価コード S6134

施工単価名称	落橋防止装置取付工					
実査区分	共通	単位数	1	単位	組	条件

出力名称	落橋防止装置取付工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>1. PC鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置の取付けに適用する。なお、鋼製ブラケット部の取付けは架設工に含む。また、鋼板を主体とした落橋防止装置（タイバー連結による主桁突起をストッパーとする等）の取付けは架設工に含む。</p> <p>2. 落橋防止装置材料費は別途計上すること。</p>					

施工単価コード S6121

施工単価名称	ケーブルクレーン設備据付・解体						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	ケーブルクレーン設備据付・解体	
規格名称1	ラフテレーンクレーン門型2系統	
規格名称2		
適用条件	トラッククレーンによる場合は別途トラッククレーン賃料を計上する。	

条件名	A	条件名称	鉄塔質量 (t)
実数			

条件名	B	条件名称	鉄塔間長 (m)
実数			

条件名	C	条件名称	使用電源
01	商用電源		
02	発動発電機		

施工単価コード S6113

施工単価名称	ケーブルクレーン設備						
実査区分	共通	単位数	1	単位	供用日	条件	A～D

出力名称	ケーブルクレーン設備					
規格名称1	鋼橋架設工					
規格名称2						
適用条件	1. 鋼橋架設用仮設備 2. 1系統当り、鉄塔設備損料については別途計上（S6112）する。					

条件名	A	条件名称	橋梁の種別
	01	箱桁、鈹桁、上路式橋梁	
	02	トラス、中下路式橋梁	

条件名	B	条件名称	鉄塔支間
	01	鉄塔支間 50m	
	02	鉄塔支間 75m	
	03	鉄塔支間 100m	
	04	鉄塔支間 125m	
	05	鉄塔支間 150m	
	06	鉄塔支間 175m	
	07	鉄塔支間 200m	
	08	鉄塔支間 250m	

条件名	C	条件名称	吊上げ能力
	01	吊上能力 5t以下	
	02	吊上能力 10t以下	
	03	吊上能力 15t以下	
	04	吊上能力 20t以下	
	05	吊上能力 25t以下	
	06	吊上能力 30t以下	

施工単価コード	S6113
---------	-------

条件名	D	条件名称	ケーブル角度
01		ケーブル角度	30°
02		ケーブル角度	45°
03		ケーブル角度	60°

施工単価コード S6122

施工単価名称	ケーブルエレクション設備据付・解体						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～E

出力名称	ケーブルエレクション設備据付・解体					
規格名称1	(建方及び型式)					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	建方及び型式
	01	ラフテレーンクレーン	直吊
	02	ラフテレーンクレーン	斜吊3本
	03	ラフテレーンクレーン	斜吊4本
	04	ラフテレーンクレーン	斜吊5本

条件名	B	条件名称	鉄塔質量 (t)
	実数		

条件名	C	条件名称	鉄塔間長 (m)
	実数		

条件名	D	条件名称	吊下橋体質量 (t)
	実数		

条件名	E	条件名称	使用電源
	01	商用電源	
	02	発動発電機	

施工単価コード S6112

施工単価名称	鉄塔設備						
実査区分	共通	単位数	1	単位	供用日	条件	A~B

出力名称	鉄塔設備	
規格名称 1	(鉄塔の区分)	
規格名称 2		
適用条件	鋼橋架設用仮設備機械	

条件名	A	条件名称	鉄塔の区分
	01	門型鉄塔	
	02	単柱鉄塔	

条件名	B	条件名称	鉄塔質量 (t)
	実数		

施工単価コード S6126

施工単価名称	ベント設備（設置・撤去＋損料）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	ベント設備（設置・撤去＋損料）					
規格名称1	（使用機械）					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	使用機械
	01		ラフテレーンクレーン
	02		ケーブルクレーン

条件名	B	条件名称	ベント総質量（t）
	実数		

条件名	C	条件名称	動力区分
	01		商用電源
	02		発動発電機

条件名	D	条件名称	ベント設備供用日数
	実数		

施工単価コード S6123

施工単価名称	ベント設備設置・撤去						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A~C

出力名称	ベント設備設置・撤去					
規格名称1	(使用機械)					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	使用機械
	01		ラフテレーンクレーン
	02		ケーブルクレーン

条件名	B	条件名称	ベント総質量 (t)
	実数		

条件名	C	条件名称	使用電源
	01		商用電源
	02		発動発電機

施工単価コード	S6110
---------	-------

施工単価名称	ベント設備						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A

出力名称	ベント設備	
規格名称 1		
規格名称 2		

条件名	A	条件名称	供用日数
実数			

施工単価コード S6133

施工単価名称	ベント基礎設置・撤去						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A

出力名称	ベント基礎設置・撤去					
規格名称1	ラフテレーンクレーン					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ベント基礎延面積 (m2)			
実数						

施工単価コード S6111

施工単価名称	ベント基礎						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A

出力名称	ベント基礎					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ベント供用日数				
	実数						

施工単価コード S5430

施工単価名称	架設工具						
実査区分	共通	単位数	1	単位	供用日	条件	A~B

出力名称	架設工具					
規格名称1	鋼橋架設工					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	損料の区分
* 01		架設工具一式	
02		架設工具+記録計損料	

条件名	B	条件名称	損料の種類
* 01		高力ボルト用	
02		トルシアボルト用	

施工単価コード S6114

施工単価名称	合成床版架設工						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件	A～F

出力名称	合成床版架設工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件						

1. 適用範囲

鋼橋及び合成床版の架設工事に適用する。なお、本資料による積上げ積算は、標準的な架設条件を前提としているので、特殊な架設条件の場合又は本資料による架設工法によらない場合は、別途架設設計のうえ計上する。
橋梁型式による架設工費の補正は考慮しないことを標準とするが、ケーブルクレーン又はケーブルエレクションを使用した架設において斜橋で斜度の強い場合及び曲線橋は補正することが出来る。

条件名	A	条件名称	主桁上フランジシール材設計数量(m/100m2)
実数			

条件名	B	条件名称	主桁上フランジシール材単価(円/m)
実数			

A>0のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	合成床版接合部シール材設計数量(m/100m2)
実数			

条件名	D	条件名称	合成床版接合部シール材単価(円/m)
実数			

C>0のとき、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	側鋼板と床版及び側鋼板接合部シール材設計量
実数			

条件名	F	条件名称	側鋼板と床版及び側鋼板接合部シール材単価(/m)
実数			

E>0のとき、F条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S7895

施工単価名称	発動発電機運転（鋼橋架設工）						20/25kVA	
実査区分	共通	単位数	1	単位	供用日	条件		
出力名称	発動発電機							
規格名称1	; 20/25kVA							
規格名称2	鋼橋架設							

施工単価コード S7896

施工単価名称	発動発電機運転（鋼橋架設工） 100/125kVA					
実査区分	共通	単位数	1	単位	供用日	条件
出力名称	発動発電機					
規格名称 1	; 100/125kVA					
規格名称 2	鋼橋架設					

施工単価コード S5431

施工単価名称	仮締ボルト、ドリフトピン						
実査区分	共通	単体数量	1	単位	供用日	条件	A~C

出力名称	仮締ボルト、ドリフトピン	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	高力ボルト本数 (本)
実数			

条件名	B	条件名称	ボルト規格
01	φ 19mm		
02	φ 22mm		

条件名	C	条件名称	ドリフトピン規格
01	φ 21.5mm × 150mm		
02	φ 24.5mm × 150mm		

施工単価コード S5621

施工単価名称	架設工（トラッククレーンによる架設）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	t	条件	A～B

出力名称	架設工（トラッククレーンによる架設）	
規格名称1	プレビーム桁	
規格名称2	支間長（架設部材質量（t／本））	
適用条件	<p>1. トラッククレーンにより桁運搬車、又は仮置き場から直接吊上げ所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬（2次運搬）を伴う場合は、小運搬作業費を別途加計上する。</p> <p>2. 架設高さ10m未満、作業半径は橋梁下からの架設の場合は10m程度、橋台上背面からの架設の場合は10～16m程度である。</p> <p>3. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整備に要する費用は、必要に応じ別途計上する。</p>	

条件名	A	条件名称	架設部材質量（t／本）
	01	20 t 未満	
	02	20 t 以上35 t 未満	
	03	35 t 以上60 t 以下	

条件名	B	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S5622

施工単価名称	架設工（架設桁による架設）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	t	条件	A～D

出力名称	架設工（架設桁による架設）					
規格名称1	プレビーム桁					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 架設桁（上路式、1組桁）と移動式クレーン併用による架設作業に適用する。</p> <p>2. 桁製作場又は仮置き場から横取り、台車積込、架設場まで桁を引出し（約200mまで）架設、移動式クレーン（相吊）について横取り、据付けまでの一連作業の場合である。</p> <p>3. 横取り用の移動式クレーンの規格は、桁質量及び現場条件を考慮のうえ決定する。</p>					

条件名	A	条件名称	支間長 [m]
	01	25m以下	
	02	30m以下	
	03	35m以下	
	04	40m以下	
	05	45m以下	

条件名	B	条件名称	移動式クレーン規格（1台目）
	01	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊
	02	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊
	03	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
	04	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 35 t 吊
	05	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊
	06	; ラフテレンクレーン	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊
	07	; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊
	08	; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊
	09	; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊
	10	; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 200 t 吊
	11	; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 360 t 吊

施工単価コード S5622

条件名	C	条件名称	移動式クレーン規格 (2台目)
01		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊
02		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊
03		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
04		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 35 t 吊
05		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 45 t 吊
06		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊
07		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 100 t 吊
08		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 120 t 吊
09		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 160 t 吊
10		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 200 t 吊
11		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 360 t 吊

条件名	D	条件名称	移動式クレーン賃料補正係数
実数		条件省略値:0	

C0001 移動式クレーン (1台目)
 行条件名称 :
 列条件名称 : 移動式クレーン規格 (1台目)

	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン	
	S5327	S5326	

C0002 移動式クレーン (2台目)
 行条件名称 :
 列条件名称 : 移動式クレーン規格 (2台目)

	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン	
	S5327	S5326	

施工単価コード S5620

施工単価名称	架設機械器具経費（架設桁による架設）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～G

出力名称	架設機械器具経費（架設桁による架設）					
規格名称1	プレビーム桁					
規格名称2	支間長（支間長（m））					
適用条件	<p>1. 架設機械は、架設桁設備、引出し設備、軌道設備とする。</p> <p>2. 供用日数は次式による。なお、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>供用日数 = (架設日数 + 架設機械据付・解体日数 + 架設機械移動日数 + 軌道設置・撤去日数) × 1.5</p>					

条件名	A	条件名称	支間長（m）
	01	25m以下	
	02	30m以下	
	03	35m以下	
	04	40m以下	
	05	45m以下	

条件名	B	条件名称	架設日数（日）
	実数		

条件名	C	条件名称	架設機械据付・解体日数（日）
	実数		

条件名	D	条件名称	架設機械移動日数（日）
	実数		

条件名	E	条件名称	軌道設置撤去日数（日）
	実数		

施工単価コード	S5620
---------	-------

条件名	F	条件名称	架設桁設備 (円/日)
実数			

条件名	G	条件名称	引出し設備 (円/日)
実数			

施工単価コード S5627

施工単価名称	地組工						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	t	条件	A～C

出力名称	地組工					
規格名称1	プレビーム桁架設					
規格名称2						
適用条件	1. 地組に伴う仮締めを含む。 2. 地組工に本締工は含まない。					

条件名	A	条件名称	地組質量 (t)			
実数						

条件名	B	条件名称	移動式クレーン規格			
01		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	16 t 吊		
02		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	20 t 吊		
03		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	25 t 吊		
04		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	35 t 吊		
05		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	45 t 吊		
06		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型	50 t 吊		
07		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	100 t 吊		
08		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	120 t 吊		
09		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	160 t 吊		
10		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	200 t 吊		
11		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型	360 t 吊		

条件名	C	条件名称	移動式クレーン貸料補正係数			
実数	条件省略値:0					

施工単価コード S5627

C0001 移動式クレーン
行条件名称：
列条件名称： 移動式クレーン種別

	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン	
	S5327	S5326	

施工単価コード S5628

施工単価名称	本締め工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	本	条件	A~B

出力名称	本締め工						
規格名称1	プレビーム桁架設						
規格名称2							
適用条件	地組及び架設の際の本締工に適用する。						

条件名	A	条件名称	主桁総質量 (t)				
実数							

条件名	B	条件名称	本締ボルト単価 (円/本)				
実数							

施工単価コード S5625

施工単価名称	横桁取付工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A

出力名称	横桁取付工					
規格名称1	プレビーム桁架設					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	取付用ボルト単価 (円/本)			
実数						

施工単価コード S5626

施工単価名称	局部プレストレス工					
実査区分	共通	単位数	1	単位	径間	条件

出力名称	局部プレストレス工					
規格名称1	プレビーム桁架設					
規格名称2						
適用条件	主桁を分割し、架設した場合において桁架設後に行う添接箇所の局部プレストレス工に適用する。					

施工単価コード SP4068

施工単価名称	型枠（鋼橋床版）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A～B

出力名称	型枠（鋼橋床版）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	特単変換禁止指示あり 1. 適用範囲 鋼橋床版工のうち型枠工に適用する。					

条件名	A	条件名称	型枠の補正係数(K)
	01	補正なし	
	02	0.05以下	
	03	0.06以上0.10以下	

条件名	B	条件名称	吊金具取付(材料費含む)
	01	工場	
	02	現場	

施工単価コード SP4069

施工単価名称	養生（鋼橋床版）					
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件

出力名称	養生（鋼橋床版）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 鋼橋床版工のうち養生工に適用する。</p>					

施工単価コード S7749

施工単価名称	ポストテンション桁製作工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A～G

出力名称	ポストテンション桁製作工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	生コンクリート規格				
	01	早強40-8-25 W/C≤55%					
	02	早強40-12-25 W/C≤55% 高性能AE減水剤					
	03	早強40-12-25 W/C≤55%					

条件名	B	条件名称	桁1本当り生コンクリート設計量 (m3)				
	実数						

条件名	C	条件名称	桁1本当りPCケーブル設計量 (kg)				
	実数						

条件名	D	条件名称	PCケーブルの種類				
	01	1300kN(130 t)型(7S12.7B)					
	02	2200kN(225 t)型(12S12.7B)					
	03	3100kN(320 t)型(12S15.2B)					

条件名	E	条件名称	桁1本当りPCケーブル本数 (本)				
	実数						

条件名	F	条件名称	定着具単価 (円/組)				
	実数						

施工単価コード S7749

条件名	G	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01		生コン小型車割増なし	
02		生コン小型車割増あり	

施工単価コード S7761

施工単価名称	機械器具損料						
実査区分	共通	単位数	1	単位	工事	条件	A～D

出力名称	機械器具損料					
規格名称1	ポストテンション桁製作工					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	1工事当りコンクリート設計量 (m3)
実数			

設計数量を入力する。

条件名	B	条件名称	緊張ジャッキの規格
01	130 t 型用 (7S12.7B)		
02	225 t 型用 (12S12.7B)		
03	320 t 型用 (12S15.2B)		

条件名	C	条件名称	1組当りの鋼製型枠面積 (m2)
実数			

側部及び端部面積のみとし、定着部面積は考慮しないものとする。
また、底型枠は主桁製作台を利用するものとする。

条件名	D	条件名称	支間長L (m)
実数			

支間長は45mまで。

施工単価コード S7266

施工単価名称	プレキャストセグメント主桁組立工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	本	条件	A～G

出力名称	プレキャストセグメント主桁組立工	
規格名称1	(主桁分割)	
規格名称2		
適用条件	<p>プレキャストセグメント工法（A又はB活荷重桁）の主桁組立工（中空桁、T桁、少数桁、PCコンボ桁）に適用する（主桁質量160t程度以下）。 なお、架設工は「第IV編第7章⑨PC橋架設工」により別途計上する。</p>	

条件名	A	条件名称	桁種別
	01	中空桁	
	02	T桁	
	03	少数桁	
	04	PCコンボ桁	

条件名	B	条件名称	径間数
	01	多径間	
	02	多径間以外	

B条件は、A=4のとき入力可能。

条件名	C	条件名称	架設の種類
	01	架設桁架設（併用架設を含む）	
	02	架設桁架設（併用架設を含む）以外	

C条件は、B=1のとき入力可能。

条件名	D	条件名称	主桁分割
	01	3分割	
	02	5分割	

条件名	E	条件名称	桁高（m）
	実数		

施工単価コード S7266

条件名	F	条件名称	PCケーブル設計量 (kg/本)
	実数		

条件名	G	条件名称	PCケーブル規格
01		1300kN (130 t) 型 (7S12.7B)	
02		1300kN (130 t) 型 (8S12.4A)	
03		2200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	
04		3100kN (320 t) 型 (12S15.2B)	

施工単価コード S7267

施工単価名称	機械損料（プレキャストセグメント）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～G

出力名称	機械損料	
規格名称1	プレキャストセグメント主桁組立工	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	桁種別
	01	中空桁	
	02	T桁	
	03	少数桁	
	04	PCコンポ桁	

条件名	B	条件名称	主桁分割数
	01	3分割	
	02	5分割	

条件名	C	条件名称	桁高（m）
	実数		

条件名	D	条件名称	緊張ジャッキ規格
	01	1300kN（130 t）型（7S12.7B）	
	02	1300kN（130 t）型（8S12.4A）	
	03	2200kN（225 t）型（12S12.7B）	
	04	3100kN（320 t）型（12S15.2B）	

条件名	E	条件名称	桁本数（本）
	実数		

施工単価コード S7267

条件名	F	条件名称	クレーン規格
01		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 16 t 吊
02		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 20 t 吊
03		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 25 t 吊
04		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 35 t 吊
05		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 50 t 吊
06		; ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型 60 t 吊
07		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型100 t 吊
08		; トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型120 t 吊

条件名	G	条件名称	クレーン賃料補正係数
実数		条件省略値:0	

C0001 クレーン
 行条件名称:
 列条件名称: クレーン種類

	ラフテレーンクレーン	トラッククレーン	
	S5327	S5326	

施工単価コード S6001

施工単価名称	トラッククレーンによる架設（橋梁下）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	本	条件	A～D

出力名称	トラッククレーンによる架設（橋梁下）					
規格名称1	（桁形式）					
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. トラッククレーンによるプレテンション桁及び桁質量160t未満のポストテンション桁（A又はB活荷重桁）の架設工事に適用する。 2. 現場まで搬入されたトラッククレーンにより桁運搬車又は仮置き場から直接吊上げ、所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬(2次運搬)を伴う場合は、小運搬作業を別途計上する。 3. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整理に要する費用が必要な場合は、別途計上する。 					

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	プレテンションPC単純T桁橋	
	02	プレテンションPC単純床版橋	
	03	ポストテンション桁	

桁形式については基準参照

条件名	B	条件名称	桁規格
	01	BG-18	
	02	BG-19	
	03	BG-20	
	04	BG-21	
	05	BG-22	
	06	BG-23	
	07	BG-24	
	08	BS-5	
	09	BS-6	
	10	BS-7	
	11	BS-8	
	12	BS-9	

施工単価コード S6001

条件名	B	条件名称	桁規格
	13	BS-10	
	14	BS-11	
	15	BS-12	
	16	BS-13	
	17	BS-14	
	18	BS-15	
	19	BS-16	
	20	BS-17	
	21	BS-18	
	22	BS-19	
	23	BS-20	
	24	BS-21	
	25	BS-22	
	26	BS-23	
	27	BS-24	
	* 28	選択の必要なし	

桁1本当りの質量において該当質量がない場合は、1ランク上の質量区分を適用する。

A=1の時、B=1～7の中から選択する
 A=2の時、B=8～27の中から選択する
 A=3の時、B条件は省略する

条件名	C	条件名称	桁1本当り質量 (t/本)
	実数		

A=3の時、C条件は35t/本～160t/本未満で入力する。

条件名	D	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6002

施工単価名称	トラッククレーンによる架設（橋台背面）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	本	条件	A～C

出力名称	トラッククレーンによる架設（橋台背面）	
規格名称1	（桁形式）	
規格名称2		
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. トラッククレーンによるプレテンション桁（A又はB活荷重桁）の架設工事に適用する。 2. 現場まで搬入されたトラッククレーンにより桁運搬車又は仮置き場から直接吊上げ、所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬(2次運搬)を伴う場合は、小運搬作業を別途計上する。 3. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整理に要する費用が必要な場合は、別途計上する。 	

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	プレテンションPC単純T桁橋	
	02	プレテンションPC単純床版橋	

桁形式については基準参照

条件名	B	条件名称	桁規格
	01	BG-18	
	02	BG-19	
	03	BG-20	
	04	BG-21	
	05	BG-22	
	06	BG-23	
	07	BG-24	
	08	BS-5	
	09	BS-6	
	10	BS-7	
	11	BS-8	
	12	BS-9	
	13	BS-10	

施工単価コード S6002

条件名	B	条件名称	桁規格
	14	B S -11	
	15	B S -12	
	16	B S -13	
	17	B S -14	
	18	B S -15	
	19	B S -16	
	20	B S -17	
	21	B S -18	
	22	B S -19	
	23	B S -20	
	24	B S -21	
	25	B S -22	
	26	B S -23	
	27	B S -24	

該当質量がない場合は、1ランク上の質量区分を適用する。

A=1の時、B=1～ 7の中から選択する。
A=2の時、B=8～27の中から選択する。

条件名	C	条件名称	トラッククレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6003

施工単価名称	重量台車による小運搬						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	本	条件	A～B

出力名称	重量台車による小運搬	
規格名称1	ポストテンション桁	
規格名称2		
適用条件	<p>1. 製作場又は、桁仮置き場から架設地点まで、軌道により重量台車で小運搬する作業に適用する。</p> <p>2. 桁の現場内小運搬は200m程度としている。200mを超える場合又は方向転換を行う場合は、別途考慮する。</p>	

条件名	A	条件名称	桁1本当り質量 (t/本)
実数			

桁1本当り質量は、35t～160t未満

条件名	B	条件名称	電源
	01	商用電源	
	02	発動発電機	

施工単価コード S6005

施工単価名称	P C 桁架設 (架設桁による架設)						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A~J

出力名称	P C 桁架設	
規格名称 1	架設桁による架設	
規格名称 2		
適用条件	架設桁 (下路式1組桁、上路式1組桁) によるポストテンション桁 (支間長20~45m) の架設工事に適用する。	

条件名	A	条件名称	支間長 (m)
実数			

支間長の適用範囲は20m以上45m以下

条件名	B	条件名称	径間数
実数			

条件名	C	条件名称	桁架設総質量 (t)
実数			

条件名	D	条件名称	桁総本数 (本)
実数			

条件名	E	条件名称	軌道延長 (m)
実数			

条件名	F	条件名称	アンカー箇所数
実数			

条件名	G	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6005

条件名	H	条件名称	架設桁設備の種類
* 01		一組桁用（一連式）設備	
02		二組桁用（二連式）設備	

条件名	I	条件名称	桁の種類
01		プレキャストT桁	
02		プレキャスト合成桁	

条件名	J	条件名称	桁規格
01		ポストテンション桁	
02		プレキャストセグメント桁	

施工単価コード S6006

施工単価名称	主桁架設（架設桁による架設）						
実査区分	共通	単位数	10	単位	本	条件	A～C

出力名称	主桁架設（架設桁）	
規格名称1	（桁形式）	
規格名称2		
適用条件	<p>1. 重量台車に積込む方法として横取り装置を標準とするが、地形等の関係で別に門型クレーン、ケーブル等を必要とする場合は、別途考慮する。</p> <p>2. 桁の現場内小運搬に際し、直線距離200mまでとしているが、桁の方向変え等を行う場合は別途考慮する。</p>	

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	ポストテンション桁	
	02	プレキャストセグメント桁	

条件名	B	条件名称	支間
	01	支間 20m以上35m未満	
	02	支間 35m以上45m以下	

条件名	C	条件名称	桁1本当り質量（t／本）
	実数		

施工単価コード S6007

施工単価名称	架設機械据付・解体（架設桁による架設）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	回	条件	A～B

出力名称	架設機械据付・解体	
規格名称1	（支間（m））	
規格名称2	；ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型50t	
適用条件	架設桁の据付・解体、トラワイヤの取付け、取外し及びウインチの据付・解体作業に適用する。	

条件名	A	条件名称	支間（m）
	01	支間	20m以上25m未満
	02	支間	25m以上30m未満
	03	支間	30m以上35m未満
	04	支間	35m以上40m未満
	05	支間	40m以上45m以下

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6008

施工単価名称	架設機械移動（架設桁による架設）					
実査区分	共通	単位数量	1	単位	回	条件
出力名称	架設機械移動					
規格名称1	ポストテンション 支間20m以上45m以下					
規格名称2						
適用条件	架設桁を次の支間に移動する作業に適用する。					

施工単価コード S6009

施工単価名称	軌道設置・撤去（架設桁による架設）					
実査区分	共通	単位数	10	単位	m	条件
出力名称	軌道設置・撤去					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	主桁引出し用軌道の設置・撤去作業に適用する。					

施工単価コード S6011

施工単価名称	アンカー工（架設桁による架設）					
実査区分	共通	単位数	1	単位	箇所	条件

出力名称	アンカー工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>1. 土中に設置する場合に適用する。 2. 既設構造物に埋設する場合は別途計上する。</p>					

施工単価コード S6010

施工単価名称	架設機械器具経費（架設桁による架設）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～H

出力名称	架設機械器具経費					
規格名称1	架設桁					
規格名称2	(桁規格)					

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	プレキャストT桁	
	02	プレキャスト合成桁	

条件名	B	条件名称	桁規格
	01	ポストテンション桁	
	02	プレキャストセグメント桁	

条件名	C	条件名称	架設桁設備の種類
	01	一組桁	
	02	二組桁	

条件名	D	条件名称	支間長 (m)
	実数		

支間長は20m以上、45m以下
C=2の時、支間長は32.5mより大きい値を入力する。

条件名	E	条件名称	桁1本当りの質量 (t)
	実数		

桁1本当りの質量は160t以下
C=2の時、桁1本当りの質量は40tより大きい値を入力する。

条件名	F	条件名称	桁架設総質量 (t)
	実数		

施工単価コード	S6010
---------	-------

条件名	G	条件名称	径間数
実数			

条件名	H	条件名称	軌道延長 (m)
実数			

施工単価コード S6023

施工単価名称	鉄筋加工・組立（間詰床版及び横桁）						
実査区分	共通	単位数	1000	単位	kg	条件	A～B

出力名称	鉄筋加工・組立					
規格名称1	間詰床版及び横桁					
規格名称2						
適用条件	現場内小運搬を含む。					

条件名	A	条件名称	鉄筋規格
	01	SD295	D10
	02	SD295	D13
	03	SD295	D16
	04	SD345	D13
	05	SD345	D16～D25
	06	SD345	D29～D32
	07	鉄筋各種	

条件名	B	条件名称	鉄筋単価（円／t）
	実数		

A=7のとき、入力可能かつ必須入力

施工単価コード S6025

施工単価名称	横組コンクリート工						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～D

出力名称	横組コンクリート工					
規格名称1	(桁形式)					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、P C合成桁橋の床版は含まない。</p> <p>2. 養生歩掛も含まれている。</p>					

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	プレテンションT桁	
	02	ポストテンション桁	
	03	プレテンション床版桁	

条件名	B	条件名称	生コン規格
	01	24- 8-25普通	W/C \leq 55%
	02	24-12-25普通	W/C \leq 55%
	03	30- 8-25普通	W/C \leq 55%
	04	30- 8-25普通	W/C \leq 50%
	05	30-12-25普通	W/C \leq 55%
	06	30-12-25普通	W/C \leq 50%

条件名	C	条件名称	散水養生
	* 01	散水養生 有	
	02	散水養生 無	

条件名	D	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード S6044

施工単価名称	P Cケーブル						
実査区分	共通	単体数量	100	単位	m	条件	A～C

出力名称	P Cケーブル						
規格名称 1	(桁形式)						
規格名称 2	(P Cケーブルの種類)						
適用条件	<p>1. ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、整正、グラウト注入歩掛を含む。</p> <p>2. ケーブル延長は定着装置内面間の実延長とする。</p>						

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	プレテンション桁	
	02	ポストテンション桁	

条件名	B	条件名称	P Cケーブルの種類
	01	390kN (40t) 型 (1S17.8)	
	02	450kN (50t) 型 (1S19.3)	
	03	570kN (60t) 型 (1S21.8)	
	04	950kN (100t) 型 (1S28.6)	

条件名	C	条件名称	1m当りのP Cケーブルの質量 (kg)
	実数		

施工単価コード S6075

施工単価名称	緊張工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	ケーブル	条件	A

出力名称	緊張工					
規格名称 1	片締め作業					
規格名称 2						
適用条件	<p>1. 定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業を含む。 2. 緊張は片締めを標準とする。</p>					

条件名	A	条件名称	PCケーブルの種類
01		390kN (40 t) 型	(1S17.8)
02		450kN (50 t) 型	(1S19.3)
03		570kN (60 t) 型	(1S21.8)
04		950kN (100 t) 型	(1S28.6)

施工単価コード S6055

施工単価名称	機械器具損料（横組工・支承工）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～C

出力名称	機械器具損料	
規格名称1	P C 橋架設工（横組工）	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	P C ケーブルの種類
	01	390kN（40 t）型（1S17.8）	
	02	450kN（50 t）型（1S19.3）	
	03	570kN（60 t）型（1S21.8）	
	04	950kN（100 t）型（1S28.6）	

条件名	B	条件名称	1工事の径間数
	実数		

条件名	C	条件名称	1径間片締め本数
	実数		

施工単価コード S6032

施工単価名称	桁下足場工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	式	条件	A~F

出力名称	桁下足場工					
規格名称1	(桁形式)					
規格名称2						
適用条件	桁下足場工は、パイプ吊足場を標準とする。 なお、工費には側部（朝顔）などの費用も含まれている。					

条件名	A	条件名称	桁形式
	01	ポストテンション桁	
	02	プレテンション桁	

条件名	B	条件名称	側部種類
	01	両側朝顔	
	02	片側朝顔	

条件名	C	条件名称	桁高 (H)
	01	$1.1\text{m} \leq H < 1.5\text{m}$	
	02	$1.5\text{m} \leq H$	

A=1のとき、C条件は選択可能

条件名	D	条件名称	足場設置月数（省略時は標準2箇月とする）
	実数	条件省略値:2	

条件名	E	条件名称	橋長 (m)
	実数		

条件名	F	条件名称	全幅員 (m)
	実数		

施工単価コード S6038

施工単価名称	側部足場工 (スラブ桁橋)						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	側部足場工 (スラブ桁橋)					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>施工量は、足場総延長とする。 (通常は両面部に設置する為、片側延長×2となる。)</p>					

条件名	A	条件名称	足場設置月数 (省略時は標準1ヶ月とする)			
実数	条件省略値:1					

施工単価コード S6030

施工単価名称	橋台・橋脚回り足場ブラケット工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	橋台・橋脚回り足場ブラケット工					
規格名称1	PC橋架設工					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	足場設置月数
実数	条件省略値:2		

施工単価コード S6039

施工単価名称	板張防護工（PC桁橋）						
実査区分	共通	単位数	1	単位	式	条件	A～D

出力名称	板張防護工（PC桁橋）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼす恐れのある場合に設置し、桁下足場工費に別途計上する。 なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含む。</p>					

条件名	A	条件名称	防護工種別
	01	両側朝顔	
	02	片側朝顔	

条件名	B	条件名称	防護工設置月数（省略時は標準2ヶ月とする）
	実数	条件省略値:2	

条件名	C	条件名称	橋長（m）
	実数		

条件名	D	条件名称	全幅員（m）
	実数		

施工単価コード S6031

施工単価名称	ネット防護工 (PC桁橋)						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A

出力名称	ネット防護工 (PC桁橋)					
規格名称1	PC橋架設工					
規格名称2						
適用条件	主桁をトラッククレーンを用いて架設する場合に転落防止及び落下物防止の目的で設置する。					

条件名	A	条件名称	防護工設置月数
実数	条件省略値:1		

施工単価コード S6040

施工単価名称	ゴム支承 Aタイプ° (プレテンション床版橋用) 据付						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m	条件	A~B

出力名称	ゴム支承 Aタイプ° (プレテンション床版橋用) 据付					
規格名称1	プレテンション床版橋用簡易タイプ					
規格名称2						
適用条件	<p>1. アンカーバー、アンカーキャップ、スパイラル筋等の据付け、はつり工、無収縮モルタル充填を含む。</p> <p>2. 無収縮モルタル材料は、必要数量を計上する。</p>					

条件名	A	条件名称	ゴム支承単価 (円/m)
実数			

条件名	B	条件名称	1 m当り無収縮モルタル設計量 (m ³ /m)
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6041

施工単価名称	ゴム支承 Aタイプ (パッドタイプ) 据付						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	個	条件	A~B

出力名称	ゴム支承 Aタイプ (パッドタイプ) 据付					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>1. アンカーバー、アンカーキャップ、スパイラル筋等の据付け、はつり工、無収縮モルタル充填を含む。</p> <p>2. 無収縮モルタル材料は、必要数量を計上する。</p>					

条件名	A	条件名称	ゴム支承単価 (円/個)
実数			

条件名	B	条件名称	1個当り無収縮モルタル設計量 (m3/個)
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6042

施工単価名称	ゴム支承 Bタイプ据付						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	個	条件	A~C

出力名称	ゴム支承 Bタイプ据付					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> アンカーバー、アンカーキャップ、スパイラル筋等の据付け、はつり工、無収縮モルタル充填を含む。 無収縮モルタル材料は、必要数量を計上する。 					

条件名	A	条件名称	ゴム支承単価 (円/個)
実数			

条件名	B	条件名称	1個当り無収縮モルタル設計量 (m3/個)
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6045

施工単価名称	落橋防止装置据付						
実査区分	共通	単位数	10	単位	組	条件	A~B

出力名称	落橋防止装置据付	
規格名称 1		
規格名称 2		
適用条件	P C 鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置据付けに適用する。	

条件名	A	条件名称	落橋防止装置単価 (円/組)
実数			

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6092

施工単価名称	PC板支承工両側						
実査区分	共通	単位数	100	単位	m	条件	A

出力名称	PC板支承工両側						
規格名称1	PC橋架設工						
規格名称2							
適用条件	<p>PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時の漏れを防ぐために、支承工用目地材、無収縮モルタルを主桁上に打設する作業である。</p>						

条件名	A	条件名称	支承工用目地材単価 (円/m)				
実数							

施工単価コード S6093

施工単価名称	PC板仮置工						
実査区分	共通	単位数	100	単位	枚	条件	A

出力名称	PC板仮置工					
規格名称 1	PC橋架設工					
規格名称 2						
適用条件	<p>現場に搬入されたPC板を積載車両から取卸し、一度仮置きした後に敷設する場合に計上するものとし、積載車両を搬入後も待機させる等により直接敷設することが可能な場合は計上しない。</p>					

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数			
実数	条件省略値:0					

施工単価コード S6094

施工単価名称	PC板敷設工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	枚	条件	A~B

出力名称	PC板敷設工					
規格名称1	PC橋架設工					
規格名称2						
適用条件	PC板を敷設する作業である。					

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数			
実数	条件省略値:0					

条件名	B	条件名称	PC板単価 (円/枚)			
実数						

施工単価コード S6095

施工単価名称	継目工					
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m	条件
出力名称	継目工					
規格名称1	PC橋架設工					
規格名称2						
適用条件	PC板とPC板の継目は無収縮モルタルを充填する作業である。					

施工単価コード S6096

施工単価名称	型枠工 (PCコンポ床版工)					
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m2	条件
出力名称	型枠工 (PCコンポ床版工)					
規格名称 1	PC橋架設工					
規格名称 2						
適用条件	床版の張出部及び端面部の型枠製作ならびに設置・撤去作業である。					

施工単価コード S6141

施工単価名称	支保設置・撤去工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	空m3	条件	A～B

出力名称	支保設置・撤去工	
規格名称1	(支保形式)	
規格名称2		
適用条件	支保工工法の選定にあたっては、立地条件、構造条件、工事規模、工期等を考慮し、それら諸条件に適合し、かつ安全で経済的なものを選定する。	

条件名	A	条件名称	支保形式
	01	柱頭部ブラケット式上支保工	
	02	柱頭部張出床版部枠組支保工	
	03	柱頭部箱桁内部枠組支保工	
	04	中央閉合部張出床版部枠組支保工	
	05	中央閉合部箱桁内部枠組支保工	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6142

施工単価名称	支保設置・撤去工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A~B

出力名称	支保設置・撤去工	
規格名称1	(支保形式)	
規格名称2		
適用条件	支保工工法の選定にあたっては、立地条件、構造条件、工事規模、工期等を考慮し、それら諸条件に適合し、かつ安全で経済的なものを選定する。	

条件名	A	条件名称	支保形式
	01	柱頭部ブラケット式本体工	
	02	中央閉合部吊支保工	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6143

施工単価名称	金属支承据付工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	個	条件	A~B

出力名称	金属支承据付工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	支承は金属支承を標準とする。 ラフテレーンクレーンは油圧式45t吊を標準とする。					

条件名	A	条件名称	質量区分
	01	4 t 未満	
	02	4 t 以上10 t 未満	
	03	10 t 以上17 t 未満	

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6144

施工単価名称	現場塗装工					
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件

出力名称	現場塗装工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>亜鉛メッキ仕様以外の金属支承を現場で塗装する場合に適用する。主桁架設終了後、下塗のみで据付られた支承に中塗、上塗をする作業である。 (注) 塗装は2回塗とする。</p>					

施工単価コード S6145

施工単価名称	柱頭部仮支承工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A~C

出力名称	柱頭部仮支承工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	鉄筋加工組立、型枠製作、設置・撤去、ラフテレーンクレーンによるコンクリート打設、仮支承のとりこわし及び撤去作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	生コンクリート単価 (円/m3)			
実数	条件省略値:0					

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数			
実数	条件省略値:0					

条件名	C	条件名称	生コン小型車割増の有無			
* 01	生コン小型車割増なし					
02	生コン小型車割増あり					

A>0のとき、C条件は選択可能。

施工単価コード S6146

施工単価名称	P C 鋼棒解放工					
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件
出力名称	P C 鋼棒解放工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	橋脚と柱頭部を P C 鋼棒で緊結する作業に適用する。					

施工単価コード S6153

施工単価名称	ゴム支承据付工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	個	条件	A

出力名称	ゴム支承据付工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	<p>ラーメン橋側径間部に設置するゴム支承を標準とする。 ラフテレーンクレーン規格は油圧式25t吊を標準とする。</p>					

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数			
実数	条件省略値:0					

施工単価コード S6147

施工単価名称	作業車据付・解体工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	回	条件	A

出力名称	作業車据付・解体工	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

作業車据付・解体所要日数は、26日を標準とする。
 ラフテレーンクレーンは排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型45t吊を標準とする。

施工単価コード S6148

施工単価名称	作業車移動据付工					
実査区分	共通	単位数	1	単位	回	条件
出力名称	作業車移動据付工					
規格名称 1						
規格名称 2						

施工単価コード S6149

施工単価名称	作業車クライミング工					
実査区分	共通	単位数	1	単位	回	条件
出力名称	作業車クライミング工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	作業車の下部構造を引き上げる作業に適用する。					

施工単価コード S6150

施工単価名称	作業車引戻工					
実査区分	共通	単位数	10	単位	m	条件

出力名称	作業車引戻工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	作業車を解体位置まで引戻す作業に適用する。					

施工単価コード S6151

施工単価名称	型枠製作、設置・撤去						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m2	条件	A

出力名称	型枠製作、設置・撤去					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数				
実数	条件省略値:0						

施工単価コード S6152

施工単価名称	鉄筋加工・組立						
実査区分	共通	単位数	1	単位	t	条件	A～C

出力名称	鉄筋加工・組立	
規格名称1		
規格名称2		

条件名	A	条件名称	鉄筋規格
	01	SD295	D10
	02	SD295	D13
	03	SD295	D16
	04	SD345	D13
	05	SD345	D16～25
	06	SD345	D29～32
	07	鉄筋各種	

条件名	B	条件名称	鉄筋単価 (円 / t)
	実数		

A=7のとき、入力可能かつ必須入力

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6140

施工単価名称	コンクリートポンプ車打設						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m3	条件	A～C

出力名称	コンクリートポンプ車打設	
規格名称1	P C 橋片持架設工	
規格名称2		

条件名	A	条件名称	生コンクリート規格
	01	早強40-8-25	W/C ≤ 55%
	02	早強40-12-25	W/C ≤ 55% 高性能AE減水剤
	03	早強40-12-25	W/C ≤ 55%
	04	生コンクリート (単価入力)	

条件名	B	条件名称	生コンクリート単価 (円/m3)
	実数		

A=4のとき、B条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	C	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード S6154

施工単価名称	P C 鋼棒工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A~C

出力名称	P C 鋼棒工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	P C 鋼棒、シースの加工組立、P C 鋼棒挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	鋼棒径別種別
	01	φ 26 (1 B 26 A)	
	02	φ 26 (1 B 26 B)	
	03	φ 32 (1 B 32 A)	
	04	φ 32 (1 B 32 B)	

条件名	B	条件名称	P C 鋼棒単価 (円/kg)
	実数		

A=1, A=3のとき、入力する。

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6155

施工単価名称	P C 鋼棒継手工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A

出力名称	P C 鋼棒継手工					
規格名称 1	普・G継手φ32 (1B32A, 1B32B)					
規格名称 2						
適用条件	<p>緊張されていないP C 鋼棒にP C 鋼棒を継ぎたす作業(普通継手)または、緊張されたP C 鋼棒を一次定着 (緊張側、固定側共) した後、さらにその鋼棒を継ぎたしていく作業 (G継手) に適用する。</p>					

条件名	A	条件名称	継手装置単価 (円/個)
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6156

施工単価名称	P C 鋼棒定着工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A~B

出力名称	P C 鋼棒定着工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	固定側の定着装置を組立て、型枠に取り付ける作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	継手径別種別
	01	; φ 26 (1B26A, 1B26B)	
	02	; φ 32 (1B32A, 1B32B)	

条件名	B	条件名称	定着装置単価 (円/組)
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6157

施工単価名称	P C 鋼棒緊張工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A~B

出力名称	P C 鋼棒緊張工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	緊張側の定着装置の取付け及びP C 鋼棒の緊張作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	継手径別種別
	01	; φ 26 (1B26A, 1B26B)	
	02	; φ 32 (1B32A, 1B32B)	

条件名	B	条件名称	定着装置 (円/組)
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S6158

施工単価名称	P Cケーブル工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A~C

出力名称	P Cケーブル工	
規格名称 1	(緊張ジャッキ規格)	
規格名称 2		
適用条件	P Cケーブル、シースの加工組立、P Cケーブル挿入及びグラウド材の練混ぜ、注入等の作業に適用する。	

条件名	A	条件名称	緊張ジャッキ規格
	01	縦締1900kN (195 t) 型	
	02	縦締2200kN (225 t) 型	
	03	横締 570kN (60 t) 型	

条件名	B	条件名称	P Cケーブル単価 (円 / t)
実数	条件省略値:0		

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6159

施工単価名称	P Cケーブル定着工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A~B

出力名称	P Cケーブル定着工	
規格名称1	(緊張ジャッキ規格)	
規格名称2		
適用条件	P Cケーブルを片引きする場合に固定側の定着装置を組立て、取付ける作業に適用する。	

条件名	A	条件名称	緊張ジャッキ規格
	01	; 縦締1900kN (195t)	
	02	; 縦締2200kN (225t)	
	03	; 横締 570kN (60t)	

条件名	B	条件名称	定着装置単価 (円/組)
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S6160

施工単価名称	P Cケーブル緊張工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	箇所	条件	A～B

出力名称	P Cケーブル緊張工					
規格名称 1	(緊張方向・ジャッキ規格)					
規格名称 2						
適用条件	緊張側の定着装置の組立、取付け及びP Cケーブルの緊張作業に適用する。					

条件名	A	条件名称	緊張方向・ジャッキ規格				
	01	縦締 (両引き)	1900kN (195t) 型				
	02	縦締 (両引き)	2200kN (225t) 型				
	03	縦締 (片引き)	1900kN (195t) 型				
	04	縦締 (片引き)	2200kN (225t) 型				
	05	横締	570kN (60t) 型				

条件名	B	条件名称	定着装置単価 (円/組)				
	実数	条件省略値:	0				

施工単価コード S6161

施工単価名称	柱頭部足場工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A~C

出力名称	柱頭部足場工					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	橋側足場を含む。					

条件名	A	条件名称	桁高
	01	; 柱頭部桁高 6m未満	
	02	; 柱頭部桁高 6m以上	

条件名	B	条件名称	供用総月数
	実数		

条件名	C	条件名称	使用回数
	実数		

施工単価コード S6162

施工単価名称	橋側足場工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A~B

出力名称	橋側足場工					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	中央閉合部の支保工上に設置する足場で、柱頭部は含まない。					

条件名	A	条件名称	供用総月数
実数			

条件名	B	条件名称	使用回数
実数			

施工単価コード S6163

施工単価名称	橋面手摺工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A~B

出力名称	橋面手摺工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	供用総月数				
実数							

条件名	B	条件名称	使用回数				
実数							

施工単価コード S6164

施工単価名称	防護工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m2	条件	A~B

出力名称	防護工					
規格名称1						
規格名称2						

条件名	A	条件名称	供用総月数				
実数							

条件名	B	条件名称	使用回数				
実数							

施工単価コード S7227

施工単価名称	コンクリート工						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～C

出力名称	コンクリート工					
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋					
規格名称2						
適用条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンクリート10m3当りの型枠（R付含む）の製作・設置・撤去、コンクリート打設、表面仕上、養生、円筒型枠設置で早強セメントを使用する場合に適用する。 2. コンクリートの1日当り打設量は170m3を標準とする。 3. 給熱養生等（ジェットヒータ、練炭、電気養生等）の特別な養生を必要とする場合は養生費を別途計上する。 4. 円筒型枠の材料費は、必要量を別途計上する。 5. 架設支保は別途計上する。 					

条件名	A	条件名称	生コン規格
	01	早強40-8-25 W/C≤55%	
	02	早強40-12-25 W/C≤55% 高性能AE減水剤	
	03	早強40-12-25 W/C≤55%	

条件名	B	条件名称	養生区分
	* 01	一般養生	
	02	特殊養生（別途計上）	

条件名	C	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

施工単価コード S7814

施工単価名称	鉄筋工（加工組立）						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	t	条件	A～B

出力名称	鉄筋工（加工組立）					
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋					
規格名称2						

条件名	A	条件名称	鉄筋規格
	01	SD295	D13
	02	SD295	D16
	03	SD345	D13
	04	SD345	D16～25
	05	SD345	D29～32
	06	鉄筋各種	

条件名	B	条件名称	鉄筋単価（円／t）
	実数		

A=6のとき、入力可能かつ必須入力

施工単価コード S7277

施工単価名称	ケーブル工						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	m	条件	A

出力名称	ケーブル工						
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋						
規格名称2							
適用条件	<p>1. PCケーブル及びシースの切断・組立・挿入、シース内へのグラウト注入作業に適用する。</p> <p>2. PCケーブル等の資材吊込みを含む。</p>						

条件名	A	条件名称	PCケーブル規格
01		マルチストラットシステム	195t型 (12S12.4A)
02		マルチストラットシステム	225t型 (12S12.7B)
03		マルチストラットシステム	290t型 (12S15.2A)

施工単価コード S7068

施工単価名称	緊張工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	本	条件	A~B

出力名称	緊張工					
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋					
規格名称2						
適用条件	P C 定着工法の定着部型枠の製作・設置・撤去、定着装置取付、緊張に適用する。					

条件名	A	条件名称	緊張区分
	01	両締め	
	02	片締め	

条件名	B	条件名称	定着装置単価 (円/個)
	実数		

施工単価コード S7224

施工単価名称	接続工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	組	条件	A

出力名称	接続工					
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋					
規格名称2						
適用条件	P C 定着工法のケーブル接続に適用する。					

条件名	A	条件名称	接続具単価 (円/組)			
実数						

施工単価コード S7225

施工単価名称	落橋防止装置取付工						
実査区分	共通	単位数	1	単位	組	条件	A~B

出力名称	落橋防止装置取付工	
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋	
規格名称2		
適用条件	P C 鋼棒又はケーブルによって連結される、落橋防止装置の取付に適用する。	

条件名	A	条件名称	落橋防止装置単価 (円/組)
実数			

条件名	B	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

施工単価コード S7226

施工単価名称	支 承 工						
実査区分	共通	単位数量	1	単位	個	条件	A～D

出力名称	支 承 工					
規格名称1	ポストテンション場所打ホロースラブ橋					
規格名称2						
適用条件	道路橋示方書でいうタイプBのゴム支承に適用する。					

条件名	A	条件名称	支承1個当り無収縮モルタル設計量(m3/個)			
実数	条件省略値:0					

条件名	B	条件名称	ゴム支承単価 (円/個)			
実数						

条件名	C	条件名称	無収縮モルタル単価 (円/m3)			
実数	条件省略値:0					

条件名	D	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数			
実数	条件省略値:0					

施工単価コード S3115

施工単価名称	床版橋架設くさび結合支保設置・撤去工						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	空m3	条件	A～G

出力名称	床版橋架設くさび結合支保設置・撤去工	
規格名称1	橋梁	
規格名称2		
適用条件	<p>1. 場所打ちによるコンクリート床版橋（箱桁を含む）で、1セット当たり23,000空m3以下、支保耐力19.6kN/m²（2.0t/m²）以上78.5kN/m²（8.0t/m²）以下、支保高さ0.6m以上13.4m以下のくさび結合支保の設置及び撤去に適用する。</p> <p>2. 橋側足場、張出部支保、昇降設備施工労務を含む。</p>	

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置・撤去	
	02	設置	
	03	撤去	

条件名	B	条件名称	支保高さ区分 (m)
	01	0.6以上 1.2以下	
	02	1.2を超え 3.6以下	
	03	3.6を超え 6.0以下	
	04	6.0を超え 8.4以下	
	05	8.4を超え 11.0以下	
	06	11.0を超え13.4以下	

A=1,2のとき、B条件は選択可能。

条件名	C	条件名称	支保耐力区分 (kN/m ²) (t/m ²)
	01	19.6(2.0)以上29.4(3.0)未満	
	02	29.4(3.0)以上39.2(4.0)未満	
	03	39.2(4.0)以上49.0(5.0)未満	
	04	49.0(5.0)以上58.8(6.0)未満	
	05	58.8(6.0)以上68.6(7.0)未満	

施工単価コード S3115

条件名	C	条件名称	支保耐力区分 (kN/m ²) (t/m ²)
	06		68.6(7.0)以上78.5(8.0)以下

条件名	D	条件名称	橋梁形状・セット長さ区分
	01		スラブ・ホロースラブ橋 ~70m未満
	02		スラブ・ホロースラブ橋 70~130m以下
	03		箱桁橋 ~70m未満
	04		箱桁橋 70~130m以下

A=1, 2のとき、D条件は選択可能。

条件名	E	条件名称	仮設材基本料の合計額 (円)
	実数		

E条件は、A=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	仮設材賃料の合計額 (円)
	実数		

F条件は、A=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	G	条件名称	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数
	実数		条件省略値:0

施工単価コード S3118

施工単価名称	床版橋支柱支保設置・撤去工						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	空m3	条件	A～F

出力名称	床版橋支柱支保設置・撤去工	
規格名称1	(開口部延長及び支保高さ区分 (m))	
規格名称2		
適用条件	<p>場所打ちによるコンクリート床版橋（箱桁を含む）において、くさび結合支保が困難なうえ開口部等を設置する必要がある場合で、1セット当り8,000空m3以下、支保耐力19.6kN/m²(2.0t/m²)以上58.8kN/m²(6.0t/m²)以下、支保高さ1.5m以上10.8m以下（開口部高さ1.1m以上10.2m以下）及び開口部延長3m以上13m以下の四角支柱支保の設置及び撤去に適用する。</p>	

条件名	A	条件名称	作業区分
	01	設置・撤去	
	02	設置	
	03	撤去	

条件名	B	条件名称	開口部延長及び支保高さ区分 (m)
	01	L = 7m以下 H = 1.5以上4.6未満	
	02	L = 7m以下 H = 4.6以上7.6未満	
	03	L = 7m以下 H = 7.6以上10.6以下	
	04	L = 10m以下 H = 1.6以上4.8未満	
	05	L = 10m以下 H = 4.8以上7.8未満	
	06	L = 10m以下 H = 7.8以上10.8以下	
	07	L = 13m以下 H = 1.8以上4.8未満	
	08	L = 13m以下 H = 4.8以上7.8未満	
	09	L = 13m以下 H = 7.8以上10.8以下	

条件名	C	条件名称	支保耐力区分 (kN/m ²) (t/m ²)
	01	19.6(2.0)以上29.4(3.0)未満	
	02	29.4(3.0)以上39.2(4.0)未満	
	03	39.2(4.0)以上49.0(5.0)未満	

施工単価コード S3118

条件名	C	条件名称	支保耐力区分 (kN/m ²) (t/m ²)
	04		49.0(5.0)以上58.8(6.0)以下

条件名	D	条件名称	橋梁形状・セット長さ区分
	01	スラブ・ホロースラブ橋	～ 70m未満
	02	スラブ・ホロースラブ橋	70～130m以下
	03	箱桁橋	～ 70m未満
	04	箱桁橋	70～130m以下

A=1, 2のとき、D条件は選択可能。

条件名	E	条件名称	H形鋼 (H300) の整備費 (円)
	実数		

E条件は、A=1, 2のとき入力可能かつ必須入力。

条件名	F	条件名称	ラフテレーンクレーンの賃料補正係数
	実数	条件省略値:0	

施工単価コード S3119

施工単価名称	床版橋支柱受台設置・撤去工						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m	条件	A~D

出力名称	床版橋支柱受台設置・撤去工	
規格名称1	橋梁	
規格名称2		
適用条件	支柱支保工において、支柱受台（H形鋼）を設ける場合に適用する。	

条件名	A	条件名称	供用日数
実数			

条件名	B	条件名称	721日以上のH形鋼（杭用）賃料(円/t日)
実数			

A>360のとき、B条件は入力可能かつ必須入力

条件名	C	条件名称	ラフテレーンクレーン賃料補正係数
実数	条件省略値:0		

条件名	D	条件名称	補助工法の有無
01	補助工法 無		
02	補助工法 有		

施工単価コード SP4048

施工単価名称	コンクリートアンカーボルト設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	本	条件	A~B

出力名称	コンクリートアンカーボルト設置	
規格名称1	(足場の有無)	
規格名称2		
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 鋼管 (φ100mm~φ200mm)、VP管 (φ100mm~200mm)、FRP管 (φ100mm~200mm) による各種系統タイプ及び溝部の橋梁排水管を設置する作業に適用し、排水柵設置及び排水管製作は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置</p>	

条件名	A	条件名称	足場の有無
	01	足場	無し
	02	足場	有り

条件名	B	条件名称	コンクリートアンカーボルト単価 (円/個)
	実数		

施工単価コード SP4042

施工単価名称	排水管設置						
実査区分	共通	単位数	1	単位	m	条件	A

出力名称	排水管設置					
規格名称1	(足場の有無)					
規格名称2						
適用条件	<p>特単変換禁止指示あり</p> <p>1. 適用範囲 鋼管 (φ100mm～φ200mm)、VP管 (φ100mm～200mm)、FRP管 (φ100mm～200mm) による各種系統タイプ及び溝部の橋梁排水管を設置する作業に適用し、排水柵設置及び排水管製作は含まない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 鋼管 (φ100mm～φ200mm)、VP管 (φ100mm～φ200mm)、FRP管 (φ100mm～200mm) による各種系統タイプ及び溝部における橋梁排水管の設置</p>					

条件名	A	条件名称	足場の有無
01	足場	無し	
02	足場	有り	

施工単価コード S7290

施工単価名称	T形橋脚（橋台・橋脚工(1)）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～G

出力名称	T形橋脚（橋台・橋脚工(1)）	
規格名称1	高さ（高さ区分）	
規格名称2	打設量（打設量区分）	

適用条件	
<p>1. 適用範囲 本歩掛は、橋台及び橋脚の施工に適用する。なお、以下の適用を外れる橋台・橋脚については、「第IV編第7章橋梁工⑨-2橋台・橋脚工(2)(S7301)」を適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 構造物高さ5m以上25m未満のT形橋脚（躯体が円形及び小判型含む）の場合 なお、橋台パラペットを後施工する場合、構造物高さに後施工分は含まない。</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 同一構造物で、フーチングと躯体のコンクリート強度が異なる場合。 (2) フーチングのみの工事、又は躯体のみの工事の場合。 (3) 化粧型枠を使用する場合 (4) 手摺先行型枠組足場以外の足場を使用する場合</p> <p>2. 労務歩掛は、型枠（R付・支承・箱抜き部の型枠含む）製作・設置・撤去、足場（支保）設置・撤去、コンクリート打設・養生等を含むものである。 ただし、支承・箱抜き部の型枠の材料費は、別途計上する。</p> <p>3. 基礎形式（直接基礎、杭基礎）にかかわらず適用出来る。</p> <p>4. 基礎材の敷均し厚は、20cmまでを標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。</p> <p>5. コンクリートポンプ車打設時のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、型枠施工時のはく離剤及びケレン作業を含む。</p>	

条件名	A	条件名称	高さ区分
	01	5m以上10m未満	
	02	10m以上15m未満	
	03	15m以上25m未満	

条件名	B	条件名称	打設量区分
	01	100m3以上300m3未満	
	02	300m3以上500m3未満	
	03	120m3以上220m3未満	
	04	220m3以上440m3未満	

施工単価コード S7290

条件名	B	条件名称	打設量区分
	05	440m3以上650m3未満	
	06	290m3以上910m3未満	
	07	910m3以上980m3未満	

A=1のとき、B=1, 2を選択する。
 A=2のとき、B=3~5より選択する。
 A=3のとき、B=6, 7を選択する。

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
	01	18- 8-40高炉	W/C \leq 60%
	02	18-12-40高炉	W/C \leq 60%
	03	21- 8-40高炉	W/C \leq 55%
	04	21-12-40高炉	W/C \leq 55%
	05	24- 8-25高炉	W/C \leq 55%
	06	24- 8-40高炉	W/C \leq 55%
	07	24-12-25高炉	W/C \leq 55%
	08	24-12-40高炉	W/C \leq 55%
	09	30- 8-25高炉	W/C \leq 50%
	10	30- 8-40高炉	W/C \leq 50%
	11	30-12-25高炉	W/C \leq 50%
	12	30-12-40高炉	W/C \leq 50%
	13	18- 8-40	W/C \leq 60%
	14	18-12-40	W/C \leq 60%
	15	21- 8-40	W/C \leq 55%
	16	21-12-40	W/C \leq 55%
	17	24- 8-25	W/C \leq 55%
	18	24- 8-40	W/C \leq 55%
	19	24-12-25	W/C \leq 55%
	20	24-12-40	W/C \leq 55%
	21	30- 8-25	W/C \leq 50%
	22	30- 8-40	W/C \leq 50%
	23	30-12-25	W/C \leq 50%
	24	30-12-40	W/C \leq 50%

施工単価コード S7290

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
	25		生コンクリート（単価入力）

条件名	D	条件名称	生コンクリート単価（円/m3）
	実数		

C=25の時、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	養生工
	01		一般養生
	02		特殊養生（練炭）
	03		特殊養生（ジェットヒータ）
	04		特殊養生（雪寒仮囲い内）

一般養生は養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものである。
E=1～3については足場費を含んでおり、E=4のときは足場費を別途計上する。

条件名	F	条件名称	雑工種
	01		基礎材と均しコンクリート
	02		基礎材のみ
	03		均しコンクリートのみ
	04		雑工種なし

条件名	G	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01		生コン小型車割増なし
	02		生コン小型車割増あり

C0001 養生工（特殊養生）
行条件名称：
列条件名称： 種別

	練炭又はジェットヒータ	雪寒仮囲い内	
	S7170	S7169	

施工単価コード S7291

施工単価名称	圧送管組立・撤去費						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m	条件	A

出力名称	圧送管組立・撤去費（橋台・橋脚工）					
規格名称1						
規格名称2						
適用条件	コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分について適用する。					

条件名	A	条件名称	設置日数（供用日）
実数			

施工単価コード S7293

施工単価名称	壁式橋脚（橋台・橋脚工(1)）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～G

出力名称	壁式橋脚（橋台・橋脚工(1)）	
規格名称1	高さ（高さ区分）	
規格名称2	打設量（打設量区分）	

適用条件	
<p>1. 適用範囲 本歩掛は、橋台及び橋脚の施工に適用する。なお、以下の適用を外れる橋台・橋脚については、「第IV編第7章橋梁工⑨-2橋台・橋脚工(2)(S7301)」を適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 構造物高さ5m以上20m未満の壁式橋脚（躯体が小判型含む）の場合 なお、橋台パラペットを後施工する場合、構造物高さに後施工分は含まない。</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 同一構造物で、フーチングと躯体のコンクリート強度が異なる場合。 (2) フーチングのみの工事、又は躯体のみの工事の場合。 (3) 化粧型枠を使用する場合 (4) 手摺先行型枠組足場以外の足場を使用する場合</p> <p>2. 労務歩掛は、型枠（R付、支承・箱抜き部の型枠含む）製作・設置・撤去、足場（支保）設置・撤去、コンクリート打設・養生等を含むものである。 ただし、支承・箱抜き部の型枠の材料費は、別途計上する。</p> <p>3. 基礎形式（直接基礎、杭基礎）にかかわらず適用出来る。</p> <p>4. 基礎材の敷均し厚は、20cmまでを標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。</p> <p>5. コンクリートポンプ車打設時のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、型枠施工時の離剤及びケレン作業を含む。</p>	

条件名	A	条件名称	高さ区分
	01	5m以上15m未満	
	02	15m以上20m未満	

条件名	B	条件名称	打設量区分
	01	100m3以上280m3未満	
	02	280m3以上700m3未満	
	03	250m3以上520m3未満	
	04	520m3以上700m3未満	

A=1のとき、B=1, 2を選択。
A=2のとき、B=3, 4を選択。

施工単価コード S7293

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
01		18- 8-40高炉	W/C \leq 60%
02		18-12-40高炉	W/C \leq 60%
03		21- 8-40高炉	W/C \leq 55%
04		21-12-40高炉	W/C \leq 55%
05		24- 8-25高炉	W/C \leq 55%
06		24- 8-40高炉	W/C \leq 55%
07		24-12-25高炉	W/C \leq 55%
08		24-12-40高炉	W/C \leq 55%
09		30- 8-25高炉	W/C \leq 50%
10		30- 8-40高炉	W/C \leq 50%
11		30-12-25高炉	W/C \leq 50%
12		30-12-40高炉	W/C \leq 50%
13		18- 8-40	W/C \leq 60%
14		18-12-40	W/C \leq 60%
15		21- 8-40	W/C \leq 55%
16		21-12-40	W/C \leq 55%
17		24- 8-25	W/C \leq 55%
18		24- 8-40	W/C \leq 55%
19		24-12-25	W/C \leq 55%
20		24-12-40	W/C \leq 55%
21		30- 8-25	W/C \leq 50%
22		30- 8-40	W/C \leq 50%
23		30-12-25	W/C \leq 50%
24		30-12-40	W/C \leq 50%
25		生コンクリート (単価入力)	

条件名	D	条件名称	生コンクリート単価 (円/m ³)
		実数	

C=25の時、D条件は入力可能かつ必須入力。

施工単価コード S7293

条件名	E	条件名称	養生工
	01	一般養生	
	02	特殊養生（練炭）	
	03	特殊養生（ジェットヒータ）	
	04	特殊養生（雪寒仮囲い内）	

一般養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものである。
E=1～3については足場を含んでおり、E=4のときは足場費を別途計上する。

条件名	F	条件名称	雑工種
	01	基礎材と均しコンクリート	
	02	基礎材のみ	
	03	均しコンクリートのみ	
	04	雑工種なし	

条件名	G	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

C0001 養生工（特殊養生）
行条件名称：
列条件名称： 種別

	練炭又はジェットヒータ	雪寒仮囲い内	
	S7170	S7169	

施工単価コード S7294

施工単価名称	逆T式橋台（橋台・橋脚工(1)）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～G

出力名称	逆T式橋台（橋台・橋脚工(1)）	
規格名称1	高さ（高さ区分）	
規格名称2	打設量（打設量区分）	

適用条件

1. 適用範囲

本歩掛は、橋台及び橋脚の施工に適用する。なお、以下の適用を外れる橋台・橋脚については、「第IV編第7章橋梁工⑨-2橋台・橋脚工(2)(S7301)」を適用する。

1-1 適用出来る範囲

(1) 構造物高さ12m未満かつ翼壁厚0.4m以上0.6m以下の逆T式橋台の場合

なお、橋台パラペットを後施工する場合、構造物高さに後施工分は含まない。

1-2 適用出来ない範囲

(1) 同一構造物で、フーチングと躯体のコンクリート強度が異なる場合。

(2) フーチングのみの工事、又は躯体のみの工事の場合。

(3) 化粧型枠を使用する場合

(4) 手摺先行型枠組足場以外の足場を使用する場合

2. 労務歩掛は、型枠（R付・支承・箱抜き部の型枠含む）製作・設置・撤去、足場（支保）設置・撤去、コンクリート打設・養生等を含むものである。

ただし、支承・箱抜き部の型枠の材料費は、別途計上する。

3. 基礎形式（直接基礎、杭基礎）にかかわらず適用出来る。

4. 基礎材の敷均し厚は、20cmまでを標準としており、これにより難しい場合は別途計上する。

5. コンクリートポンプ車打設時のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、型枠施工時のはく離剤及びケレン作業を含む。

6. 水抜きパイプの設置の有無にかかわらず適用出来る。ただし材料費については別途計上する。

条件名	A	条件名称	高さ区分
	01	5m未満	
	02	5m以上 7m未満	
	03	7m以上 9m未満	
	04	9m以上10m未満	
	05	10m以上11m未満	
	06	11m以上12m未満	

施工単価コード S7294

条件名	B	条件名称	打設量区分
	01	50m3以上140m3未満	
	02	140m3以上260m3未満	
	03	50m3以上 90m3未満	
	04	90m3以上160m3未満	
	05	160m3以上310m3未満	
	06	70m3以上110m3未満	
	07	110m3以上210m3未満	
	08	210m3以上310m3未満	
	09	130m3以上280m3未満	
	10	280m3以上310m3未満	
	11	230m3以上370m3未満	
	12	370m3以上650m3未満	
	13	230m3以上320m3未満	
	14	320m3以上560m3未満	
	15	560m3以上650m3未満	

A=1のとき、B= 1,2を選択する。
A=2のとき、B= 3~5より選択する。
A=3のとき、B= 6~8より選択する。
A=4のとき、B= 9,10を選択する。
A=5のとき、B=11,12を選択する。
A=6のとき、B=13~15を選択する。

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
	01	18- 8-40高炉	W/C \leq 60%
	02	18-12-40高炉	W/C \leq 60%
	03	21- 8-40高炉	W/C \leq 55%
	04	21-12-40高炉	W/C \leq 55%
	05	24- 8-25高炉	W/C \leq 55%
	06	24- 8-40高炉	W/C \leq 55%
	07	24-12-25高炉	W/C \leq 55%
	08	24-12-40高炉	W/C \leq 55%
	09	30- 8-25高炉	W/C \leq 50%
	10	30- 8-40高炉	W/C \leq 50%
	11	30-12-25高炉	W/C \leq 50%

施工単価コード S7294

条件名	C	条件名称	生コンクリート規格
	12	30-12-40高炉	W/C \leq 50%
	13	18- 8-40	W/C \leq 60%
	14	18-12-40	W/C \leq 60%
	15	21- 8-40	W/C \leq 55%
	16	21-12-40	W/C \leq 55%
	17	24- 8-25	W/C \leq 55%
	18	24- 8-40	W/C \leq 55%
	19	24-12-25	W/C \leq 55%
	20	24-12-40	W/C \leq 55%
	21	30- 8-25	W/C \leq 50%
	22	30- 8-40	W/C \leq 50%
	23	30-12-25	W/C \leq 50%
	24	30-12-40	W/C \leq 50%
	25	生コンクリート (単価入力)	

条件名	D	条件名称	生コンクリート単価 (円/m ³)
	実数		

C=25の時、D条件は入力可能かつ必須入力。

条件名	E	条件名称	足場工及び養生工
	01	一般養生	
	02	特殊養生 (練炭)	
	03	特殊養生 (ジェットヒータ)	
	04	特殊養生 (雪寒仮囲い内)	

一般養生は、養生材の被覆、散水養生、被覆養生程度のものである。
E=1~3については足場費を含んでおり、E=4のときは足場費を別途計上する。

条件名	F	条件名称	雑工種
	01	基礎材と均しコンクリート	
	02	基礎材のみ	
	03	均しコンクリートのみ	
	04	雑工種なし	

施工単価コード S7294

条件名	G	条件名称	生コン小型車割増の有無
* 01		生コン小型車割増なし	
02		生コン小型車割増あり	

C0001 養生工 (特殊養生)

行条件名称 :

列条件名称 : 種別

	練炭又はジェットヒータ	雪寒假囲い内	
	S7170	S7169	

施工単価コード S7301

施工単価名称	橋台・橋脚コンクリート打設（橋台・橋脚工(2)）						
実査区分	共通	単位数量	10	単位	m3	条件	A～E

出力名称	橋台・橋脚コンクリート打設（橋台・橋脚工(2)）					
規格名称1	(生コンクリート規格)					
規格名称2						
適用条件	<p>1. 「第IV編第7章橋梁工⑩-1 橋台・橋脚工(1)」の適用範囲を外れた橋台・橋脚のコンクリート打設に適用する。なお、適用可能な形式は、T形橋脚（円形及び小判型含む）、壁式橋脚（小判型含む）及び逆T式橋台とし、同一構造物で、コンクリート強度が異なる場合、フーチングのみ又は躯体のみの施工の場合は適用出来ない。適用を外れる橋台・橋脚については、「第II編第4章①コンクリート工」等により別途計上する。</p> <p>2. ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。</p>					

条件名	A	条件名称	生コンクリート規格
01	18-8-40	高炉	W/C ≤ 60%
02	18-12-40	高炉	W/C ≤ 60%
03	21-8-40	高炉	W/C ≤ 55%
04	21-12-40	高炉	W/C ≤ 55%
05	24-8-25	高炉	W/C ≤ 55%
06	24-8-40	高炉	W/C ≤ 55%
07	24-12-25	高炉	W/C ≤ 55%
08	24-12-40	高炉	W/C ≤ 55%
09	30-8-25	高炉	W/C ≤ 50%
10	30-8-40	高炉	W/C ≤ 50%
11	30-12-25	高炉	W/C ≤ 50%
12	30-12-40	高炉	W/C ≤ 50%
13	18-8-40		W/C ≤ 60%
14	18-12-40		W/C ≤ 60%
15	21-8-40		W/C ≤ 55%
16	21-12-40		W/C ≤ 55%
17	24-8-25		W/C ≤ 55%

施工単価コード S7301

条件名	A	条件名称	生コンクリート規格
	18	24- 8-40	W/C \leq 55%
	19	24-12-25	W/C \leq 55%
	20	24-12-40	W/C \leq 55%
	21	30- 8-25	W/C \leq 50%
	22	30- 8-40	W/C \leq 50%
	23	30-12-25	W/C \leq 50%
	24	30-12-40	W/C \leq 50%
	25	生コンクリート (単価入力)	

条件名	B	条件名称	生コンクリート単価 (円/m ³)
	実数		

A=25の時、B条件は必須入力

条件名	C	条件名称	養生工
	* 01	一般養生	
	02	特殊養生 (練炭)	
	03	特殊養生 (ジェットヒータ)	
	04	特殊養生 (仮囲い内ジェットヒータ養生)	

条件名	D	条件名称	構造物種別
	01	無筋構造物	
	02	鉄筋構造物	

条件名	E	条件名称	生コン小型車割増の有無
	* 01	生コン小型車割増なし	
	02	生コン小型車割増あり	

C0001 養生工
 行条件名称：
 列条件名称： 種別

	一般、練炭、ジェットヒータ	仮囲い内	
Sコード	S7170	S7169	

施工単価コード S7283

施工単価名称	アンカーボルト設置						
実査区分	共通	単位数量	100	単位	本	条件	A~B

出力名称	アンカーボルト設置						
規格名称 1							
規格名称 2							
適用条件	<p>1. 適用範囲 鋼橋・PC橋の橋台・橋脚・桁間へ橋梁検査路を設置する作業に適用する。 検査路の材質は鋼製、アルミ製、FRP製とする。なお、工場における鋼橋製作に検査路が含まれている場合、本歩掛は適用できない。 また、検査路更新工事において旧検査路撤去に関するアンカー孔処理、主桁ブラケット塗装等、撤去における一切の作業は含まない。</p>						

条件名	A	条件名称	足場
	01	足場	有
	02	足場	無

条件名	B	条件名称	アンカーボルト単価 (円/本)
	実数		

施工単価コード S7284

施工単価名称	検査路架設						
実査区分	共通	単位数	10	単位	m	条件	A

出力名称	検査路架設					
規格名称 1						
規格名称 2						
適用条件	<p>1. 適用範囲 鋼橋・PC橋の橋台・橋脚・桁間へ橋梁検査路を設置する作業に適用する。 検査路の材質は鋼製、アルミ製、FRP製とする。なお、工場における鋼橋製作に検査路が含まれている場合、本歩掛は適用できない。 また、検査路更新工事において旧検査路撤去に関するアンカー孔処理、主桁ブラケット塗装等、撤去における一切の作業は含まない。</p>					

条件名	A	条件名称	足場
	01	足場	有
	02	足場	無